720×500

市立長浜病院病院施設改修等工事　　平成　年　月（全　枚）

仕様書

Ⅰ 工事概要

1．工事場所　滋賀県長浜市大皮亥町313番地

2．敷地面積

3．工事種目　改修

4．工事内容
既設本館以下の各室廻りのレイアウト・内装並びに、電気・機械設備の改修を行う。
尚、設備改修に伴い、改修対象部分以外の既設内装等の撤去復旧も本工事に含む。
1．本館4階　総合総合支援センター　改修
2．本館3階　OP更衣室廻り改修
3．本館1階　総合案内改修
4．外装改修
5．エレベータ改修

Ⅱ 建築改修工事仕様

1．共通仕様
（1）図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（平成19年版）」（以下「改修標仕という。）により、また、改修標仕に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（平成19年版）」（以下、「標仕」という。）による。最新版を購入の上、工事を行うこと。

2．特記仕様
（1）項目は、番号に ◯ 印の付いたものを適用する。
（2）特記事項は、⊙ 印の付いたものを適用する。
⊙ 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
⊙ 印と ⊛ 印の付いた場合は、共に適用する。
（3）特記事項に記載の［　　］内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
（4）特記事項に記載の（　　）内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
（5）G 印は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」（以下「グリーン購入法」という。）の特定調達品目を示す。

章	項目	特記事項
1 一般共通事項	①適用基準等	⊙建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修　平成17年版） ⊙工事写真の撮り方（改訂第二版）建築編（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修） ・
	②工事実績情報の登録（CORINS）	※適用する　［1.1.4］
	③品質計画等	・建築基準法に基づき定められる区分等の適用工事 ※風速（Vo=　　） ※地表面粗度区分（・Ⅰ　・Ⅱ　・Ⅲ　・Ⅳ） ⊙積雪区分　H12建告示第1455号　別表（ 29 ・
	④電気保安技術者	［1.3.3］ 工事現場におく電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。 ⊙要　・不要
	⑤条件明示項目	⊙現場説明書による　［1.3.5］
	⑥発生材の処理等	※現場説明書による　◑構外搬出適切処理　［1.3.8］
	⑦建築材料等	本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の（1）～（6）の項目を満たすものとする。 （1）品質及び性能に関する試験データが整備されていること （2）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること （3）安定的な供給が可能であること （4）法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること （5）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること （6）販売、保守等の営業体制が整えられていること なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関（（社）公共建築協会　他）が発行する資料等の写しを監督員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督員の承諾を受けた場合はこの限りでない。 また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督員の承諾を受ける。
	⑧化学物質を発散する建築材料等	本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとする。 また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。 規制対象外 ① JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ② 建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品 ③ 下記表示のあるJAS規格品 a．非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b．接着剤等不使用 c．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 d．ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 e．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 f．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用
	⑨特別な材料の工法	改修標仕及び、標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
	1.0 技能士	［1.6.2］ 適用工事種別 ／ 技能検定作業 防水改修工事：・アスファルト防水工事作業　⊙ウレタンゴム系塗膜防水工事作業　・アクリルゴム系塗膜防水工事作業　・合成ゴム系シート防水工事作業　・塩化ビニル系シート防水工事作業　・セメント系防水工事作業　⊙シーリング防水工事作業　⊙改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業　・FRP防水工事作業　⊙左官作業　・内外装板金作業 外壁改修工事：・左官作業　⊙タイル張り作業　・建築塗装作業 建具改修工事：・ビル用サッシ工事作業　・ガラス工事作業　・自動ドア施工作業 内装改修工事：・プラスチック系床仕上げ工事作業　・カーペット系床仕上作業　・ボード仕上げ工事作業　・調製下地工事作業　・左官作業　・壁装作業　・大工工事作業　・タイル張り作業 塗装改修工事：・建築塗装作業 耐震改修工事：・鉄骨組立作業　・型枠工事作業　・とび作業　・鉄筋組立作業 コンクリートブロック・ALCパネル工事：・コンクリートブロック工事作業　・エーエルシーパネル工事作業 石工事：・石張り作業 植栽工事：・造園工事作業
	1.1 化学物質の濃度測定	［1.6.6］ 施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、報告すること。 測定はパッシブ型採取機器により行う。 着工前の測定　・行う 測定対象室　・図示　・ 測定箇所数　・図示　・ 報告の様式等については、現場説明書による。
	1.2 完成図等	・完成図　［1.8.1～3］［表1.8.1］ ・既存図面修正 ※作成数　提出部数　※各2部　・　部（A3版第2原図及び電子媒体（CD-R）） 種類　※改修標仕表1.8.1による。 ただし、種類は当該工事で該当する図面、表及び計画書とする。 ※施工計画書　提出部数　※1部　・　部 ※施工図　提出部数　※1部　・　部 ⊙保全に関する資料　提出部数　※1部　・　部
	1.3 設備工事との取り合い	設備機器の位置、取合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。
	1.4 設計GL	※図示　・設計GL＝現状GL
	1.5 工事写真	工事写真はカラーとし、その内容が明確に判別できるものとする。デジタル写真とする場合、使用するデジタルカメラの総画素数は200万画素以上、記録画素数は640×480画素以上とする。 区分 ／ 分類・規格 ／ 撮影箇所 ／ 部数 ／ 備考 着工前 ／ サービス版 ／ ・　・9 ⊙30 ／ 3 ／ 状況によりなぎ写真 工事中 ／ サービス版 ／ 必要に応じ撮影する 完成時 ／ サービス版 ／ ・　・9 ⊙30 ／ 3 ／ 完了届提出用 定期提出 ／ サービス版 ／ ※ 3 ・6 ⊙9 ／ 1 ／ 工事月報用 竣工写真 ／ ※ サービス版・キャビネ版 ／ ・　・5・7 ／ 主として外観 サービス版 ／ ・　・10・20 ／ 主として内観 竣工写真については、銀版写真の場合はネガ、デジタル写真の場合はファイル形式をJPEGとし、DVD-ROMにて提出すること。 工事写真の撮影要領は、「工事写真の撮り方・建築編」(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)による。 完成写真の撮影場所は監督員の指示による。工事写真キャビネ版はアルバム台紙に、サービス版は工事写真帳に貼付もしくはA4上質紙に印刷して提出すること。
	1.6 現場代理人	イ　原則として、現場代理人は他の工事と重複して従事することは出来ない。ただし、工事準備等を含め工事現場が不稼動である期間は常駐の必要はないが、現場の保全、緊急時の対応を速やかにとれる体制を確保すること。 ロ　現場代理人は、監督員に請負人との直接的な雇用関係の確認出来るもの（健康保険証の写し等）を「現場代理人等届」に添付しなければならない。また、変更が生じた場合は速やかに「現場代理人等変更届」を提出し同様の確認を受けなければならない。 ハ　主任（監理）技術者も同様の確認を受けなければならない。 ニ　現場代理人と主任技術者または監理技術者を兼ねることができる。
	1.7 建設リサイクル法	再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）を厳守し、分別解体及び再資源化等実施すること。を行うこうと。（事前届出も含む）また、届出の費用は請負者の負担とする。
	1.8 設計図の製本	工事着手前に製本を作成し、監督員に提出のこと。　サイズ　A3　5部数
	1.9 施工体制点検	「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」に従い、施工体制を講じること。
	2.0 下請け業者の選定	各種下請業者、製造所等県下で供給出来るものについては、極力県内業者を選定すること。
	2.1 保険等	請負人は工事の内容に応じた火災保険、建設工事保険等を工事目的物に付するものとする。
	2.2 安全対策	⊛　工事車両の出入りについては、現場協議の上決定し、安全管理員を配置して危険防止に努めること。 ⊛　工事車両の出入りについては、速度制限を厳守し、危険防止に努めること。また、必要に応じて交通整理員を配置するとともに、近隣家屋に騒音、振動等公害発生のなきよう留意し、工事全般に万全の対策を講ずること。また、施設運営についても担当者と協議を行い、支障のなきよう努めること。 ⊙　別添仮設計画図・配置図等により示された仮設計画を参考に、請負人にて構造、施工方法について十分検討のうえ、関係法令に従い安全堅固に設置すること。
	2.3 取扱説明書の作成	竣工引渡し時に取扱説明書等必要書類を必要部数作成し、ファイリングして提出すること。 （部数、詳細については、監督員の指示による。）
	2.4 公共工事施工環境配慮チェックシート	請負人は別途配布の公共工事施工環境配慮項目およびチェックシートを記入し、監督員に提出すること。
	2.5 環境配慮	使用電力、燃料等の使用を抑制及び低騒音・低振動の使用機器・重機の選択をし施工すること。 又、アイドリングストップに努め効率的な施工計画をたて省エネ施工に努めること。
2 仮設工事	①足場その他	内部足場　種別　※きゃたつ、足場板等　⊙単管本足場　［2.2.1］ 外部足場　種別　※A種　・B種　・C種　・D種　［2.2.1］［表2.2.1］ シートによる養生　※行う　・行わない 材料、搬去材等の運搬　［2.2.1］［表2.2.2］ ・A種 ○※B種 ○・C種 ○・D種　・E種
	②養生	既存部分の養生　※ビニルシート等　⊙　ビニルシート＋ラワンベニア（通路養生）　［2.3.1］ 既存家具等の養生　※緩衝材及びビニルシート等　・ 固定家具等の移動　※行わない　・行う（図示）
	③仮設間仕切	仮設間仕切り等の種別　［2.3.2］［表2.3.1］ 種別 ／ 下地 ／ 仕上材（厚さ　mm） ／ 充てん材 ／ 塗装 ⊙A種 ／ ※軽量鉄骨 ／ ・合板（※9.0　・　） ／ ／ ※無し ・B種 ／ ・木下地 ／ ※せっこうボード（※9.5　・　） ／ 厚さ　mm ／ ⊙片面 ※C種 ／ 単管下地 ／ 防炎シート ／ ／ 仮設扉 ／ ※木製扉 ／ ※合板張り程度　・ ／ ／ ※無し ・鋼製扉 ／ ※片面フラッシュ程度　・ ／ ／ ・有り
	4 監督職員事務所	・既存建物内の一部を使用する　・構内に設置する　・設けない　［2.4.1］ ・規模及び仕上げの程度は現場説明書による。
	⑤工事用水	構内既存の施設　※利用できない　⊙利用できる（※有償　⊙無償）
	⑥工事用電力	構内既存の施設　※利用できない　⊙利用できる（※有償　⊙無償） ただし、工事用分電盤を設け、既存設備に影響が無いように計画すること。
	⑦仮囲い	防護シート貼　H2.4m、シートゲートW3.6×H2.4m
	⑧仮設屋外通路	歩道及び敷圍内のタイル等の舗装養生及び歩道縁石養生を敷き鉄板にて行うこと。 敷き鉄板の設置解消及び防滑は飛散しないゴムシートにて行うこと。
3 防水改修工事	1 アスファルト防水	［3.3.2.3］［表3.1.1］［表3.3.3～10］ 防水改修工法の種類 ／ 施工箇所 ／ 新規防水層の種別 保護 ／ ・P1B ／ ／ ・B-1　※B-2 保護 ／ ・P1BⅠ　・T1BⅠ ／ ／ ・BⅠ-1　※BⅠ-2 防水 ／ ・P2AⅠ ／ ／ ・AⅠ-1　※AⅠ-2 防水 ／ ・P2A ／ ／ ・A-1　※A-2 露出防水 ／ ・M4C ／ ／ ・C-1　※C-2 露出防水 ／ ・M3D　・P0D ／ ／ ・D-1　※D-2 屋内防水 ／ ・P1E　・P2E ／ ／ ・E-1　※E-2（保護層は図示による） アスファルトの種類　※3種　・4種　［3.2.2］［3.3.2］ 保護コンクリートのコンクリート種類　※無筋コンクリート　［3.3.2］ P0D工法の二重ドレン　※設けない　・設ける　［3.2.5］ M3D、P0D工法の脱気装置　※設けない　・設ける　［3.3.3］ 既存露出防水層表面の仕上げ塗装（M4C工法の場合）　・除去する　［3.2.6］ 断熱工法の断熱材　厚さ（mm）　※25　・　［3.3.2］ ただし、ノンフロンのもの G に限定する。 立上り部の保護　［3.3.2］ ・れんがの種類　※見え隠れ部分は市販品のれんが又は、市販品のれんが形コンクリートブロックとする。 ・乾式保護材の材料　※押出成形セメント板　厚さ15mm
	2 改質アスファルトシート防水	［3.4.2.3］［表3.1.1］［表3.4.1～3］ 防水改修工法の種類 ／ 施工箇所 ／ 新規防水層の種別 ／ ／ ⊙M4AS工法 ／ 屋上 ／ ・AS-T1　⊙AS-J1　・AS-2 ／ ／ ・M3AS工法 ／ 塔屋 ／ ⊙AS-J3　・AS-T3　・AS-T4 ／ ／ ⊙P0AS工法 ／ ／ ／ ／ ／ ・M3ASI工法 ／ 屋上 ／ ・ASI-T1　⊙ASI-J1 ／ 断熱材　厚さ35mm ⊙M4ASI工法 ／ ／ ／ ／ ／ ・P0ASI工法 ／ ／ ／ ／ ／ 脱気装置　※設けない　⊙設ける（設置基準はメーカー仕様に準ずる）
	3 合成高分子系ルーフィングシート防水	［3.5.2.3］［表3.1.1］［表3.5.1］ 防水改修工法の種類 ／ 施工箇所 ／ 新規防水層の種別 ／ 仕上げ塗料等 ／ 使用分類 ・P0S工法 ／ ／ ・S-F1　・S-M1 ／ ・カラー ／ ※非歩行 ・S4S工法 ／ ／ ・S-F2　・S-M2 ／ ・シルバー ／ ・軽歩行 ・S3S工法 ／ ／ ／ ／ ／ ・M4S工法 ／ ／ ・S-M1　・S-M2 ／ ／ ／ ・P0S Ⅱ工法 ／ ／ ・SⅠ-F1　・SⅠ-F2 ／ ／ ／ ・S3S Ⅱ工法 ／ ／ ・SⅠ-M1　・SⅠ-M2 ／ ／ ／ ・S4S Ⅱ工法 ／ ／ ・SⅠ-M3 ／ ／ ／ ・M4S Ⅱ工法 ／ ／ ／ ／ ／ 脱気装置　・設ける　・設けない　［3.5.3］ 目地処理　PCコンクリートの場合（　　）　［3.5.4］
	④塗膜防水	［表3.1.1］［3.6.3］［表3.6.1］ 防水改修工法の種類 ／ 施工箇所 ／ 新規防水層の種別 ／ 仕上げ塗料塗り ・P0X工法 ／ ／ ※　X-1 ／ ・シルバー ○L4X工法 ／ 機械基礎、立上、躯体天端等 ／ ※　X-2 ／ ⊙カラー 既存塗膜防水層表面の仕上げ塗装（L4X工法の場合）　⊙除去する　［3.2.6］ 脱気装置　※設けない　・設ける　［3.6.3］
	⑤脱気装置	［3.3.3］［3.4.3］［3.5.3］ 種類 ／ 材質 ／ 設置数量 ⊙平面部脱気型 ／ ・ポリエチレン樹脂　・ABS樹脂 ⊙ステンレス　・鋳鉄 ／ メーカー仕様による ・立上がり部脱気型 ／ ・合成ゴム　・塩化ビニル樹脂 ・ステンレス　・銅 ／
	⑥シーリング	シーリング改修工法の種類　［3.1.4］［表3.1.2］ ・シーリング充てん工法　⊙シーリング再充てん工法 ・拡幅シーリング再充てん工法　・ブリッジ工法 シーリング材の種類、施工箇所　［3.7.2］［表3.7.1］ ※下表以外は、改修標仕表3.7.1を標準とする 施工箇所 ／ シーリング材の種類（記号） 外壁（タイル目地） ／ PS-2 外壁（打継、誘発目地） ／ PS-2、PU-2（吹付部のみ） 建具廻り ／ MS-2 ガラス廻り ／ SR-1
	⑦とい	改修用ルーフドレン（二重ドレン） ※設ける　（※鋳鉄製　・ステンレス製　・塩ビ製） ・設けない といの材種　［3.8.2］［表3.8.1］ ※配管用鋼管　・硬質塩化ビニル管　・排水用リサイクル硬質塩化ビニル管（REP-VU）　G ・建物排水用リサイクル発泡三層硬質塩化ビニル管（RF-VP）　G 鋼管製といの防露　［3.8.3］［表3.8.5］ ・次の箇所は行わない（　　） ロックウール保温筒及びフェノールフォーム保温筒のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外　・第三種 掃除口　※有り　・無し 縦どい受け金物の取付け　［3.8.3］ ※図示　・標仕13.5.3（d）（2）による
	⑧アルミニウム製笠木	※既存アルミニウム製笠木、及び、アルミニウム製水切は脱着（再利用）するものとする。 また、既存固定金物と躯体に不具合あるときは、監督員と協議すること。 ［3.9.2］［表3.9.1］ 種類 ／ 呼称肉厚（mm） ／ 表面処理 ／ 固定間隔 ／ 備考 ・250形 ／ 1.6以上 ／ ※A-1又は B-1種 ／ 固定方法及び間隔は品質計画で定めたもの ／ 隅角部及び突当たり部等の役物は本体製造所の仕様による。 ・300形 ／ 1.8以上 ／ ／ ／ ／ ・350形 ／ 2.0以上 ／ ・B-2種（　） ／ ／ ／ ・100形 ／ ／ ／ ／ ／ ・ ／ ／ ／ ／ ／ 板材折曲げ形の取付工法　・　図示　［3.9.3］
4 外壁改修工事 共通事項	①施工数量調査	調査範囲　※外壁改修範囲　・図示の範囲　［1.5.2］ 調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、錆水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。 コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。 塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。 調査報告書の部数　※2部　・

着工	・・	・・	
竣工	・・	・・	
監理		・・	
施工		・・	

市立長浜病院
Nagahama City Hospital

参考図
（医事課・手術更衣室・総合案内廻り改修）

意 1
※ ― ※

特記仕様書　改修工事編－1

NO. 31371701

720×500

4 外壁改修工事 共通事項

②改修材料

⊙既製調合モルタル

保水率（%）	単位容積質量（kg/ℓ）	接着強さ（N/mm²） 標準時	温冷繰り返し後	長さ変化率（%）	曲げ強さ（N/mm²）
70.0以上	1.80以上	0.60以上	0.40以上	0.20以下	4.0以上

⊙パテ状エポキシ樹脂

初期硬化性（標準）	接着強さ（標準）	圧縮強さ	曲げ強さ	硬化収縮率
2.0N/mm 以上	6.0N/mm 以上	50.0N/mm 以上	30.0N/mm 以上	3.0（%）以下

a．均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b．対象とする被着体を侵さず，かつ，周囲を汚損しないこと。
c．常温・常湿（温度20±15℃，湿度65±20%）において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても，上記の品質・性能の各項目に適合していること。

⊙可とう性エポキシ樹脂

性能	常温物性	低温性	加熱変化	引張接着性	
引張強さ	1.0N/mm²以上	1.0N/mm²以上	1.0N/mm²以上	最大引張応力	1.0N/mm²以上
伸び	30.0%以上	30.0%以上	30.0%以上	破断時の伸び	10%以上

比重　表示値±0.10
押出し性　60秒以下
スランプ　3mm以下
加熱減量　5%以下

a．均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b．対象とする被着体を侵さず，かつ，周囲を汚損しないこと。
c．常温・常湿（温度20±15℃，湿度65±20%）において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後であっても，上記の品質・性能の各項目に適合していること。

⊙タイル部分張替え工法用材料

接着強さ	標準	低温硬化	アルカリ温水	冷熱水中練返し	熱劣化
強度（N/mm）²	0.60以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上
凝集破壊率（%）	75以上	50以上	50以上	50以上	50以上
皮膜物性	標準	高温	低温	アルカリ温水	熱劣化
引張強さ（N/mm²）	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上
伸び（%）	30以上	30以上	30以上	20以上	20以上

貯蔵安定性　容積と粘度に著しい変化がないこと。
耐熱性　JIS A 6548に準じた試験において，80℃で4週間，9.8Nおもりで安定していること。

a．外観は，均質で，有害と認められる異物の混入がないこと。
b．タイル，石材，下地等を侵すものでないこと。
c．「化学物質の審査および製造等の規制に関する法律」に基づく特定化学物質及び「労働安全衛生法」に基づく，「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。
d．常温・常湿（温度20±15℃，湿度65±20%）において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。
e．ずれ抵抗性があること。
f．湿練終結時の確認が容易なように色が明瞭であること。

⊙エポキシ樹脂モルタル

接着強さ	圧縮強さ	曲げ強さ
1.0N/mm 以上	20.0N/mm 以上	10.0N/mm 以上

a．こて塗りが容易で，かつ，硬化後の仕上がりが良好であること。
b．均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
c．「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第1種有機溶剤を使用しないこと。
d．形状に異常が無く，だれが生じないこと。
e．常温・常湿（温度20±15℃，湿度65±20%）において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。

・ポリマーセメントモルタル
ポリマーセメントモルタルの種類
合成ゴム系，アクリル系，エチレン－酢ビ系等

曲げ強さ（N/mm²）	圧縮強さ（N/mm²）	接着強さ（N/mm²） 標準時	湿潤時	低温時
6.0以上	20.0以上	1.0以上	0.8以上	0.5以上

表面状態　だれの下がり量は5mm以内とし，ひび割れが発生していないこと。
透水性　裏面の濡れ，水滴の付着がないこと。
均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

・ポリマーセメントスラリー

広がり速度（cm/s）	長さ変化率（収縮）	引張接着性（材齢28日）	曲げ性能（材齢28日）	吸水性（72時間）	耐久性（劣化曲げ強さ）
3以上	3%以下	0.5N/mm²以上	5.0N/mm²以上	15%以下	5.0N/mm²以上

保水係数　0.35～0.55
粘調係数　0.50～1.00

⊙吸水調整材

項目	全固形分（%）	吸水性（g）	接着強さ（N/mm²）	界面破断率（%）
品質・性能	表示値±1%以内	30分で1g以下	0.98以上	50%以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

4－1 外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ外壁

①ひび割れ部改修工法

◉樹脂注入工法　[4.1.4]［4.3.4～6]

注入工法の種類	ひび割れ幅（mm）	注入口間隔（mm）	注入量（ml/m）	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※ ・	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40 ・	
	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70 ・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130 ・	

注入材料　[4.2.2]
※建築補修用注入エポキシ樹脂（JIS A 6024低粘度形又は中粘度形）
・
検査（コア抜取り）　※行わない　[4.3.4]
・行う（抜取り部の補修方法：　）

⊙Uカットシール材充てん工法　[4.1.4]［4.2.2］［4.3.5]

充てん材料	品質・規格等	備考
⊙シーリング用材料	※1成分形又は2成分形ポリウレタン系シーリング材・	ポリマーセメントモルタルの充てん ※行わない ・行う
・可とう性エポキシ樹脂		

・シール工法　[4.1.4]［4.2.2］［4.3.6]
・パテ状エポキシ樹脂
・可とう性エポキシ樹脂

②欠損部改修工法

※充てん工法　[4.1.4]［4.2.2］［4.3.7]
・エポキシ樹脂モルタル
・ポリマーセメントモルタル

4－2 外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁

①既存モルタル塗りの撤去

⊙行う（※全面 ⊙図示の範囲）

②ひび割れ部改修工法

・既存モルタル撤去工法（範囲は図示　撤去部分の補修は，3.欠損部改修工法による）
※樹脂注入工法　[4.1.4]［4.4.2］［4.4.5]
（※既存モルタル面　・既存躯体コンクリート面）

注入工法の種類	ひび割れ幅（mm）	注入口間隔（mm）	注入量（ml/m）	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※ ・	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40 ・	
	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70 ・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130 ・	

注入材料　[4.2.2]
※建築補修用注入エポキシ樹脂（JIS A 6024低粘度形又は中粘度形）
・
検査（コア抜取り）　※行わない　[4.3.4]
・行う（抜取り部の補修方法：　）

⊙Uカットシール材充てん工法　[4.1.4]［4.2.2］［4.4.6]

充てん材料	品質・規格等	備考
・シーリング用材料	※1成分形又は2成分形ポリウレタン系シーリング材・	ポリマーセメントモルタルの充てん ※行わない ・行う
・可とう性エポキシ樹脂		

・シール工法　[4.1.4]［4.2.2］［4.4.7]
（※既存モルタル面　・既存躯体コンクリート面）
・パテ状エポキシ樹脂
・可とう性エポキシ樹脂

・既存塗り仕上げ材の撤去及び補修　[4.4.2]［4.6.3]
（※シール工法の範囲　・　）

③欠損部改修工法

既存モルタル面の欠損部　[4.1.4]［4.4.8.9]

改修工法の種類	材料	品質・規格等
・充てん工法	ポリマーセメントモルタル	
・モルタル塗替え工法	改修種4.2.2（g）による	塗り厚25mmを超える場合の補強 ※行う ・行わない ・図示

既製目地材　・適用する（形状　※図示　・　）　[4.2.2]

4浮き部改修工法

[4.1.4]［4.4.10～15］［表4.4.3.4]

改修工法の種類（モルタルを撤去しない場合）	アンカーピンの本数（本/m²） 一般部	指定部	注入口の箇所数（箇所/m²） 一般部	指定部	充てん量 注入量
・アンカーピニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ・	※25			※25ml
・アンカーピニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※25ml
・アンカーピニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	・25ml ※50ml
・注入口付アンカーピニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・			※25ml ・
・注入口付アンカーピニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※25ml ・
・注入口付アンカーピニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※50ml ・

アンカーピン　[4.2.2]
材質　※ステンレスSUS304，呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの
・
注入口付アンカーピン　[4.2.2]
材質　※ステンレスSUS304，呼び径外径6mm
・

4－3 外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁

①既存タイル張りの撤去

・外壁タイル張り全面　⊙報告書にて不具合報告のある範囲
撤去範囲　◉下地モルタルまで　⊙張付けモルタルまで　⊙タイルのみ

②ひび割れ部改修工法

改修箇所　※既存タイル張り面
⊙既存タイル撤去面（⊙コンクリート面　・モルタル面）
◉樹脂注入工法　[4.1.4]［4.3.4］［4.5.5]

注入工法の種類	ひび割れ幅（mm）	注入口間隔（mm）	注入量（ml/m）	備考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	※ ・	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40 ・	
	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70 ・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250	※130 ・	

注入材料　[4.2.2]
※建築補修用注入エポキシ樹脂（JIS A 6024低粘度形又は中粘度形）
・
検査（コア抜取り）　※行わない　[4.3.4]
・行う（抜取り部の補修方法：　）

⊙Uカットシール材充てん工法（既存タイル張り撤去面）　[4.1.4]［4.2.2］［4.3.5.6]

充てん材料	品質・規格等	備考
⊙シーリング用材料	※1成分形又は2成分形ポリウレタン系シーリング材・	ポリマーセメントモルタルの充てん ※行わない ・行う
・可とう性エポキシ樹脂		

③欠損部改修工法

⊙タイル部分張替え工法　[4.1.4]［4.2.2］［4.5.7]

接着材の種類	品質・規格等
※ポリマーセメントモルタル	
⊙タイル部分張替え工法用接着剤	「建設省官民連帯共同研究報告書『有機系接着剤を利用した外装タイル・石張りシステムの開発』（建設大臣官房技術調査室監修　平成9年2月）」における「外装タイル・石張り用接着剤の品質基準（案）」に基づく品質性能試験に適合するタイプⅠであり監督職員の承諾するもの又は特記による。

・タイル張替え工法　[4.1.4]［4.5.8]
伸縮調整目地及び，ひび割れ誘発目地　[4.5.8]［表4.5.1]
位置　※改修種仕表4.5.1による　・図示

4浮き部改修工法

[4.1.4]［4.5.9～15］［表4.4.3.4]

改修工法の種類（タイルを撤去しない場合）	アンカーピンの本数（本/m²） 一般部	指定部	注入口の箇所数（箇所/m²） 一般部	指定部	充てん量 注入量
・アンカーピニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ・	※25			※25ml
・アンカーピニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※25ml
・アンカーピニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	・25ml ※50ml
・注入口付アンカーピニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・			※25ml ・
・注入口付アンカーピニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※25ml ・
・注入口付アンカーピニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※50ml ・
・注入口付アンカーピニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※50ml ・

アンカーピン　[4.2.2]
材質　※ステンレスSUS304，呼び径外径6mm
・

タイルの種類　[4.2.2]［4.5.7.8]

施工箇所	形状寸法（mm）	きじ 磁器	せっ器	陶器	石	うわぐすり 無	ゆう	役物 あり	なし	色 標準	特注	再生材の適用 Ⓖ	備考
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

役物：標準的な曲がり（小口，縦準，二丁，屏風）の役物は一体成形とする。
タイルの見本焼き　※行わない　・行う
壁タイル張りの工法　[4.5.7.8]［表4.5.3]
外装タイル　・密着張り　・マスク張り
タイルの試験張り　※行わない　・行う

⑤目地改修工法

⊙目地ひび割れ部改修工法　[4.1.4]［4.5.16]
⊙伸縮目地改修工法　[4.1.4]［4.5.16]
シーリング用材料　[3.7.2]［表3.7.1]
種類　※改修種仕表3.7.1による

4－4 外壁改修工事 塗り仕上げ外壁

①既存塗膜等の除去及び下地処理

既存塗膜劣化部の除去、下地処理の工法　[4.6.3]［表4.6.1～4]

工法	処理範囲	下地面の補修
※サンダー工法	※既存仕上面全体 ・	⊙ひび割れ部改修工法
⊙高圧水洗工法 加圧力　※50MPa程度 ・	※既存仕上面全体 ・	⊙浮き部改修工法 ⊙欠損部改修工法
・塗膜はく離剤工法	※既存仕上面全体 ・	
・水洗い工法	※上記処理範囲以外の既存仕上面全体 ・	

塗膜はく離剤　[4.2.2]

②下地調整材

※下地調整塗材　[4.2.2]［4.6.3]
・ポリマーセメントモルタル
・防水形仕上げ塗材主材を使用

③仕上げ塗材仕上げ

種類、仕上げの形状、工法　[4.1.4]［4.2.2］［表4.2.3.4]

種類	呼び名	仕上げの形状
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Si ・可とう形外装薄塗材SI ・外装薄塗材E ・可とう形外装薄塗材E ・防水形外装薄塗材E ・外装薄塗材S	・ ・ ・砂壁状　・着色骨材砂壁状 ・砂壁状　・ゆず肌状　・さざ波状 ・ゆず肌状　・さざ波状　・凹凸状 砂壁状
⊙複層仕上塗材	・複層塗材CE ・可とう形複層塗材CE ・複層塗材SI ・複層塗材E ・複層塗材RE ・複層塗材RS ・防水形複層塗材CE ⊙防水形複層塗材E ・防水形複層塗材RE ・防水形複層塗材RS	・ゆず肌状　・凸部処理　⊙凹凸模様 耐候性　※耐候形3種　・ 上塗材 溶媒　※水系　・溶剤系 樹脂　※アクリル系 外観　※つやあり　・つやなし ・メタリック 防水形の増塗材　※行う
・可とう形改修用仕上塗材	・可とう形改修塗材E ・可とう形改修塗材RE ・可とう形改修塗材CE	・平たん状 ・さざ波状 ・ゆず肌状

防火材料の指定が必要な場合　[4.2.2]（15.5.2）
※建築基準法に基づく認定を受けた材料とする。

5 建具改修工事

①改修工法の適用

[5.1.3]

建具の種類		かぶせ工法	嵌去工法	備考
・アルミニウム製建具		・	・	
・鋼製建具	・外部	・	・	
	・内部	・	・	
⊙鋼製軽量建具		・	⊙	
・ステンレス製建具		・	・	

2見本の製作等

・特殊な建具の仮組（建具符号：　）　[5.1.5]

3アルミニウム製建具

外部に面する建具　[5.2.2]［表5.2.1]

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み（mm）	施工箇所
・A種	S－4	※A－3		※70	※図示
・B種	S－5	・	※W－4	・	・
・C種	S－6	A－4	W－5	100	

表面処理　[5.2.4]［表5.2.2]
※B－1　・B－2（※ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー）
屋内建具
表面処理　※C－1種又はB－1種　[5.2.4]［表5.2.2]
・C－2種又はB－2種（※ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー）

4網戸

防虫網　[5.2.3]
網の種別　※ガラス繊維入り合成樹脂製　・合成樹脂製　・ステンレス製（SUS316）
形式　※外部可動式　・固定式

⑤鋼製建具

簡易気密型ドアセットの適用は建具表による　[5.3.2]［表5.3.1]
耐風圧性能の適用は建具表による
特定防火設備の戸　・　適用する　[5.3.4]

⑥鋼製軽量建具

簡易気密型ドアセットの適用は建具表による　[5.4.2]

7ステンレス製建具

簡易気密型ドアセットの適用は特記による　[5.5.2]
耐風圧性能の適用は建具表による
表面仕上げ　※HL仕上げ　・鏡面仕上げ　・　[5.5.4]
曲げ加工　※普通曲げ　・角出し曲げ（補強有り）　[5.5.5]
特定防火設備の戸　・　適用する　[表5.5.1]

⑧自動ドア開閉装置

※製造所標準製作規定寸法許容差による　[5.7.2.3]［表5.7.1～3]

開閉方法	センサの種類
※スライディングドア ・スイングドア	・マットスイッチ　・電子マットスイッチ ※光線スイッチ　・音波スイッチ ・熱線スイッチ　・光電スイッチ

・凍結防止措置（適用箇所は建具表による）

⑨自閉式上吊り引戸装置

品質規格　※　改修種仕5.8.3による　[5.8.3]［表5.8.1]
・　製造所標準仕様による

10木製建具

かまち戸の樹種　かまち（　）　鏡板（　）　（16.6.2）
ふすまの上張り　※新鳥の子又はビニル紙程度（押入等の裏面は除く）　（表16.6.3）
・鳥の子
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量　（16.6.2）
※規制対象外　・第三種

11建具用金物

マスターキー　※製作する　⊙製作しない　[5.6.4]
建具用金物　[5.6.2.3]［表5.6.1.2]
錠類はシリンダー箱錠（レバーハンドル）とする
なお，錠前類は建具製作所の指定するものとし，監督職員の承諾を受ける
吊金物
⊙丁番（内部建具については，軸を鉄芯としてもよい）
・ピボットヒンジ

12ガラス

※建具表による　[5.12.2]
・ガラスブロック　[5.12.5]

寸法（mm）	色調	パターン	防火認定
	※クリア　・熱線反射 ・乳白　・カラー（　）		※無し ・有り

13ガラス留め材及び溝

ガラス留め材　[5.12.2]［表5.12.1]

建具の種類	材種
アルミニウム製	※シーリング材　・ガスケット（FIX部はシーリング材）
鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材
ステンレス製	※シーリング材

防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能認定品とする。
板ガラスをはめ込む溝の大きさ　[5.12.3]
改修種仕5.12.3以外のアルミニウム製建具及び板ガラスの場合は（社）日本建築学会JASS17 ガラス工事　「3.1納まり寸法標準」によるほか、性能値が確認できる資料を監督職員に提出する。

14ガラス用フィルム

名称	種類	張り面	性能値
※ガラス飛散防止フィルム	第2種	※内張り　・外張り	飛散防止率　D1
・			

品質JIS A 5759による

15重量シャッター

[5.9.2]［表5.9.1]

シャッターの種類	
・一般重量シャッター	耐風圧性能（　）N/m²
・外壁用防火シャッター	耐風圧性能（　）N/m²
・屋内用防火シャッター	
・屋内用防煙シャッター	

開閉機能
※上部電動式（手動併用）　・上部手動式
危害防止機構　※障害物感知装置　（自動閉鎖型）　[5.9.2]

16軽量シャッター

一般重量シャッターのシャッターケース　※設ける　・設けない　[5.9.2]
開閉形式　[5.10.2]［表5.10.1]
※手動式　・上部電動式（手動併用）
スラット　材質　※塗装溶融亜鉛めっき鋼板　[5.10.3]
形状　※インターロッキング形　・オーバーラッピング形　[5.10.4]
ガイドレール等　[表5.10.2]
※鋼板製　・ステンレス製SUS304（厚さ1.5mm）
耐風圧性能（　）N/m²

着工	・・	・・	
竣工	・・	・・	
監理		・・	
		・・	
施工		・・	
		・・	

市立長浜病院
Nagahama City Hospital
・・

参考図
（医事課・手術更衣室・総合案内廻り改修）

特記仕様書　改修工事編－2

意 2
※ － ※

NO. 31371701

720×500

5 建具改修工事

17 オーバーヘッドドア

[5.11.2～4] [表5.11.1.2]

セクション材	開閉方式	収納形式	ガイドレールの材質
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	・溶融亜鉛めっき調板 ※ステンレス調板 （SUS304）

耐風圧性能（　　）N/m²

18 かぎ箱

市販品
形　式　⊙30組用　・60組用　・120組用　・

6 内装改修工事

① 改修範囲

[6.1.3]

既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図示の範囲
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図示の範囲
天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※既存のまま
・図示の範囲

② 既存床の撤去並びに下地補修

[6.2.2]

ビニル床シート等の除去　※仕上げ材のみ（接着剤とも）
・下地モルタルとも（※図示の範囲　・除去範囲全て）
合成樹脂塗り床材の除去工法　・構縞的除去工法　・目荒工法
改修後の床の清掃範囲　※改修箇所の室内　・

③ 既存壁の撤去並びに下地補修

[6.3.2] [4.4.9]

※図示
・モルタル塗り（塗り厚25mmを超える場合の補強　※行う　・行わない）

4 木下地等

[6.5.2] [表6.5.2.3]

木材の品質
※改修標準仕様書6.5.2による　・市販品
代用樹種　※改修標仕様6.5.4による　[6.5.2] [表6.5.4]
・代用樹種を適用しない箇所（　　）
保存処理木材を適用する箇所（　　）

5 集成材等 G

[6.5.2]

品　名	規格・品質	芯材の種類	化粧単板の樹種
※集成材	※一般材	・たも　・なら　・しおじ	
・構造用集成材	※1級　・2級	・	
・造作用集成材	※1等　・2等	・	
・化粧ばり造作用集成材	※1等　・2等	・	・

ホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・第三種

6 接着剤

[6.5.2]

接着材に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。
※木工事に使用する接着剤
ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤（以下、「ユリア樹脂等」という。）を用いた接着剤のホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外　・第三種

※壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート、幅木に使用する接着剤、　[6.8.2] [6.14.2]
壁紙施工用でん粉系接着剤、ユリア樹脂等を用いた接着剤のホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外　・第三種

7 防腐、防蟻処理

行う箇所（　　）
防腐処理　※行う（※図示　・　　）
防蟻処理　・行う（※図示　・　　）
防腐、防蟻処理の種類、品質
表面処理用木材保存剤（防腐・防蟻剤）は監督職員の承諾するものとする。

8 床板張り

[表6.5.11]

下張り用床板	※無し		
	・有り	※合板張り ※規制対象外　・第三種	ホルムアルデヒドの放散量
		・板張り	
床板	※単層フローリング（共住19.5.2による）	※規制対象外　・第三種	ホルムアルデヒドの放散量
	・縁甲板	※ひのき　・	

⑨ 軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類　[6.6.2] [表6.6.1]
屋外（・19型　※25型）　屋内（※19型　・25型）
既存の埋込インサート　・使用する　・使用しない　[6.6.3.4]
あと施工アンカーの引抜き試験　・行う　・行わない　[6.6.4]
※天井ふところ1.5m以上の場合は吊りボールトの補強を行う
耐震補強　・行う（図示）
屋外軒天井及びピロティ天井補強　※　図示

10 軽量鉄骨壁下地

スタッドの高さが5mを超える場合　※　図示　[6.7.3]

11 ビニル床シート張り

材料　※仕上表による

工法　※熱溶接工法　・突付け（施工箇所：　　）　[6.8.3]

12 ビニル床タイル張り

[6.8.2]

種　類	JISの記号	厚さ（mm）	備　考
※コンポジションビニル床タイル（半硬質）	CT	※2	
・コンポジションビニル床タイル（軟質）	CTS	・	
・ホモジニアスビニル床タイル	HT	・	

13 帯電防止床タイル張り

[6.8.2]

種　類	厚さ（mm）	性　能
・コンポジションビニル床タイル	※2　・	体積抵抗値（JIS K 6911による） 1.0X10⁹Ω以下、または、 蹴えい抵抗値（JIS A 1454による） 1.0X10¹⁰Ω未満
・ホモジニアスビニル床タイル	※4.0又は4.5	
・	・	
・	・	

14 視覚障害者用床タイル（誘導用及び注意喚起用床材）

ブロックパターンはJIS T 9251による　[6.8.2]
色彩は黄色を原則とする
屋　内　※塩化ビニル製　・磁器又はせっ器質タイル（※300　・　　）
・レジンコンクリート製
屋　外　※レジンコンクリート製　⊙磁器又はせっ器質タイル（※300　・　　）

15 ビニル幅木

高さ（mm）　・60　・75　⊙100　[6.8.2]

16 合成樹脂塗り床

[6.10.3] [表6.10.3～7]

種　別	仕上げの種類
・弾性ウレタン塗り床材	※平滑仕上げ　・防滑仕上げ　・つや消し仕上げ
・エポキシ樹脂塗り床材	※薄膜流し展べ仕上げ ・厚膜流し展べ仕上げ（※平滑　・防滑） ・樹脂モルタル仕上げ（※平滑　・防滑） ・防滑仕上げ

ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの放散量　[6.10.2]
※規制対象外　・第三種

17 フローリング張り

[6.11.2～7] [表6.11.1～4]

種　別	材　種	工　法	仕上げ塗装等	備考
※天然木化粧複合フローリング	※なら	※釘どめ工法（C種）	※塗装品	
⊙単層フローリング	・ひのき		⊙無塗装品 3回塗	ポリウレタン塗装
	・	・	・	
	・	・	・	

ホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・第三種
（体育室：既存フローリングサンダー掛け及び一部増設　国大工業責任施工）

18 畳敷き

[6.12.2.3] [表6.12.1]

下地の種類	畳の種別
改修標仕　表6.5.9による床組	※B種　・
ポリスチレンフォーム床下地	※C種　・

畳表及び畳床はVOC含有量が少ないものとする

19 ポリスチレンフォーム床下地材

ノンフロンのもの　G
畳下地　厚さ（mm）　※40　・65　・80
フローリング類　厚さ（mm）　※80　・95

20 カーペット敷き

・歳じゅうたん　[6.9.2.3] [表6.9.1]

種　別	パイル形状	色柄　等	備考
・A種	・カットパイル	※無地	
・B種	・ループパイル	・柄物（標準品）	
・C種	・カット、ループパイル併用	・	

耐電性　※人体帯電圧3kV以下　・

・タフテッドカーペット　[6.9.2.3] [表6.9.2]

パイル形状	パイル長（mm）	工　法	備考
・カットパイル	※5～7　・	※全面接着工法 ・グリッパー工法	
・ループパイル	※4～6　・		
・カット、ループ併用	・		

耐電性　※人体帯電圧3kV以下　・

⊙タイルカーペット　[6.9.2.3] [表6.9.2]

パイル形状	種　類	種　類	総厚さ（mm）	備考
※ループパイル	※第一種 ・第二種	※500×500 ・	※6.5 ・	
・カットパイル				
・カット、ループ併用				

耐電性　・人体帯電圧3kV以下（フリーアクセスフロア敷設範囲）

21 せっこうボードその他のボード張り

[6.13.2] [表6.13.1]

種　類	JISの記号	厚さ（mm）、規格等
・硬質木毛セメント板	HW G	・15　・20　・25　・
・普通木毛セメント板	NW G	・15　・20　・25　・
・硬質木片セメント板	NF G	・15　・20　・25　・
⊙けい酸カルシウム板	0.8FK	タイプ2（無石綿）（⊙6　⊙8　・　　）
⊙ロックウール化粧吸音板	DR	※フラットタイプ （※9（不燃）　⊙12　・　　） ・凹凸タイプ （※12（不燃）　・15　・19　・　　）
⊙せっこうボード	GB-R	※12.5（不燃）　・9.5（準不燃）
・不燃積層せっこうボード	GB-NC	9.5（不燃）　化粧無（下地張り用） 化粧有（トラバーチン模様）
⊙シージングせっこうボード	GB-S	12.5（不燃）
・強化せっこうボード	GB-F	12.5（不燃）　15.0（不燃）
・せっこうラスボード	GB-L	9.5
⊙化粧せっこうボード	GB-D	・12.5（不燃）幅440mm程度　⊙9.5 模様（※石目　・板目　⊙トラバーチン）
・普通合板（難燃処理）	G	・生地、透明塗料塗り（ラワン合板程度） ・不透明塗料塗り（しな合板程度）
⊙メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903による　厚さ1.2
・ミディアムデンシティファイバーボード	MDF G	・素地MFD（RS）化粧MDF（・DV・DO・PC） ・3　・7　・9　・12　・
・単板張りパーティクルボード	G	・無研磨板VN　・研磨板VS ・10　・12　・15　・18　・
・ハードボード（素地）	HB G	・素地　・RN-HB　・RS-HB ・25　・35　・5　・7
・インシュレーションボード	IB G	・T-IB　・A-IB　・S-IB ・9　・12　・15　・18　・

合板類、繊維板、及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外　・第三種
軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材
※適用する　・適用しない

22 吸音材

[表6.13.1]

種　類	JISの記号	厚さ（mm）
・ロックウール吸音ボード1号	RW-B	※25　・
※グラスウール吸音ボード32K	GW-B	※25　・

23 壁紙張り（特殊塩ビフィルム）

[6.14.2]

施工箇所	壁紙の種類：紙	繊維（織物）	プラ（ビニル）	その他	無機質	防火性能	備考
別館EV乗り場	・	・	・	⊙	・	⊙不燃・準不燃・難燃	ﾌｫﾄﾞｸﾚｲﾝ（住友3M）
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	

素地ごしらえ　[6.14.3] [表7.2.4] [表7.2.7]
モルタル、プラスター面　※RB種　・RA種（施工箇所：　　）
せっこうボード面　※RB種　・RA種（施工箇所：　　）
壁紙のホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・第三種　[6.14.2]

24 モルタル塗り材料

吸水調整材　[6.15.3]

全固形分（%）	吸水性（g）	接着強度（N/mm²）	界面破断率（%）
表示値±1.0	30分で1g以下	0.98以上	50以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
防水剤（防水モルタル塗りの混入剤）
防水剤の種類　建築用のモルタルに用いるセメント防水剤

混合割合	凝結時間		曲げ及び圧縮強度比	吸水比	透水比
セメント重量の5%以下	JIS R 5201の試験において		70%以上	95%以下	80%以下
	始発	1時間以上			
	終結	10時間以内			

収縮性、脆弱性のひび割れおよびそりがないこと。
既製目地材　※適用しない　・適用する

25 陶磁器質タイル張り

タイルの種類　[6.16.3]

施工箇所	形状寸法（mm）	きじ：磁器	せっ器	陶器	施ゆう	うわぐすり：無ゆう	あり	役物：なし	色：標準	特注	再生材の適用G	備考
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

役物：標準的な曲がりの役物は一体成形とする
タイルの見本焼き　※行わない　・行う（※外装タイル　・　　）
内装タイル　※壁タイル接着剤張り　・積上げ張り

26 断熱材

（19.9.2.3）

種　類		施工箇所	厚さ（mm）	品質等
・押出法ポリスチレンフォーム保温板	※2種b	※一般部 ・	※25 ・	※ノンフロンのもの G ・特定フロンを使用しないもの
	※3種b（スキン層付）	・接地部分 ・	※25 ・	
・現場発泡断熱材		※断熱材補修部分	——	ノンフロンタイプ G
		・一般部 ・	※15 ・	・HFCタイプ 難燃性※3級・2級 ・難燃材料相当品

ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した
断熱材のホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・第三種

27 浴室天井材

市販品

材　質	表面仕上げ	性　能	幅（mm）	備　考
※アルミニウム製	※焼付け塗装品 ・アルマイト処理品	準不燃品	※200 ・100	図り縁は縞付きとし、製造所の標準品とする。
・硬質塩ビ製	※塗装品 ・木目調		※300 ・100	

28 フリーアクセスフロア

（20.2.2）

施工箇所	構　法	仕上り高（mm）	適用地震時水平力	耐荷重性能	表面仕上げ材	備　考
医事	⊙パネル構法 ・溝構法		⊙1.0G ・0.6G	⊙3.000N ・5.000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0G ・0.6G	・3.000N ・5.000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0G ・0.6G	・3.000N ・5.000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	

耐震性能5.000Nについては、平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したもの又は同等品とする。
表面仕上げ材の品質・規格等は、各内装工事による
スロープ及びボーダー　※製造所の標準仕様　・図示
コンセント等の取付け対応　※製造所の標準仕様　（コンセント本体は別途設備工事）
コンセントの箇所数は図示
配線用取り出しパネル　配線取り出し開口：パネル1枚につき40mm×80mm程度の開口1ヶ所以上
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合
※20～30パーセント　・
空調用吹き出しパネル　※無し
・有り（※固定式　・可変式　：施工箇所は図示）

29 可動間仕切

（20.2.3）

構造形式	パネル部の総厚さ（mm）	表面材種厚さ（mm）	表面仕上げ	遮音性能	防火性能
・スタッド式 ⊙スタッドパネル式 ・パネル式	建具表による	※鋼板 （※0.6　・0.8） ・	※メラミン樹脂又はアクリル樹脂焼付け ・	⊙あり （　　） ・なし	・あり ・なし

30 移動間仕切

（20.2.4）

遮音性能	厚さ（mm）	表面材	表面仕上げ	操作方法
・一般タイプ		※鋼板 ・	・焼付け塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式
・遮音タイプ（36db以上）		※鋼板 ・	・焼付け塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式

表面仕上げの壁紙張りの品質は23壁紙張りによる
遮音性能はJIS A 6512の遮音試験に準拠する

31 トイレブース

表面仕上げ材　※メラミン樹脂系化粧板（標準色　アルミ製コーナーエッジ付き）　（20.2.5）
・ポリエステル樹脂系化粧板
足形状　※幅木型　・足金物型

32 階段滑止め

材　種　ステンレスSUS304　（20.2.6）
形　状　ビニルタイヤ入り
両端フラットエンド　※有り（・ステンレス製　※ビニル製）　・無し
幅（mm）　約35
取付け工法　※接着工法　・埋込み工法

33 階段手すり

種　別	施工箇所
※集成材クリアラッカー仕上げ（市販品　径　約45mm）	
・ビニル製ハンドレール（幅　約50mm）	

（20.2.8）

34 黒板及びホワイトボード

種　類		寸法（mm）	色　彩	備　考
・黒板	※焼付け		※緑　・黒	※平面　・曲面　・スクリーン付引分
			※緑　・黒	
・ホワイトボード	※ほうろう		※白	※平面　・曲面　・スクリーン付引分

35 表示

衝突防止表示　※図示（市販品　※ステンレス製　径約30mm　・　　）　（20.2.10）
（・両面　・片面）
・無し
表示種類　案内用図記号についてはJIS Z 8210による
誘導種類、非常用進入口表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。
製造所　監督職員の承諾する製造所

36 ブラインド

・既存再使用する（養生方法：　　）　[2.3.1] [5.1.6]
・新設する　（20.2.12）

形　式	種　類	スラットの材質	
※横型	※ギヤ式　・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製 ・	※25
・縦型	・1本操作コード ・2本操作コード	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100

37 ロールスクリーン

防炎性能　※有り
製造所　性能の確認できる資料を監督職員に提出する　（20.2.13）

施工箇所	装置：電動	装置：手引	性能（防炎性能）	備　考
	・	・		
	・	・		
	・	・		

38 カーテン

・既存再使用する（養生方法：　　）　[2.3.1] [5.1.6]
⊙新設する　（20.2.14）

施工箇所	形式：片引	形式：引分	装置：電動	装置：ひも引	装置：手引	ひだの種類	性　能	備　考
	・	・	・	・	・			
	・	・	・	・	・			
	・	・	・	・	・			
	・	・	・	・	・			

39 カーテンレール

・既存再使用する　[5.1.6]
⊙新設する　（20.2.14）
材　種　※アルミニウム製　・ステンレス製
形　式　・片引き　・引分け（※暗幕用は300mm以上の召合せの重掛けとする）

40 ブラインドボックス及びカーテンボックス

⊙既存再使用する　[5.1.6]
・新設する
・市販品（アルミニウム製　押出し型材）
溝幅×深さ（mm）・90×150　※120×80　・120×150　・150×80　・
色彩　※B-1　・B-2（※ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー）
⊙図示

41 天井点検口

材　質　アルミニウム製（※鋼線タイプ　⊙目地タイプ）

42 床点検口

材　質　アルミニウム製（受け枠　※アルミ製　・ステンレス製）

43 鋼製書架及び物品棚

種　類	規格等	耐荷重による種類
・鋼製書架	JIS S 1039の規格による	・1種　・2種　・3種
・鋼製物品棚		・4種　・5種　・6種

44 くつふきマット

市販品
材　質　・塩化ビニル製（コイル状　ステンレス製受枠）　・ビニル製（ステンレス製受枠）
・硬質アルミニウム製（受枠とも）　・ステンレス製（受枠とも）

45 流し台ユニット

種　類	寸法（L＝　mm）	適用内容	規格・品質等
・流し台	※1200　・1500　・1800	トラップ付き	※優良住宅部品 （セクショナルキッチンⅠ型） ・
・コンロ台	※600　・700　・	バックガード　※有り	
・つり戸棚	※1200　・900　・600		
・水切り棚	※1200　・900	ステンレス製　※1段式	※市販品

46 屋内掲示板

枠の材質　※アルミニウム製
表面の材質　※塩ビ発泡シート張り　・

47 洗面カウンター

材　種　・メラミン樹脂化粧板張り（心材：集成材）　・人工大理石
奥行き（mm）　・約450　・約600

48 収納家具

材質　（12.2.2）（19.7.2）
形状・寸法　※図示
合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外　・第三種
・固定式

材質	厚さ（mm）	高さ（mm）	備考
※網入り磨板ガラス ・線入り磨板ガラス	※6.8 ・	※500 ・	アルミ製枠付き

・可動式

材質	厚さ（mm）	高さ（mm）	備考
・垂直降下式（巻取り型）	※不燃布（不燃認定品）	※500 ・800 ・	ガイドレール ※固定式（壁埋込型） ・可動式（天井収納型）
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800 ・	表面仕上げ ※天井材張り ・

49 防煙垂れ壁

降下機構　煙感知器連動及び手動開放装置（埋込型）

看工	・ ・	・ ・	
技工	・ ・	・ ・	
監理		・ ・	
		・ ・	
施工		・ ・	
		・ ・	

市立長浜病院
Nagahama City Hospital

参考図
（医事課・手術更衣室・総合案内廻り改修）

意　3
※　—　※

特記仕様書　改修工事編－3

NO. 31371701

720×500

7 塗装改修工事

①材料

屋内の壁及び天井仕上げ材は、防火材料とする。
建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの放散量 [7.1.3]
※規制対象外　・第三種

②下地調整

[7.2.2～7] [表7.2.1～7]

下地面の種類	下地調整の種別		備　考
木部	・RA種	※RB種	
鉄鋼面	・RA種	※RB種	
亜鉛めっき面	・RA種	※RB種	
亜鉛めっき面（鋼製建具）	※RB種	・RC種	
モルタル、プラスター面	・RA種	※RB種	
コンクリート、ALCパネル面	・RA種	※RB種	（2-UE）、（2-ASE）及び（2-FUE）は除く
せっこうボード、その他ボード面	・RA種	※RB種	

既存モルタル下地面等のひび割れ部の補修 [表7.2.4～6]
※行わない　・行う（補修範囲及び補修方法は図示）

③合成樹脂調合ペイント塗り

新規鉄面の塗りの種別　・A種　※B種 [7.4.4] [表7.4.2]

④フタル酸樹脂エナメル塗り

新規木部の塗りの種別　・A種　※B種 [7.5.2] [表7.5.1]
新規鉄面、亜鉛めっき面の塗りの種別　・A種　※B種 [7.5.3] [表7.5.2]

5 2液形ポリウレタンエナメル塗り

[7.8.2～4] [表7.8.1～3]

下地の種類	新規塗りの種別		塗り替えの種別		備　考
鉄面	※A種	・B種	・A種	※B種	
亜鉛めっき面	※A種	・B種	・A種	※B種	
コンクリート及び押出成形セメント板面	※A種	・B種	・A種	※B種	

6 アクリルシリコン樹脂エナメル塗り

新規鋼製建具等　※B種 [7.9.3] [表7.9.2.3]

7 常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗り

[7.10.2～4] [表7.10.1～3]

下地の種類	新規塗りの種別		塗り替えの種別		備　考
鉄面	※A種	・B種	・A種	※B種	
亜鉛めっき面	※A種	・B種	・A種	※B種	
コンクリート及び押出成形セメント板面	※A種	・B種	・A種	※B種	

8 つや有合成樹脂エマルションペイント塗り

新規の塗りの種別　・A種　※B種 [7.11.2] [表7.11.1]

⑨合成樹脂エマルションペイント塗り

新規の塗りの種別　・A種　※B種 [7.12.2] [表7.12.1]

10 合成樹脂エマルション模様塗り

新規の塗りの種別　・A種　※B種 [7.14.2] [表7.14.1]
塗替えの場合

既存塗膜	下地調整	種　別
合成樹脂エマルション模様塗り	※RB種	※A種
	・RC種	※C-3種
平滑な塗料塗り	※RB種	・A種　・B種
	・RC種	・C-1種　・C-2種

8-1 耐震改修工事及び耐震改修範囲以外の躯体改修工事

①鉄筋の種類

[8.2.1] [表8.2.1]

種類の記号	呼び名（mm）
⊙SD295A	※D16以下　・
・SD345	※D19以上　・
・	

2 溶接金網

網目の形状、寸法及び鉄線の径 [8.2.2]

網目の形状、寸法（たて×よこ）	鉄線の径または呼び（mm）	規格
※100×100	※6.0	JIS G 3551による
・	・	

③鉄筋の継手

継手工法 [8.3.4] [表8.3.3]

継手方法	呼び名（mm）	適用箇所
・ガス圧接		
⊙重ね継手		
・		

4 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ

鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは、目地底から算定する。 [8.3.5] [表8.3.6]
・耐久性上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。

施工箇所	改修種仕 表8.3.6の値に加える寸法（mm）
柱、梁、壁及び庇などの外気に接する打ち放し面	※10　・

5 各部の配筋

柱の配筋
帯筋の組立ての形の種別 [8.3.4] [図8.3.4]
・H形　・W-Ⅰ形　※W-Ⅱ形

6 ガス圧接

圧接部の確認試験 [8.3.9]
※超音波探傷試験
・引張試験

⑦コンクリートの種類及び強度

レディーミクストコンクリートの種別 [8.1.3] [表8.1.1]
※Ⅰ類　・Ⅱ類

普通コンクリート (6.1.4)

設計基準強度Fo（N/mm²）	強度割増ΔF	温度補正値	施　工　箇　所	スランプ
・18　※21　・24	3	種仕による	躯体	18
※16		種仕による		15
※18		種仕による	土間、捨コンクリート	15

発注強度＝Fc＋ΔF＋T
Fc　設計基準強度（Fo）に対応した換算強度（28日圧縮強度，N/mm2）
ΔF　割増強度
T　温度補正値

⑧温度補正

種仕による (表6.4.1)

⑨普通コンクリート

セメントの種類 [8.2.5] [表8.2.3]
※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種
・高炉セメントB種
普通ポルトランドセメントは、JIS R 5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。

水和熱	7d	352J/g以下
	28d	402J/g以下

混和材料
混和材料の種類 [8.2.5] [8.5.8]
※混和剤
・混和材

⑩モルタル及びグラウト材

柱底等の均しモルタル [8.2.10] (7.10.3) (表7.10.2)
※無収縮モルタル
・種仕表7.10.2によるB種

グラウト材 [8.2.10]
※無収縮グラウト材

無収縮モルタル及び無収縮グラウト材の仕様は以下による
無収縮グラウト材　プレミックス及び現場調合形

混和材	セメント系（酸化カルシウム及びカルシウムサルファルミネート等によって膨張する性質を利用するもの）とする。
セメント	JIS R 5210（ポルトランドセメント）による普通または早強ポルトランドセメントとする。
砂	土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。ただし、現場調合形に使用される砂の乾燥状態については、規定しない。

無収縮グラウトの品質及び試験方法（現場調合形においては標準使用量・配合値）

コンシステンシー	Jロートによる流下時間 練混ぜ完了から3分以内の値は　8±2秒
ブリージング	練り混ぜ2時間後のブリージング率　：　2.0%以下
凝結時間	凝結開始時間　1時間以上 終結時間　10時間以内
無収縮性	材齢7日　収縮しないこと
圧縮強度	材齢3日　20N/mm 以上 材齢28日　40.0N/mm 以上
付着強度	材齢28日　2.5N/mm 以上
塩化物量	0.30kg/m 以下
試験方法	1)日本道路公団規格（JHS）の「無収縮モルタル品質管理試験方法」312-1999による。なお、プレミックス形と現場調合形で混和材が同一の場合はプレミックスのみ試験を行う。 2)塩化物量は、JIS A 5308「レディミクストコンクリート」の9.6塩化物量の試験方法による。

無収縮モルタル

混和材	セメント系（酸化カルシウム及びカルシウムサルファルミネート等によって膨張する性質を利用するもの）とする。
セメント	JIS R 5210（ポルトランドセメント）による普通または早強ポルトランドセメントとする。
砂	土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。
配合比	（各重量比） （セメント＋混和材）　：　砂＝1：1

無収縮モルタルの品質及び試験方法

コンシステンシー	Jロートによる流下時間 練混ぜ完了から3分以内の値は　8±2秒
ブリージング	練り混ぜ2時間後のブリージング率　：　2.0%以下
凝結時間	凝結開始時間　1時間以上 終結時間　10時間以内
無収縮性	材齢7日　収縮しないこと
圧縮強度	材齢3日　25.0N/mm 以上 材齢28日　45.0N/mm 以上
付着強度	材齢28日　3.0N/mm 以上
塩化物量	0.30kg/m 以下
試験方法	1)日本道路公団規格（JHS）「無収縮モルタル品質管理試験方法」312-1999による。 2)塩化物量は、JIS A 5308「レディミクストコンクリート」の9.6塩化物量の試験方法による。

11 無筋コンクリート

(6.14.3)

種　類	設計基準強度Fc（N/mm ）²	スランプ（cm）	粗骨材の最大寸法	適用箇所
※普通コンクリート	※18	※15又は18	※25mm	
・軽量コンクリート	・		・20mm	

12 高い強度のコンクリート

設計基準強度Fc（N/mm ）² [8.9.1.2] [8.9.4]
・27　・30　・33　・36
適用箇所（　　）
混和材料 [8.9.3]
※混和剤
※高性能AE減水剤標準形又は遅延形
・

⑬鉄骨製作工場

製作工場の加工能力 [8.1.5]
⊙監督職員の承諾する製作工場
・建築基準法第77条の45第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた（株）日本鉄骨評価センター又は（社）全国鐵構工業協会の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「（　）グレード」として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場。
入熱，パス間温度の溶接条件
適用箇所　・図示　※柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部
鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件
※図示　・

14 入熱，パス間温度の溶接条件

適用箇所
※柱，梁，ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部
・図示（　　）
鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件
※図示　・
(7.1.4)

15 施工管理技術者

※適用する

⑯鋼材

鋼材の材質 [8.2.7] [表8.2.5]

種類の記号	適用箇所	規格等
SS400	全て	※JIS規格による
		※JIS規格による
		※JIS規格による

17 スカラップ

※改良型スカラップ　・

18 高力ボルト

高力ボルトの適用 [8.2.8]
※トルシア形高力ボルト　・JIS形高力ボルト　・溶融亜鉛めっき高力ボルト

19 鉄骨工作仮組

・行う　※行わない [8.12.9]

20 溶接部の試験

完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 [8.14.11.12]
※行う

㉑錆止め塗料

塗料の種類　※　B種（JIS K 5621　1種）　・　A種（JIS K 5622　1種） (7.8.3)
塗装回数　工場1回、現場1回塗 (7.10.3)

22 耐火被覆材

[8.17.2～6]

種　別		所要性能及び適用構造区分
・ラス張りモルタル塗り		
・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール	
	・半乾式吹付けロックウール	
	・湿式ロックウール	
・耐火板張り		

㉓既存コンクリート面の目荒し

適用範囲 [8.19.3] [8.20.3]
※既存コンクリートとの打継ぎ面
※既存コンクリートとモルタル又はグラウト材の充てん部の接合面
・
目荒らしの範囲
※柱，梁，壁面　打継ぎ面又は接合面全面の1/3程度
※壁面　打継ぎ面又は接合面全面の1/3程度
・
目荒らしの程度
※平均深さ5～10mm（最大深さ10～15mm）程度の凹部を施す

㉔あと施工アンカーの材料

あと施工アンカーの材料 [8.2.4]
・金属系アンカー（耐震補強用）
※接着系アンカー
接着剤の品質　※有機系　・
アンカー筋の種類　※鉄筋コンクリート用棒鋼
・全ねじボルト

㉕あと施工アンカーの穿孔

穿孔前の埋込み配管等の探査 [8.11.2]
範囲　※あと施工アンカー施工部分全て　・図示
方法　※探査器により探査し、配管等の位置の墨出を行う
・はつり出しによる

26 あと施工アンカーの施工確認試験

アンカー筋　※行う（確認強度は図示による） [8.11.5]
・行わない

27 断熱材兼用型枠

種　類		施工箇所	厚さ（mm）	品質等
・断熱材兼用型枠	・本質系 ・コンクリート系 ・プラスチック系	※壁（図示の範囲） ・	※40以下 ・	断熱抵抗 ＝厚さ/熱伝導率 ＝0.676以上 （m²・k/w）
		製造所　建設技術評価「建築物の断熱材兼用型枠工法の開発」において、評価を取得したもの		

着工	・・	・・	
竣工	・・	・・	
監理		・・	
		・・	
施工		・・	
		・・	

市立長浜病院
Nagahama City Hospital

参考図
（医事課・手術更衣室・総合案内廻り改修）

意 4
※ — ※

特記仕様書　改修工事編－4

NO. 31371701

720×500

共通事項

・本表は本工事に用いる内外装仕上げを一括して表す。各一覧表・材料表に記載の符号等は、本表以外の設計図にも適用する。
・すべての壁・天井について仕上・下地とも特記なき限り不燃材とする。
・コンクリートとコンクリートブロックまたはALCパネル及び軽鉄下地との壁取り合い部には化粧目地を設ける。
目地材は＊塩ビ製　・　　、目地幅は＊10mm　・　mmとする。
・天井下地は軽量鉄骨下地とする。
・床仕上げがビニルタイル・ビニルシートや塗床等の場合の下地は、コンクリート金ゴテ仕上げとする。

塗装一覧表

符号	名称	符号	名称
SOP	合成樹脂調合ペイント塗り	U-BE	1液形ウレタン樹脂焼付け塗り
CL	クリヤラッカー塗り	F-BE	ふっ素樹脂焼付け塗り
NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り	A-BE	アクリル樹脂焼付け塗り
		FUC	ふっ素樹脂クリヤー焼付け塗り(アルミニウム面)
DP-U	ウレタン樹脂耐候性塗料塗り	DPC	耐候性クリヤー塗装塗り(ステンレス面)
DP-AS	アクリルシリコン樹脂耐候性塗料塗り		
DP-F	ふっ素樹脂耐候性塗料塗り	DPC	耐候性クリヤー塗装塗り(コンクリート面)
		CWP	コンクリート面撥水剤塗り
EP-G	つや有合成樹脂エマルションペイント塗り		
EP	合成樹脂エマルションペイント塗り	FP	耐火塗料塗り
EP-T	合成樹脂エマルション模様塗料塗り		
		TXE	タールエポキシ樹脂塗料塗り
UC	ウレタン樹脂ワニス塗り	U-M	ウレタン樹脂塗料塗り鏡面仕上げ
WP	木材保護塗料塗り	DPH-U	重防食ウレタン樹脂耐候性塗料塗り
MP	マスチック塗材塗り	DPH-F	重防食ふっ素樹脂耐候性塗料塗り
		ATP	水性抗菌塗料塗り
FE	フタル酸樹脂エナメル塗り	HRP	耐熱塗料塗り
OS	オイルステイン塗り	ZP	溶融亜鉛めっきの上、りん酸処理
OC	オイルフィニッシュ仕上げ		
LE	ラッカーエナメル塗り	FLP-1	2液エポキシ樹脂床用塗料塗り
		FLP-2	特殊アクリル樹脂床用塗料塗り
		FLP-3	床用防塵塗料塗り

仕上材符号一覧表

	符号	名称
床・壁・天井	RC直	コンクリート直均し(金ごて)
	RC-A(化)	コンクリート化粧打放し仕上げ
	RC-A	コンクリート打放仕上げ
		(標仕 表6.2.1 A種)
	RC-B	コンクリート打放仕上げ
		(標仕 表6.2.1 B種)
	RC-C	コンクリート打放しのまま
		(標仕 表6.2.1 C種)
	CB	コンクリートブロック
	ALC	ALCパネル
	穴PC	穴あきPCパネル
	ECP	押出成形セメント板
	PC	プレキャストコンクリート
	LGS	軽量鉄骨下地
	VT	ビニル床タイル
	RT	ゴム床タイル
	VS	ビニル床シート
	TC	タイルカーペット
	CP	カーペット
	RW吹付け	吹付けロックウール
	GW	グラスウールガラスクロス付ボタン押え
	TB	テラゾブロック
	DR	ロックウール化粧吸音板
	溝DR	溝付ロックウール化粧吸音板
	GB-R	せっこうボード
	GB-P	吸音用穴あきせっこうボード
	GB-D	化粧せっこうボード
	GB-S	シージングせっこうボード

	符号	名称
床・壁・天井	GB-F	強化せっこうボード
	GB-H	普通硬質せっこうボード
	GB-L	せっこうラスボード
	GB-NC	不燃積層せっこうボード
	SGB	スラグせっこう板
	F	フレキシブル板
	NF	軟質フレキシブル板
	FK	繊維強化セメント板(けい酸カルシウム板)タイプ2
	FK-P	穴あきけい酸カルシウム板
	WB	木質系セメント板
	MDF	ミディアムデンシティファイバーボード
	C	クロス
	VC	ビニルクロス
幅木	V	ビニル幅木
	W	木製幅木
	VS	ビニル床シート立上げ幅木
見切	AL	アルミ見切縁
	V	ビニル製見切縁
	W	木製廻り縁
	SUS	ステンレス見切縁
防水	A防水	アスファルト防水
	改A防水	改質アスファルトシート防水
	S防水	合成高分子系ルーフィングシート防水
	U防水	ウレタンゴム系塗膜防水
	P防水	ポリマーセメント系塗膜防水
	C防水	セメント系防水

防火材料一覧表

区分	材料の名称・規格	認定番号
不燃材料	繊維強化セメント板(スレートボード・フレキシブル板・パーライト板)	NM-8576
	繊維強化セメント板(けい酸カルシウム板)タイプ2 t5mm以上	NM-8578
	化粧繊維強化セメント板	NM-8577
	せっこうボード t12.5、15mm	NM-8619
	不燃積層せっこうボード t9.5mm	NM-8613
	化粧せっこうボード t12.5mm	NM-8614 NM-0127
	強化せっこうボード t12.5、15、18、21、25mm	NM-8615
	普通硬質せっこうボード	NM-9645 NM-1139
	ロックウール化粧吸音板	NM-8599
	吹付けロックウール t10mm以上	NM-8601
	グラスウール保温板	NM-8605
	グラスウール化粧保温板	NM-8606
	ALCパネル	NM-＊＊＊＊
	押出成形セメント板	NM-9252
	塗料塗装/不燃材料(下地・法定不燃材)	NM-8585
	仕上塗材/不燃材料(下地・法定不燃材)	NM-8572

区分	材料の名称・規格	認定番号
不燃材料	紙製壁紙 繊維製壁紙 無機質製壁紙 (下地・法定不燃材料、金属・せっこうボードを除く。直張り)	NM-＊＊＊＊ NM-＊＊＊＊ NM-＊＊＊＊
準不燃材料	せっこうボード 9.5mm	QM-9828
	化粧せっこうボード 9.5mm	QM-9824
	シージングせっこうボード 9.5mm	QM-9826
	木片セメント板	QM-＊＊＊＊
	木毛セメント板	QM-＊＊＊＊
	紙製壁紙 繊維製壁紙 プラスチック製(塩化ビニル)壁紙 無機質製壁紙(不燃材料) (下地・法定不燃材料、金属・せっこうボードを除く。直張り)	QM-＊＊＊＊ QM-＊＊＊＊ QM-＊＊＊＊ QM-＊＊＊＊ ＊無機質壁紙は金属下地を含む

材料表

注)製造者・品番は、同等品以上とする。

名称(符号・呼び名)	品種・規格・寸法・仕上げの形状など	備考(製造者・品番など)
<床材>		
VT (一般)	303×303 t2.0 ｺﾝﾎﾟｼｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ	東リ. マチコV
VS-1 (一般)	t2.0 抗菌複層ビニル床シート	東リ. 抗菌フロアリュームプレーン
VS-2 (発泡層)	t2.0 ノーワックス発砲ビニル床シート	東リ. ホスピリュームNW
VS-3 (OP用)	t2.0 耐動荷重性・抗菌性・帯電防止	東リ. オペリューム
VS-4 (腰壁用)	t1.0 防汚消臭腰壁用塩ビシート	東リ. 防汚消臭腰壁シート
TC	500×500 t6.5 BCFナイロン	東リ. GA-100
<フリーアクセスフロア>		
OA	置敷タイプ H40 耐荷重3000N	共同ｶｲﾃｯｸ ネットワークフロア40
特記なき限りOAフロア下地に防塵塗装を施す		
OAフロア下地防塵塗装	水性型アクリル系防塵床塗料	ABC商会 OAクリアコート
<塗床>		
FLP-3	薄膜型水性アクリル樹脂系防塵塗床材	ABC商会 カラートップA
<巾木>		
V	軟質ビニル巾木	東リ. ビニル巾木
VG	ガード巾木 H300	東リ. ワイド巾木
VS-＊	床材立上げ	
見切り材を必ず使用	23.5×5 塩化ビニル	東リ. プチモール
W	タモ集成材巾木 SOP仕上	
<壁材>		
VC	防火1級防かび	サンゲツ. ABクラス
MB	メラミン化粧板	アイカ. セラール
<ボード>		
GB-D	t9.5 不燃	吉野石膏 ﾀｲｶﾞｰ ｼﾞｸﾌﾄｰﾝ・ﾗｲﾄ
耐水GB-R	t12.5 不燃	吉野石膏 ﾀｲｶﾞｰ不燃防水ﾎﾞｰﾄﾞ
化粧FK	化粧けい酸カルシウム板t5.0(不燃)	ｴｰｱﾝﾄﾞｴｰﾏﾃﾘｱﾙ ｽﾃｨﾝﾄﾞ#500
<ユニット類・その他>		
ユニットシャワー (US)	USFL=SL+200	TOTO JSV0812L
Exp. J	アルミ製 既製品 クリア100	
アコーディオンドア	オレフィン H2400	タチカワブラインド

720×500

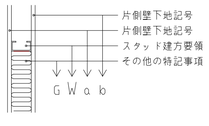
内装仕上表

＊改修仕上「－」表示は「現状のまま」を示す。　＊既設具・備品・その他付属物の撤去・脱着については別図参照。

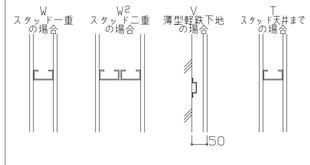
位置		室名	床	基準FLからのレベル mm	幅木	(Hmm)	壁	(塗装)	見切縁	天井	(塗装)	天井高(mm)	備考
本館3階 OP更衣室廻り	既存	乗換ホール	VS	±0	V	100	GL:GB-R(t12.5)	EP	V	DR(GB-R t9.5)		2,505	
		手術ホール	VS	±0	VS	100	GB-R(t9.5+12.5) >2400 GL:GB-R(t12.5) >2400 GL:FK(t6)+ｶﾞﾗｽﾘﾌｫｰﾑ樹脂板(t6)<2400	 EP	V	DR(GB-R t9.5)		3,000	
		SPD物品倉庫	VS	±0	V	100	GB-R(t9.5+12.5) GL:GB-R(t=12.5)	 EP	V	GB-D(t9.5)		2,505	
		前室1	VS	±0	V	100	GB-R(t9.5+12.5) GL:GB-R(t=12.5)	 EP	V	DR(GB-R t9.5)		2,505	
		前室2	VS	±0	V	100	GB-R(t9.5+12.5) GL:GB-R(t=12.5)	 EP	V	DR(GB-R t9.5)		2,505	
		患者更衣室・WC	フローリング（システム床 H150）	+150	V	100	GB-R(t9.5+12.5)		V	GB-R (t12.5)	VC	2,355	
		踏込	VS	±0			GL:GB-R(t=12.5)	VC				2,505	
		男子更衣室・脱衣	VS（システム床 H200）	+200	V	100	GB-R(t9.5+12.5)	EP	V	GB-D(t9.5)		2,305	
		踏込	VS	±0								2,505	
		WC	VS（システム床 H200）	+200						FK(t6)	VP	2,305	便器廻り：コンクリート
		女子更衣室・脱衣	VS（システム床 H200）	+200	V	100	GB-R(t9.5+12.5)	EP	V	GB-D(t9.5)		2,305	
		踏込	VS	±0								2,505	
		WC	VS（システム床 H200）	+200						FK(t6)	VP	2,305	便器廻り：コンクリート
		廊下	VS	±0	V	100	GB-R(t9.5+12.5) GL:GB-R(t=12.5)	 EP	V	DR(GB-R t9.5)		2,500	
本館3階 OP更衣室廻り	改修	乗換ホール 申し送りスペース	VS-3	±0	V	100	—	EP	—	—		—	車椅、アコーディオンカーテン
		手術ホール	VS-3（一部）	—	V（一部）	100	GB-R（H>2400 一部） 化粧FK（H>2400 一部）	OP （一部）	V	DR（一部）		—	車椅
		麻酔科診察室1	VS-1	±0	VS-1	100	GB-R	EP	シール	GB-R	EP	2,505	洗面、鏡
		麻酔科診察室2	VS-1	±0	VS-1	100	GB-R	EP	シール	GB-R	EP	2,505	
		患者控室	VS-1	±0	VS-1	100	GB-R	EP	シール	GB-R	EP	2,505	
		患者更衣室 WC	VS-1	±0	VS-1	100	GB-R	EP	シール	GB-R	EP	2,505	洗面、鏡、補助手摺
		女子更衣室・脱衣 WC	VS-1 （かさ上げ150）	+150	V	100	GB-R	EP	シール	GB-R	EP	2,355	洗面、鏡、補助手摺、US、カーテン
		踏込	VS-1	±0	V	100							
		ホール 器材スペース	VS-1	±0	V	100	GB-R	EP	V	DR		2,500	車椅

03　軽量鉄骨間仕切壁リスト　1/10

壁種別記号凡例　平面図中凡例



スタッド建方要領



その他の特記事項

G	グラスウール充填（遮音仕様）を示す。詳細図参照

注記（軽鉄間仕切壁各階共通）

- 特記なき限り一般壁種別はWaaとする。
- 特記なき限り軽量鉄骨下地材及び壁張りボード（2重張）をスラブ下端、または梁下端まで立上げる。
- 床上階スラブ梁との取合部は層間変位に追従出来る工法とする。
- 防火区画間仕切は梁下、スラブ下、ダクト貫通部等は適切な区画の処理をする事。
- 外壁廻りは矩計図等参照とする。
- 耐火間仕切壁は Ⓦと表現する。

壁下地記号	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m
壁下地	せっこうボード t12.5+t12.5	せっこうボード t12.5+t9.5	せっこうボード t12.5	強化せっこうボード t12.5+t12.5	強化せっこうボード t21+t21	せっこうボードt12.5 + 化粧けいカル板 t5	けいカル板 t8	けいカル板 t8+t8	けいカル板 t12+t12	ヒラミックボードt5 + けいカル板t12	せっこうボード t12.5 + 耐水せっこうボードt12.5	けいカル板 t12+t10+t12	繊維混入けい酸カルシウム板 t35
	25	22	12.5	25	42	17.5	8	16	24	17	25	34	35

02　平面図・部分平面図・凡例記号表

記号	種別及び一般記号	備考
	鉄骨鉄筋コンクリート壁 又は鉄筋コンクリート壁	
	ALC版	
	コンクリートブロック造	
	軽鉄間仕切（増改築） 特記なき限り Waaを示す。	
	スチール・パーティション（可動間仕切）	
SS	シャッター	
1 2	固定垂壁 1: ガラス垂壁 2 ボード垂壁（けいカル板6 G-EP）	
1	可動式垂壁（天井埋込ロール型）	
RD ◎100ø	ルーフドレイン（特記なき限り鋳鉄製竪樋、100ø、 数値は径を示す。バルコニーは特記なき限り65ø）	
○65ø	竪樋（数値は径を示す。バルコニーは特記なき限り65ø） 特記なき限り100ø	
中	樋下沓石	
OF 50ø	オーバーフロー管 （特記なき限りステンレス製50øUE）	
	天井横引雨水管（鋳鉄製，数値は径を示す）	
	伸縮目地（@3,000前後）	
	排水溝	
	足場丸環	
ガード付	タラップ	
U1, U2	配線ピット，点検口	
U3~U7	排水ピット	
	床下点検口（密閉型）600□　防水・防臭型	
	鋳鉄製マンホール蓋 600ø 防水防臭型＋タラップ	
	ステンレス製マンホール化粧蓋 600□ 防水防臭型＋タラップ	
（吊金具）	排水会所，排水吊金具所 450×450 鋳鉄製マンホール蓋 450ø 防水防臭型 及び鋳鉄製格子蓋	
（吊金具）	汚水会所，汚水吊金具所 600×600 鋳鉄製マンホール蓋 600ø 防水防臭型	
	グリーストラップ	
	機械基礎（特記なき限りH=150とする）	
	点状誘導表示	
	線状誘導表示	
F1 F2 F3	開口枠 スチール1.6 SOP 1は縦枠 2は二方枠 3は三方枠 H=2000 -Wは 竪木LC -Sはステンレス	
R	点滴レール	
F	点滴フック	
P	ピクチャーレール	
C CD	C: カーテンレール（天井付） CD: カーテンボックスドア上枠付（BDと同様）	
Cu	カーテンは別途工事 Cu: カーテンレール（中吊）　カーテンは別途工事	
A	アコーディオンカーテン	
MW	スライディングウォール（移動式間仕切）	
	手摺 ST-a1	
	ストレッチャー摺 ST-a2	

記号	種別及び一般記号	備考
SB	映写スクリーン及び収納BOX	
F	フード（設）	
M	天井付無影灯（別途工事）	
Co	天井付シーリングコラム	
SCH	シャウカステン （別途工事）	
FS	光線フットスイッチ （特記なき限りキック式）	
	コーナービート Aタイプ	
	洗面化粧台（カウンターはメラミンポストフォームで建築工事、洗面器は設）	
M	洗面化粧台（カウンターは建築工事、洗面器は（設）） M: カウンターメラミン化粧板	
	洗面器（設）	
	手洗器（設）	
	汚物流し（設）	
滅 滅	滅菌手洗（滅菌水製造器共）（設）	
医	医科用手洗（肘洗いタイプ）（設）	
	沐浴槽（設）	
SK	掃除用流し（設）	
髪	洗髪器（設）	
M	化粧鏡（設）（TOTO YM-4560F程度）	
HL-15	吊戸棚 添字15はℓ=1500を示す。	
S K-12	一般の湯沸流し 上部吊戸棚 水切棚 フード配管バック付 （既製品）添字12は長さ1200を示す。 S: シンク	
S Mc-18	作業台 天板メラミン化粧板 ↳◆はガイドレール付キャビネットを示す。 S: シンク	
S Sc-18	添字18は長さ1800を示す。 作業台 天板ステンレス ↳◆はガイドレール付キャビネットを示す。 S: シンク	
R-15	添字18は長さ1800を示す。 各種カウンター 添字15はℓ=1500を示す。	
PB1	パスボックス	
	補助散水栓（設）	
	連結送水管放水口（設）	
1 2	消火器ボックス　1: 半埋込型　2: 全埋込型	
詳	詳細図参照部分	
	床下二重スラブ範囲	
⊕	天井面放射線撮影機器用アンカーボルト ⊕1ヶ所当たり2-M12を示す。	
	緊急用医療ガスパネル取付位置を示す。	
	外来諸室医療ガスパネル取付位置を示す。	
A B C	A: 壁掛型　B: 床置型　C: 床置手洗一体型　便器（設） 配管バック	
a	上部通気管　VPφ200、下部水抜きVPφ100半割	
孔	人通孔 600φ	
EXP.	EXP. J	
	点検口 ナカ工業 壁点検口 ウォールハッチ WHA450W程度	

着工			
竣工			
監理			
施工			

市立長浜病院
Nagahama City Hospital

参考図
（医事課・手術更衣室・総合案内廻り改修）

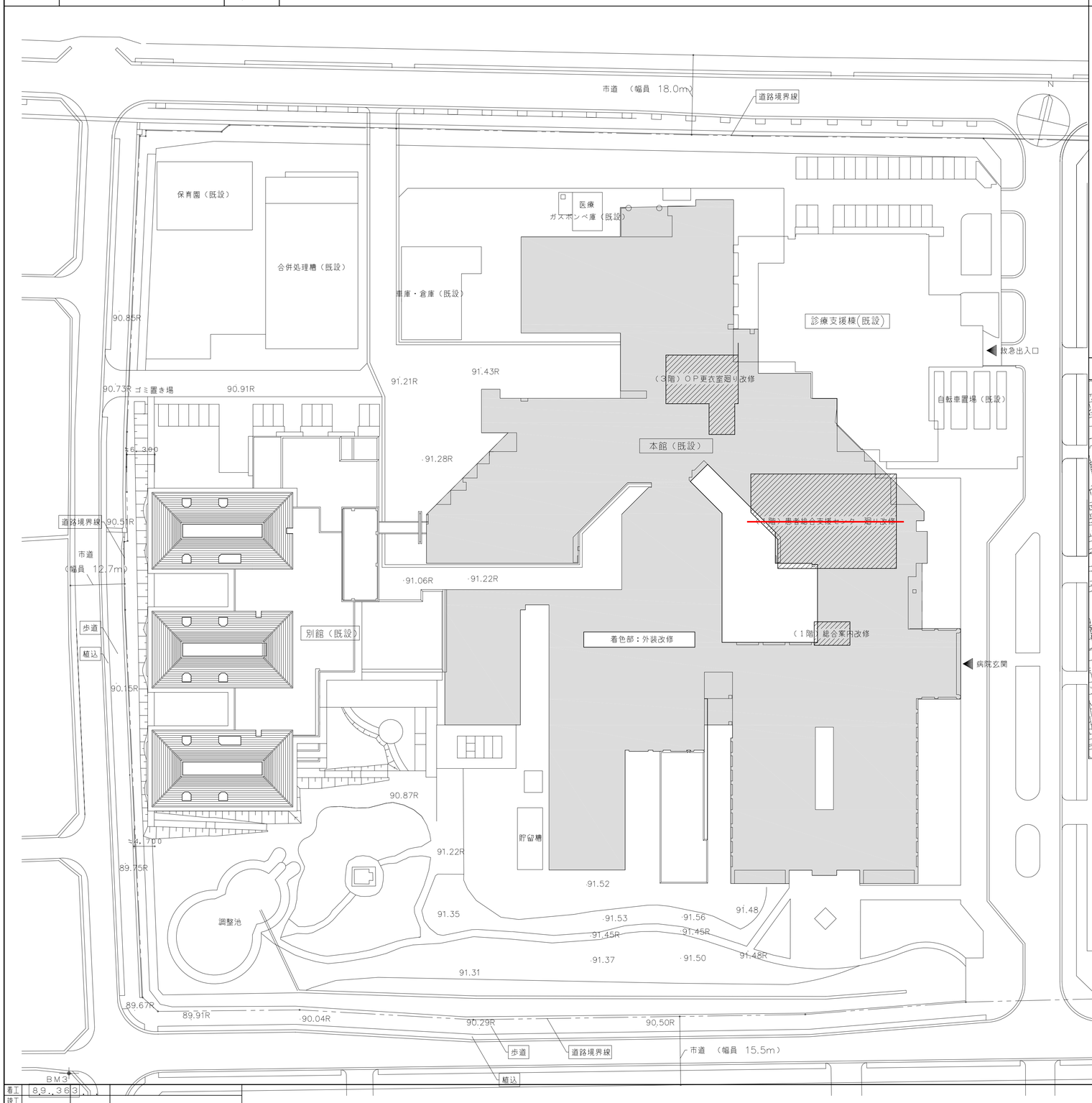
改修仕上表-2

音 6 ※ — ※

NO. 31371701

720×500

01	配置図	1/500



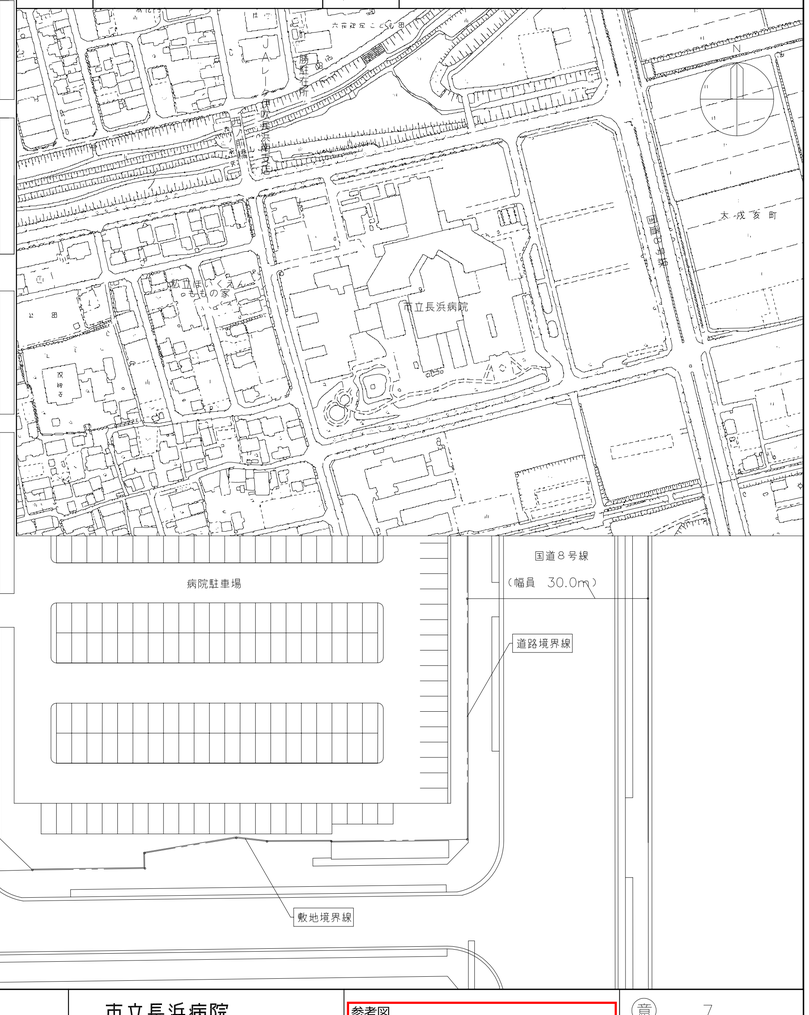
02	建築概要	—

工事名称	市立長浜病院患者総合支援センター（仮）等改修工事		
建築場所	長浜市大戌亥町３１３		
地域・地区	市街化区域	建物の規模	既設：地上７階　塔屋１階
許容容積率	300%（許容最大床面積　172,699.26㎡	建物の構造	鉄骨造
許容建ぺい率	80%（許容最大建築面積　46,053.13㎡）	病床数	624床
その他の指定	日影規制（第１種住居地域：5m−5時間　10m−3時間		第２種中高層住居：5m−4時間　10m−2.5時間）
主要用途	病院（総合病院）	建物の高さ	基準地盤高(SGL)　TP+　m
敷地面積	57,566.42　㎡		１階床高　SGL+
建築面積	17,256.58　㎡　（建ぺい率　29.98%）		最高の高さ　SGL+
延べ面積			軒高　SGL+
容積対象床面積	47,435.95　㎡　（容積率　82.40%）		基礎底の深さ　SGL
			地業　既製コンクリート杭地業

■各階面積表

		既設棟	別棟	合計
PHF		184.65		184.65
7F		2,429.18		2,429.18
6F		2,449.10		2,449.10
5F		2,481.35		2,481.35
4F		3,942.02		3,942.02
3F		8,785.53		8,785.53
2F		11,378.15	115.38	11,493.53
1F		14,732.95	937.64	15,670.59
合計		46,382.93	1,053.02	47,435.95

03	附近見取図	1/2500



着工	8.9.363		
竣工	. .	. .	
監理		. .	
施工		. .	

市立長浜病院
Nagahama City Hospital

参考図
（医事課・手術更衣室・総合案内廻り改修）

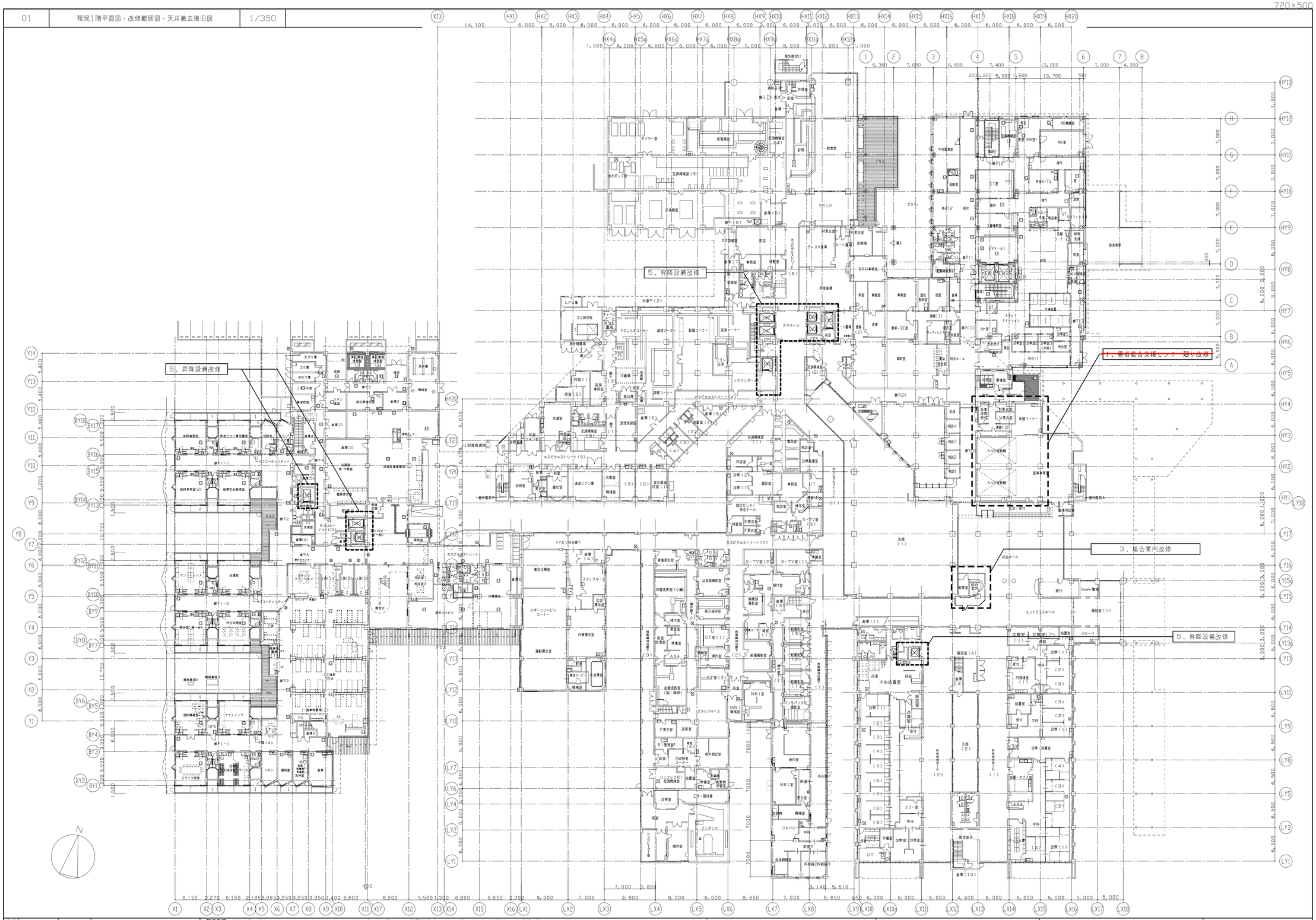
配置図・建築概要・附近見取図

意　7
※　—　※

NO. 31371701

01	現況1階平面図・改修範囲図・天井撤去復旧図	1/350

720×500



着工	. .	. .	改修範囲を示す。
竣工	. .	. .	
監理		. .	
施工		. .	

仮設間仕切：シート吊りげおよび給排気口の目張り
＊設置位置は避難経路その他安全性を考慮し
監督員と協議の上最終決定知る。

市立長浜病院
Nagahama City Hospital

参考図
（医事課・手術更衣室・総合案内廻り改修）

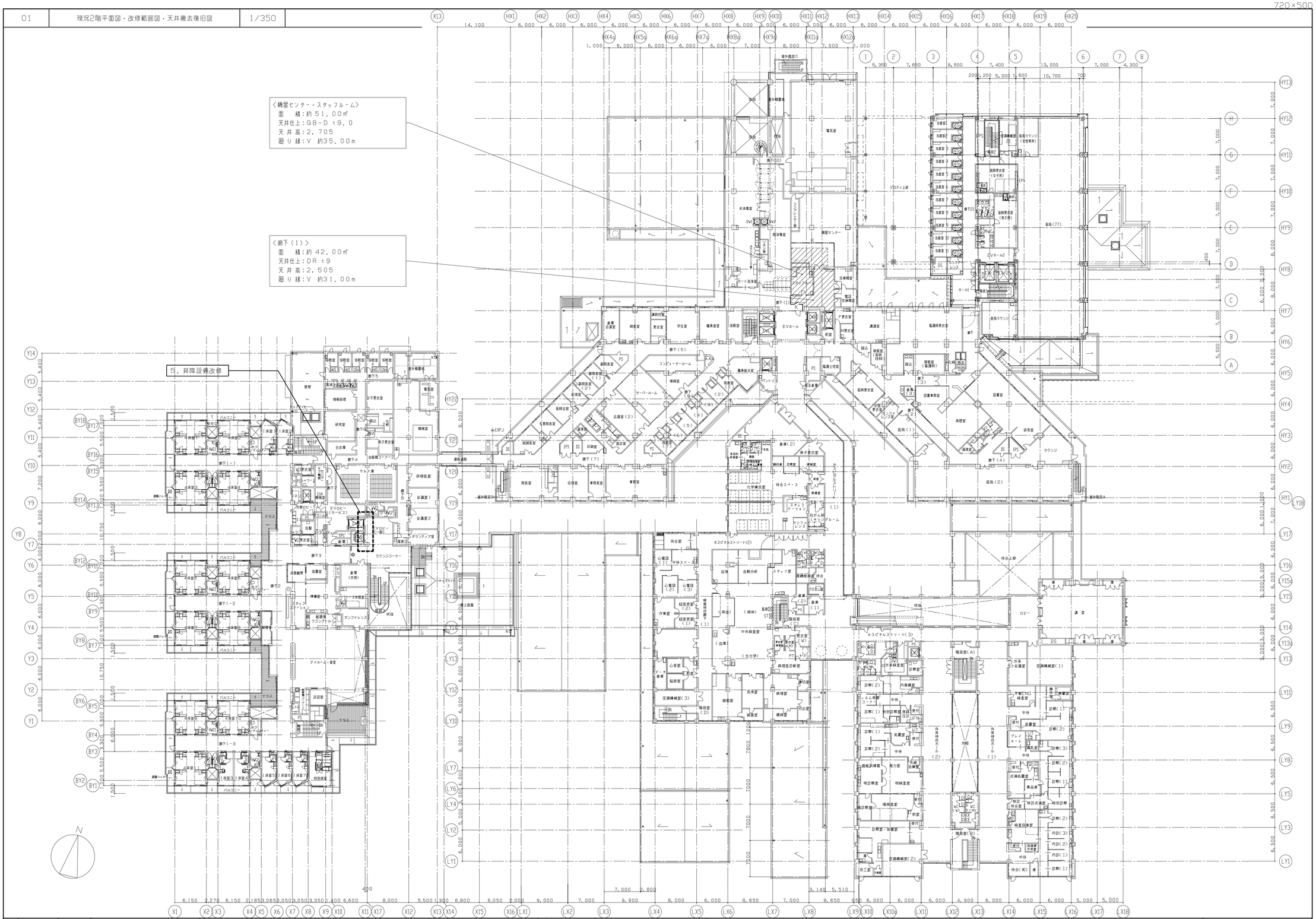
現況1階平面図・改修範囲図・天井撤去復旧図

意 8
※ — ※

NO. 0 — 120266 - A

720×500

01	現況2階平面図・改修範囲図・天井撤去復旧図	1/350



着工			天井撤去復旧範囲を示す。	仮設間仕切：シート吊りげおよび給排気口の目張り	改修（調査）範囲を示す。	
竣工			・図中特記ある撤去復旧面積および廻り縁長さは参考値とする。	＊設置位置は避難経路その他安全性を考慮し		
監理			・既設天井点検口（450角）の脱着：約4ヶ所を見込むこと。	監督員と協議の上最終決定知る。		
施工			・既設設備機器の脱着は設備図参照。 ＊天井撤去復旧工事の未消毒室部分は土曜、日曜、祝日の作業のみとする。			

市立長浜病院
Nagahama City Hospital

参考図
（医事課・手術更衣室・総合案内廻り改修）

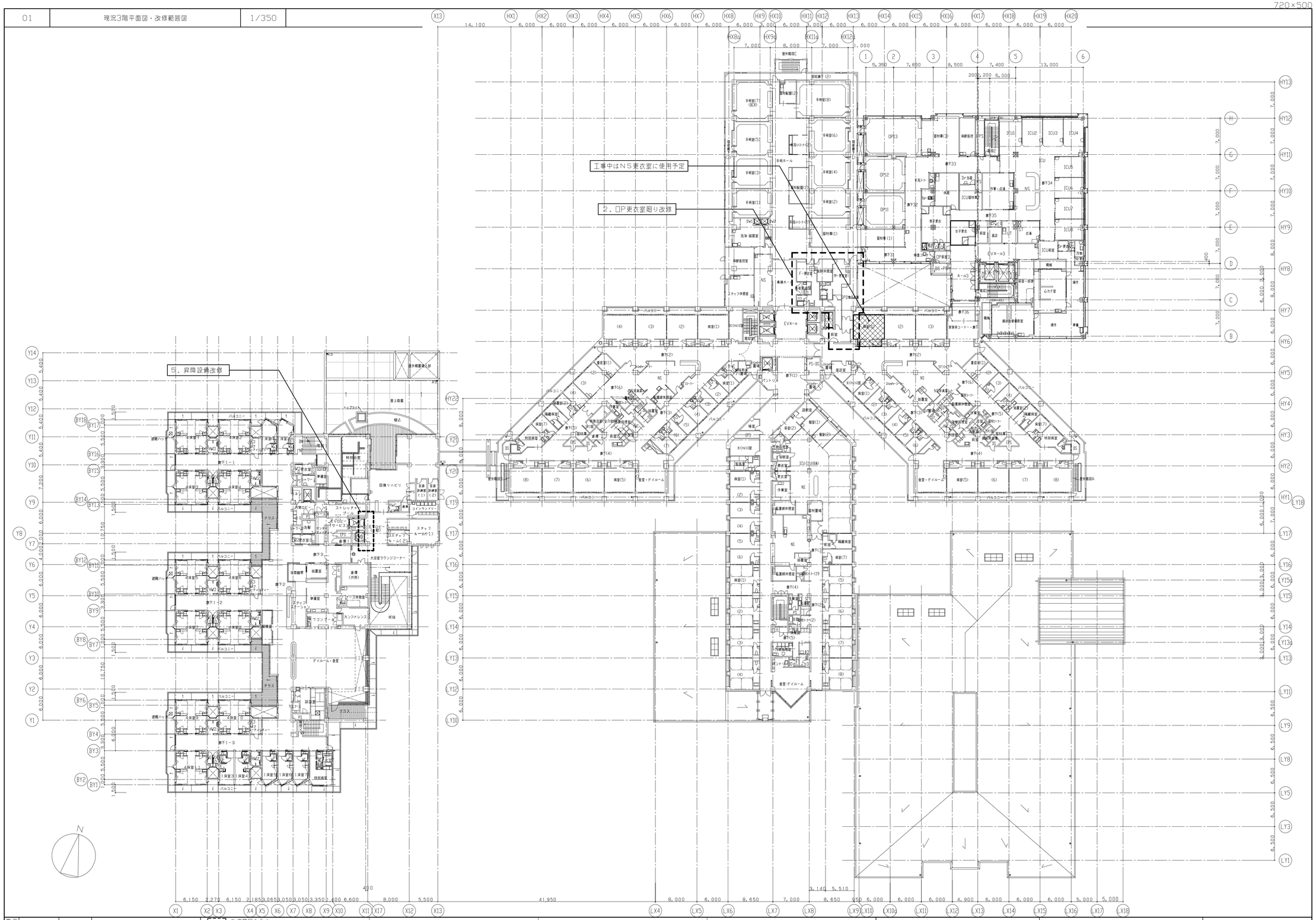
現況2階平面図・改修範囲図・天井撤去復旧図

9
※ — ※

NO. 0 — 120266 - A

01	現況3階平面図・改修範囲図	1/350

720×500



着工	. .	. .		改修範囲を示す。		
検工	. .	. .				
監理		. .		＊ＯＰ更衣室廻り改修工事は土曜、日曜、祝日のみの作業とする。		
施工		. .				

市立長浜病院
Nagahama City Hospital

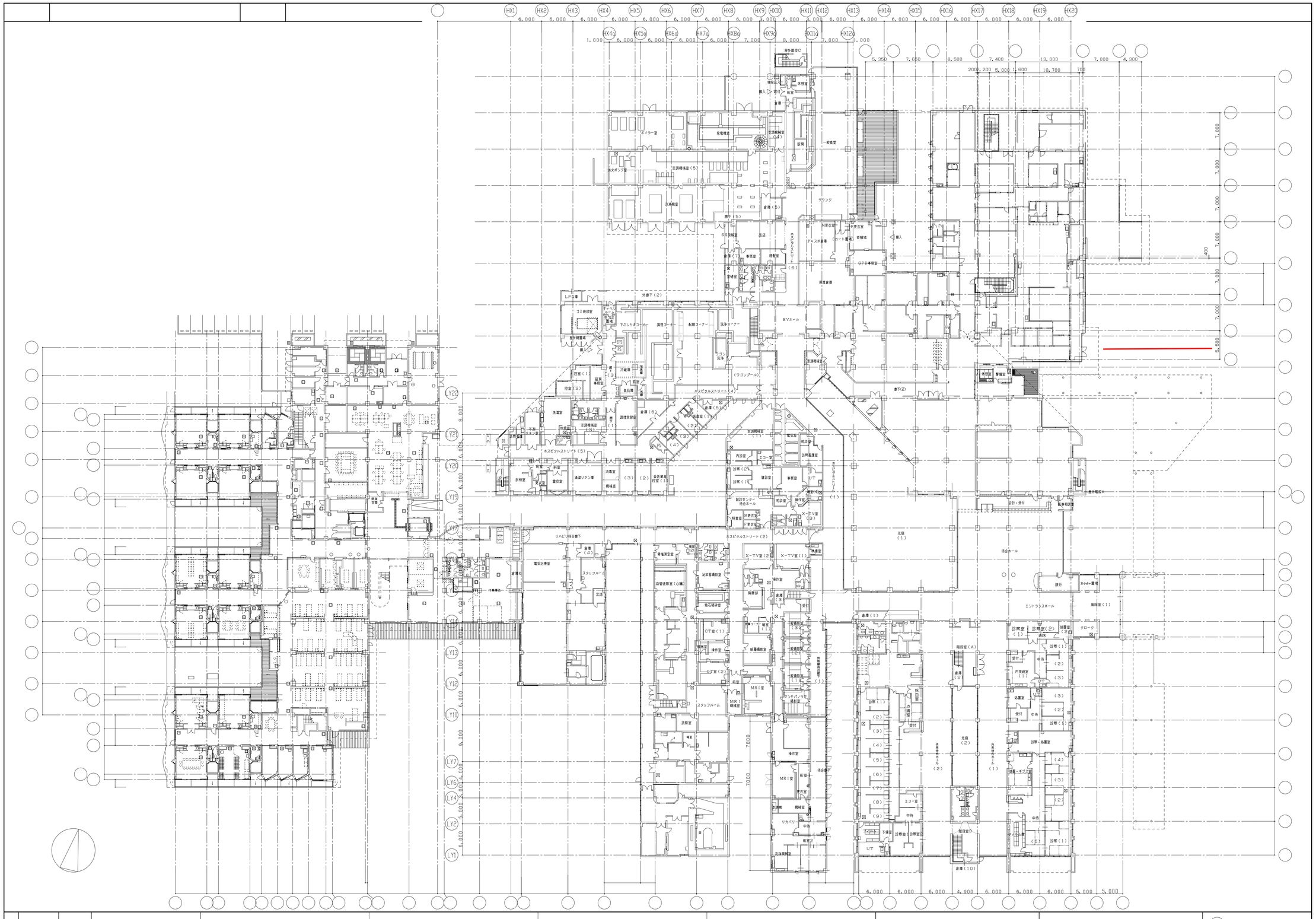
参考図
（医事課・手術更衣室・総合案内廻り改修）

. .

現況3階平面図・改修範囲図

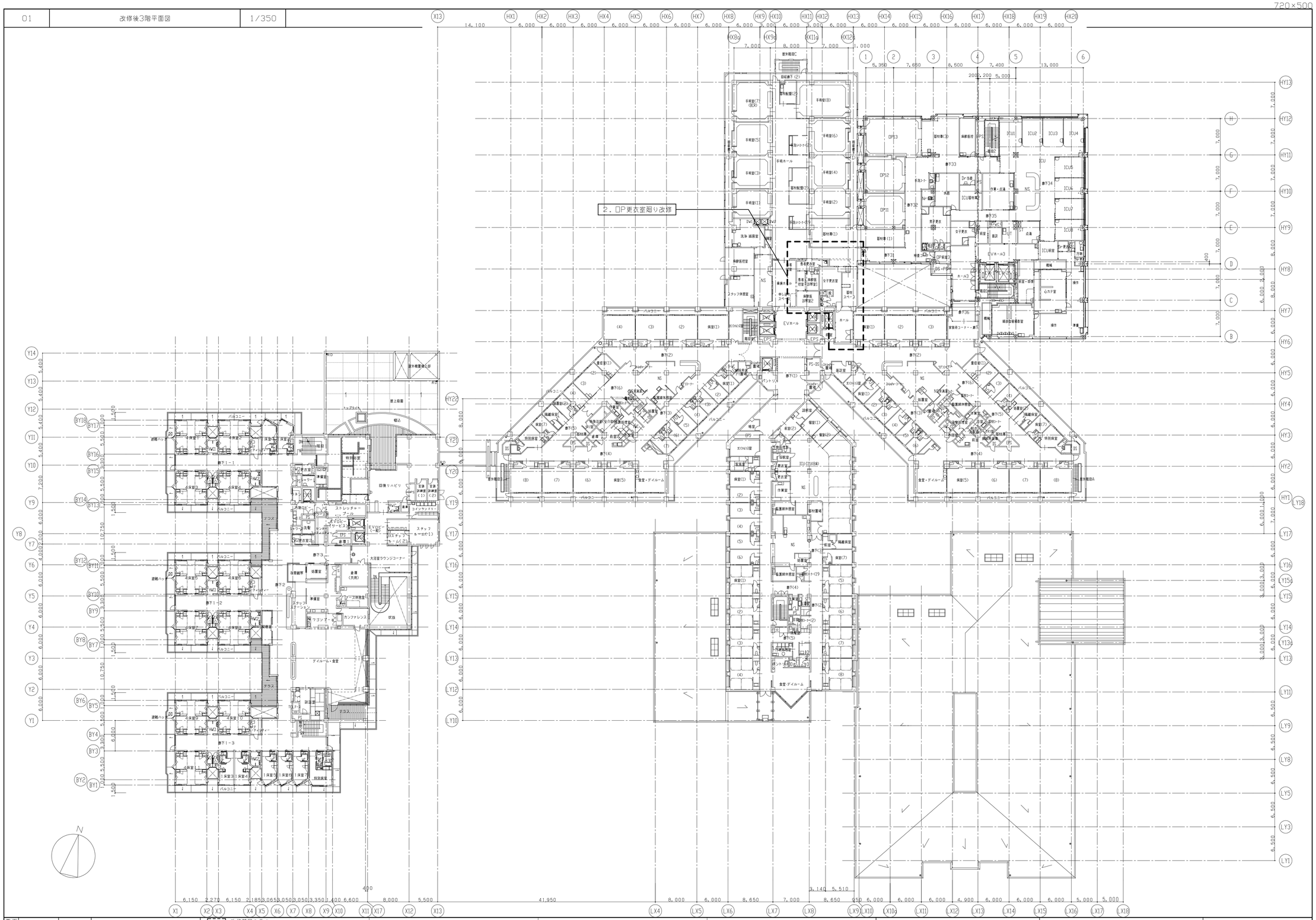
10
※ － ※

NO. 0 － 120266 － A



参考図
（医事課・手術更衣室・総合案内廻り改修）

01	改修後3階平面図	1/350



着工	. .	. .	
竣工	. .	. .	
監理		. .	
施工		. .	

改修範囲を示す。

市立長浜病院
Nagahama City Hospital

参考図
（医事課・手術更衣室・総合案内廻り改修）

改修後3階平面図

音 12
※ — ※

NO. 31371701

720×500

共 通 事 項

・本表は建具関連の符号・標準枠納まりなどを示しているが、本表に記載のない仕様は標準仕様書・特記仕様書(16章・20章・9章・14章・18章)を適用する。
・トイレブース、SK戸、戸棚、カウンター戸その他これらに類する建具は別図によるものとし、本表には含まない。
・本表に記載の符号などは、本表以外の設計図にも適用する。
・建具表備考欄に 防 特 とあるのは、防火設備・特定防火設備を示し、開き戸はノンストップクローザー、埋込み戸は煙感知器連動閉鎖装置付きとする。
・建具表にない建具(家具に付属する建具など)は、平面詳細図・展開図・部分詳細図による。
・表中、※印を付した事項を適用する。・印を⊙にした場合は、⊙印を優先して適用する。
・※⊙印とした場合は、両方を適用する。

建具の符号(平面図の記載例)

既存

窓枠三方枠の改修工法
・かぶせ工法
増去・改修の区分
撤:撤去建具 改:改修建具
建具の種類
整理番号

新規

その他(金属以外)
SG:ガラス用等など
建具の種類
整理番号
鋼板
(PD, CP, HK など)
防災建具種別
(　,　,防,防)
気密性能
(SAT, AT, PAT)

図面表示(平面図の記載例)

ドアクローザー
ヒンジクローザー
フロアヒンジ
上げ落し機構側
(くつずりの符号・形状番号)

建具の種類と符号

符号	種類	符号	種類	符号	種類
AD	アルミニウム製戸	STW	ステンレス製窓	OHD−S	鋼製オーバーヘッドドア
SD	鋼製戸	TW	強化ガラス窓	OHD−A	アルミニウム製オーバーヘッドドア
SD−S	標準型鋼製戸	MW	窓用網戸	OHD−F	ファイバーグラス製オーバーヘッドドア
LD	鋼製軽量戸	WW	木製窓	AG	アルミニウム製がらり
LD−S	標準型鋼製軽量戸	F	ふすま	SG	鋼製がらり
STD	ステンレス製戸	S	紙張り障子	STG	ステンレス製がらり
TD	強化ガラス戸	SS	鋼製重量シャッター	WG	木製がらり
WD	木製戸	STS	ステンレス製重量シャッター	GSH	ガラス製防煙垂壁
XD	鉛入り鋼製戸	SLS	鋼製軽量シャッター	MSH	可動式防煙垂壁
AW	アルミニウム製窓	ALS	アルミニウム製軽量シャッター	SP	可動間仕切(パーティション)
SW	鋼製窓	LGS	ステンレス製リンググリルシャッター	MP	移動間仕切(スライディングウォール)
XW	鉛入り鋼製窓	SSS	防煙シートシャッター	TL	トップライト

ガラスの種類と符号

符号	種類	符号	種類	符号	種類
FL	フロート板ガラス	DSHA	倍強度熱線吸収ガラス	AWC	熱線吸収網入磨き板ガラス(防火設備)
F	型板ガラス	L	合わせガラス	AWL	熱線吸収線入磨き板ガラス
A	熱線吸収フロート板ガラス	D	複層ガラス	X	鉛入りガラス
R	熱線反射ガラス	LE	Low−E複層ガラス	FK	耐熱ガラス(特定防火設備)
AR	熱線吸収反射板ガラス	PWC	網入ガラス(防火設備)	GB	ガラスブロック
HR	高性能熱線反射ガラス	PWL	線入ガラス	PB	ポリカーボネート系合成樹脂板
T	強化ガラス	FWC	網入型板ガラス(防火設備)	AL	アクリル系合成樹脂材
HS	倍強度ガラス	FWL	線入型板ガラス		

建具金物などの種類と仕様

注)・建具金物などの仕様は下記とし、製造者・品番は同等品以上とする。
・建具の大きさ・重量に適した品番を選定する。

区分	符号	種類	材質・性能など	製造者・品番	備考
錠・締り金物	C	空錠	※シリンダー施錠のシリンダーなしタイプ		
	PD	本締り錠	扉戸、自動ドアなどは、締まり可能に応じて同等性能品から選定する。	美和TRF・MDAシリーズ程度 美和DHシリーズ程度	握玉、ハンドルを別途指定する
	CP	シリンダー箱錠	バックセット <握玉> ※70mm以上・64mm以上・60mm以上 <レバーハンドル> ・70mm以上 ※64mm以上・50mm以上		
	LCD	レバーハンドル錠		美和LHSシリーズ程度	
	LCD−2	レバーハンドル錠(自動施錠タイプ)			
	MCP	握玉ハンドル錠			
	SL−1	引戸錠(鎌錠)		美和FGシリーズ程度	取手(ハンドル)を指定する。
	SL−2	引戸錠(上吊り戸用・ロッドタイプ)		美和UDシリーズ程度	取手(ハンドル)を指定する。
	MW	本締り付きモノロック(両面錠)			
	MS	本締り付きモノロック(片面錠)			
	G−1	グレモン錠	ハンドル(※亜鉛合金・ステンレス)		
	G−2	グレモン錠(脱着ハンドル)			
	K	点検扉錠(面付け本締り錠)	※黄銅製・ステンレス製	美和NDRシリーズ程度	
	HK−1	ホテル錠(レバーハンドル錠)			
	HK−2	ホテル錠(カード錠)			
	FD	上げ落し(フランス落し)		堀2218・2219程度	
	FDA	自動上げ落し			
	前記錠に付属する符号(ただし、前記全ての錠との組合せはない)				
	−EL	非常開装置付本締錠			
	−E	電気錠(シリンダー錠)		美和ALRシリーズ程度	タイプは指定する必要あり。
	−H	非常開錠装置表示付き			トイレ個室などに使用する。
	−T	耐震受座付き	戸は目板加工とする		
支持金物	H	丁番	室内の丁番の幅 ※鋼製、ステンレス製	堀2842(6インチ)程度	
	PH	ピボットヒンジ(枠付け)		リョービピボットヒンジ程度	一般型
	PH−1	ピボットヒンジ(床付け)			
	PH−2	ピボットヒンジ−2	ステンレス製(のストウッカスまたは開閉加工)		
	PH−3	特殊ピボットヒンジ(重量戸用)	戸の質量に応じたものとする		
	RH	連続丁番			
	TH	耐震丁番			
	SH	軸吊りヒンジ		リョービTKP程度	点検扉用
自閉装置付き支持金物	FH	フロアヒンジ	形式 ・浅型 ・一般型 防水仕様 ・防水型 ・一般型 カバー材質(　　)		
	HC−1	ヒンジクローザー(中心吊)			
	HC−2	ヒンジクローザー(丁番型)			
自閉装置	DC−1	ドアクローザー	・バックチェック機能、ラッチング機能、ディレードアクション機能付き	リョービ1000シリーズ程度	
	DC−1α	ドアクローザー	・バックチェック機能、ラッチング機能付き		
	DC−2	ドアクローザー(コンシールド)			
	DC−3	点検口用簡易ドアクローザー			点検口用 自閉装置要の場合
ハンドル・把手類	LH	レバーハンドル		美和64タイプ(ST)程度	製品程度を記載する。
	LH−X	レバーハンドル			製品程度を記載する。
	LH−2	レバーハンドル−2			製品程度を記載する。
	N	握玉	形状 ：※Y形 ・球形 材質 ：※ステンレス製 ・木製		
	CSH−1	ケースハンドル(空錠)		堀商店 美和ロック程度	
	CSH−2	ケースハンドル(空錠)本締錠			
	PP	プッシュプル錠			製品程度を記載する。
	HH	掘込引手			製品程度を記載する。
	DH−1	ドアハンドル(トイレ用)			製品程度を記載する。
	DH−2	ドアハンドル			製品程度を記載する。
	DH−X	ドアハンドル			製品程度を記載する。
	PB−1	押引手バー			
	PB−X	押引手バー			
その他	JC−1	順位調整器(面付型)	材質 ：※ステンレス製 ・鋼製 形式 ：・面付け型 ・面付け型で上枠に組み込み ※上枠内蔵型		
	JC−2	順位調整器(コンシールド型)			
	JC−3	順位調整器(上枠格納型)			
	SEO	排煙窓開閉装置			方式を記載する。
	VO	換気窓開閉装置			方式を記載する。
	DS	戸当り		ユニオンUT−15程度	製品程度を記載する。
		アームストッパー	※鋼(クロームめっき) ・ステンレス		
	DSG	戸当りゴム		北商GA−14程度	
	ATG	AT用気密材	※EPDMゴム ・シリコーン発泡ゴム	北商AZ−102程度	
	PAG	PAT用気密材	シリコーン発泡ゴム		
	ZOM	タイト・シール金物			
	SP	スチールパーティション			
	MP	スライディングウォール			

くつずりの材質、形状と符号

符号	材質
ST−	ステンレス製

枝符号	1	2	3	4
形状	目地棒	戸厚幅	建具枠幅	建具枠幅

可動部分の気密性と符号

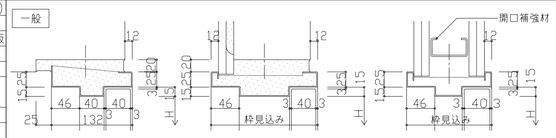
符号	通気量(㎥/h・㎡)	JIS等級
	30以上 120未満	A−1
SAT	8以上 30未満	A−2
AT	2以上 8未満	A−3
PAT	1以上 2未満	A−4
PPAT	0.4以上 1未満	−

ドアがらりの形状

型	1型	2型	3型	アンダーカット
形状				

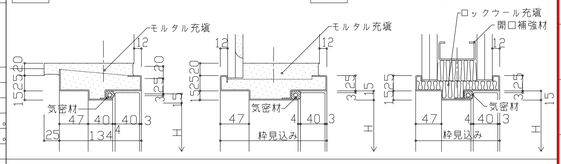
標準建具枠納まり 1/5

一般



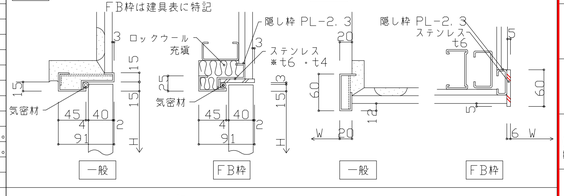
AT 四周にAT用気密材、くつずりはST−4

SAT 三方にAT用気密材



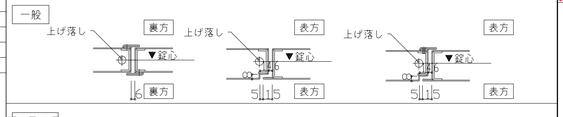
四方枠(点検口) 四周にAT用気密材
FB枠は建具表に特記

三方枠(開口部) FB枠は建具表に特記

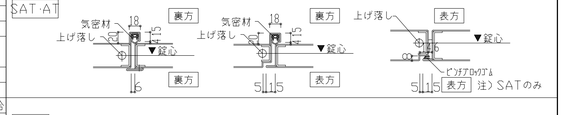


開き戸召し合せ部 1/5

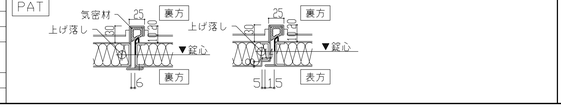
一般



SAT・AT



PAT



新規建具表(患者総合支援センター)

符号(数量)	使用場所	形式・機構	内法寸法(WxH)	ガラス	材質程度・仕上げ	金物類 支持金物+自閉機構	ハンドル類	錠	性能	備考(枠・付属品等)
LD 101 4カ所	相談(4)～(5) がん相談 会議室	1,500 100	片引き引込みフラッシュ扉 スリット密付	900×2,000 見込 扉:40 枠:180	FL5	スチール SOP	上吊 (自閉機構)	DH−2	SL−2	DSG ステンレス吝嗇(一型) フロストフィルム貼
LD 102 1カ所	休憩	1,500 100	親子開きフラッシュ扉 スリット密付	1,300×1,985 見込 扉:40 枠:180	FL5	スチール SOP	H		LCD	FD DC−1 DS ST−2 ドアガラリ2型 フロストフィルム貼
LD 103 1カ所	医事	1,500 100	親子開きフラッシュ扉 スリット密付	1,300×1,985 見込 扉:40 枠:180	FL5	スチール SOP	H		LCD	FD DC−1 DS ST−2 フロストフィルム貼
SP 101 1カ所	電話交換	3,005 3,460 900	スチールパーティション	4,360×3,005 見込 :60	FL5	スチール 焼付塗装	H DC−1 DS		LCD	ダイアパーティション60程度

改修建具表(患者総合支援センター)

・既設建具の概要を示すもので、備考欄記載の改修内容を本工事とする。

符号(数量)	使用場所	形式・機構	内法寸法(WxH)	ガラス	材質程度・仕上げ	金物類 支持金物+自閉機構	ハンドル類	錠	性能	備考(枠・付属品等)
AW 3 1カ所	会議室	550 1,300 1,000	4連ドア外倒し窓 +2連FIX窓+腰GB	4,802×2,850 見込:70	FL6	アルミサッシ 無着色陽極酸化複合皮膜				2重水切 付属品一式 オペレータ:現状のまま 改修内容:サッシ、ガラスクリーニング オペレーターの作動確認 調整 腰板、額縁、カーテンBOXの再塗装(SOP
SD 2 2カ所	医事事務室		片開きフラッシュ扉	600×600 見込 扉:40 枠:100		スチール SOP	H DC−1 AS	CSH−1	K	ST−3 付属品一式 改修内容:扉、枠の再塗装(SOP)
LD 1 1カ所	通路(3)	1,700 150	片開きフラッシュ扉	850×2,000 見込 扉:40 枠:230	F4	スチール SOP	PH DC−1 DS		LCD	ST−2 付属品一式 改修内容:扉、枠の再塗装(SOP)およびガラスクリーニング
LD 3 1カ所	医事事務室	1,700 150	片開きフラッシュ扉	850×2,000 見込 扉:40 枠:260	F4	スチール SOP	PH DC−1 DS		LCD	ST−2 付属品一式 改修内容:扉、枠の再塗装(SOP)およびガラスクリーニング

撤去建具表(患者総合支援センター)

符号(数量)	使用場所	形式・機構	内法寸法(WxH)	ガラス	材質程度・仕上げ	金物類 支持金物+自閉機構	ハンドル類	錠	性能	備考(枠・付属品等)
LD 2 1カ所 撤	廊下(3)	810φ 150	親子開きフラッシュ扉	1,300×2,000 見込 扉:40 枠:230	F4	スチール SOP	PH DC−1 DS		LCD	FD ST−2 付属品一式
WD 1 2カ所 撤	男子更衣室 女子更衣室	300 300	片開きフラッシュ扉	850×2,000 見込 扉:40 枠:170	F4	メラミン化粧板 枠:スチール SOP	H DC−1 DS		LCD	ST−2 付属品一式
WD 2 1カ所 撤	医事夜間受付	810φ 150	親子開きフラッシュ扉	1,300×2,000 見込 扉:40 枠:170	F4 ガラリ	メラミン化粧板 枠:スチール SOP	H DC−1 DS		LCD	FD ST−2 付属品一式
SP 53 1カ所 撤	休憩コーナー	2,100φ	スチールパーティション	2,755×3,005 見込 扉:40	FL3	スチール製焼付調板 枠共				付属品一式

新規建具表(昇降機設備改修)

符号(数量)	使用場所	形式・機構	内法寸法(WxH)	ガラス	材質程度・仕上げ	金物類 支持金物+自閉機構	ハンドル類	錠	性能	備考(枠・付属品等)
LD 4 1カ所	フゴンプール (1階)		両引分自動扉	1,400×2,000 見込 扉:40		スチール SOP	タッチセンサー			電源は最寄コンセントに差込にて行う。 EV−6の改修時に使用し、完了後は廊下側をWdd+EPおよび車椅ST−2を設置し、明鍵すること。
AG 1 1カ所	EV機械室(1) (PH階)		ガラリ付はめ殺し窓	900×1,800 ガラリ 900×900	F6	アルミ ステンカラー				
AG-1 1 1カ所 撤	EV機械室(1) (PH階)		ガラリ付はめ殺し窓	900×1,800 ガラリ 900×900	F6					

着工	・・	・・	
検工	・・	・・	
監理		・・	
施工		・・	

・フロストフィルム 3Mファサラガラスシェード シャモニSH2EMOH 程度
・飛散防止フィルム 3Mファサラガラスシェード エッセンSH2EMES 程度

市立長浜病院
Nagahama City Hospital

参考図
(医事課・手術更衣室・総合案内廻り改修)

建具共通事項(改修)・改修建具表−1

意 13
※ − ※

NO. 31371701

720×500

新規建具表（３階ＯＰ更衣室廻り）

符号（数量）	使用場所	形式・機構		内法寸法(WxH)	ガラス	材質程度・仕上げ	金物類 支持金物＋自閉機構	金物類 ハンドル類	金物類 錠	性能	備考（枠・付属品等／改修内容）
LD 302 1ヵ所	患者更衣室		片引きフラッシュ扉	900×2,000 見込 扉：40 枠：325		スチール SOP	上吊 （自閉機構）	DH-2	SL-2		DSG
LD 304 1ヵ所	ホール	850 800	片引き框扉	1,200×2,000 見込 扉：40 枠：275	FL6	スチール SOP	上吊 （自閉機構）	DH-2	SL-2		DSG
LD 305 1ヵ所	ホール	850 950	片引き自動扉	1,400×2,000 見込 扉：40 枠：275	F6	スチール SOP	上吊	タッチセンサー式			電磁ロック（カードリーダー対応）
LD 306 2ヵ所	麻酔科診察室1・2	1,500 100	片引き引込みフラッシュ扉 スリット窓付	900×2,000 見込 扉：40 枠：180	F6	スチール SOP	上吊 （自動機構）	DH-2	SL-2		DSG フロストフィルム貼
LD 307 2ヵ所	患者更衣室 女子更衣室		片引き引込みフラッシュ扉	900×2,000 見込 扉：40 枠：180		スチール SOP	上吊 （自動機構）	DH-2			DSG 電気錠（カードリーダー対応 女子更衣室のみ）
LD 308 1ヵ所	器材スペース	850 750	片引き引込み框扉	1,000×2,000 見込 扉：40 枠：145	FL6	スチール SOP	上吊 （自動機構）	DH-2	SL-2		DSG
LD 310 1ヵ所	女子更衣室		片開きフラッシュ扉	900×2,000 見込 扉：40 枠：180		スチール SOP	H	LH	PD		DC-1 DS 電気錠（カードリーダー対応）
LD 312 2ヵ所	WC（女子更衣室）	360 2500×100 25	片開きフラッシュ扉 小窓，カラリ付	600×2,000 見込 扉：40 枠：180	F6	スチール SOP	H		LCD		DC-1 DS カラリ有効：0.03㎡
LD 313 1ヵ所	WC（患者更衣室）		両方向折戸	900×2,000 見込 扉：40 枠：180		スチール SOP	上吊	DH-2	SL-2		アンダーカット H=15 （三和シャッター：カイラクエン タイプ2同等品）
SF 301 1ヵ所	患者控室	25 H 25 W 25	3方枠	1,500×2,000 見込：230		スチール SOP					
SF 302 1ヵ所	脱衣	1	3方枠	800×2,000 見込：180		スチール SOP					
SF 303 1ヵ所	手術ホール	平面 1,180 200 4,000 200	水平見切	4,200×1,380 見付：25		スチール SOP					

改修建具表（３階ＯＰ更衣室廻り）

・既設建具の概要を示すもので、備考欄記載の改修内容を本工事とする。

符号（数量）	使用場所	形式・機構		内法寸法(WxH)	ガラス	材質程度・仕上げ	金物類 支持金物＋自閉機構	金物類 ハンドル類	金物類 錠	性能	備考（枠・付属品等）
AW 45 1ヵ所	SPD室		引違い窓	2,475×1,475 見込：70	FL5	アルミサッシ 無着色陽極酸化複合皮膜					2重水切 付属品一式 改修内容：サッシ、ガラスクリーニング 壁板、額縁、カーテンBOXの再塗装（SOP） カーテンBOXの切詰加工
AW 104 1ヵ所	SPD室		片開き窓	470×2,125 見込：70	PW 6.8	アルミサッシ 無着色陽極酸化複合皮膜					防火設備 2重水切 付属品一式 改修内容：サッシ、ガラスクリーニング 壁板、額縁、カーテンBOXの再塗装（SOP）
SD 56 1ヵ所	PS		両開きフラッシュ扉	1,800×2,000 見込 扉：40 枠：100		スチール SOP	H DC-1	CSH-1	K		DS ST-3 付属品一式 改修内容：扉、枠の再塗装（SOP）

撤去建具表（３階ＯＰ更衣室廻り）

符号（数量）	使用場所	形式・機構		内法寸法(WxH)	ガラス	材質程度・仕上げ	金物類 支持金物＋自閉機構	金物類 ハンドル類	金物類 錠	性能	備考（枠・付属品等）
LD 45 2ヵ所	廊下 （男子・女子更衣室）		片開きフラッシュ扉	850×2,000 見込 扉：40 枠：140		スチール SOP	PH DC-1 DS	LH	電気錠（カード）		ST-2 付属品一式
LD 46 1ヵ所	SPD物品倉庫	800 800	片開きフラッシュ扉	1,145×2,000 見込 扉：40 枠：140	FL3	スチール SOP	PH DC-1 DS		LCD		ST-2 付属品一式
LD 301 1ヵ所	廊下		片開きフラッシュ扉	1,090×2,000 見込 扉：40 枠：140		スチール SOP	PH DC-1 DS	LH	PD		ST-2 付属品一式
LD 302 1ヵ所	前室		親子開きフラッシュ扉	1,300×2,000 見込 扉：40 枠：140		スチール SOP	PH DC-1 DS	LH	PD		FD ST-2 付属品一式
LD 303 1ヵ所	SPD物品倉庫		両開きフラッシュ扉	1,500×2,000 見込 扉：40 枠：140		スチール SOP	PH DC-1 DS	LH	PD		FD ST-2 付属品一式
WD 45 2ヵ所	踏込（患者更衣室）		片開きフラッシュ扉	700×2,000 見込 扉：40 枠：230		メラミン化粧板 枠：スチール SOP	PH DC-1 DS		LCD		ST-2 付属品一式
WD 46 3ヵ所	WC （男子・女子更衣室 患者更衣室）	300 300	片開きフラッシュ扉	600×2,000 見込 扉：40 枠：140	F4	メラミン化粧板 枠：スチール SOP	PH DC-1 DS		PD（表示錠）		ST-2 付属品一式
WD 47 2ヵ所	踏込 （男子・女子更衣室）	700 150	片開きフラッシュ扉	850×2,000 見込 扉：40 枠：230	F4	メラミン化粧板 枠：スチール SOP	PH DC-1 DS		LCD		ST-2 付属品一式
WD 48 2ヵ所	踏込（医師休憩室）	700 150	片開きフラッシュ扉	850×2,000 見込 扉：40 枠：230	FL3	メラミン化粧板 枠：スチール SOP	PH DC-1 DS		LCD		ST-2 付属品一式

着工	. .	. .					
竣工	. .	. .					
監理		. .					
		. .					
施工		. .					

市立長浜病院
Nagahama City Hospital

参考図
（医事課・手術更衣室・総合案内廻り改修）

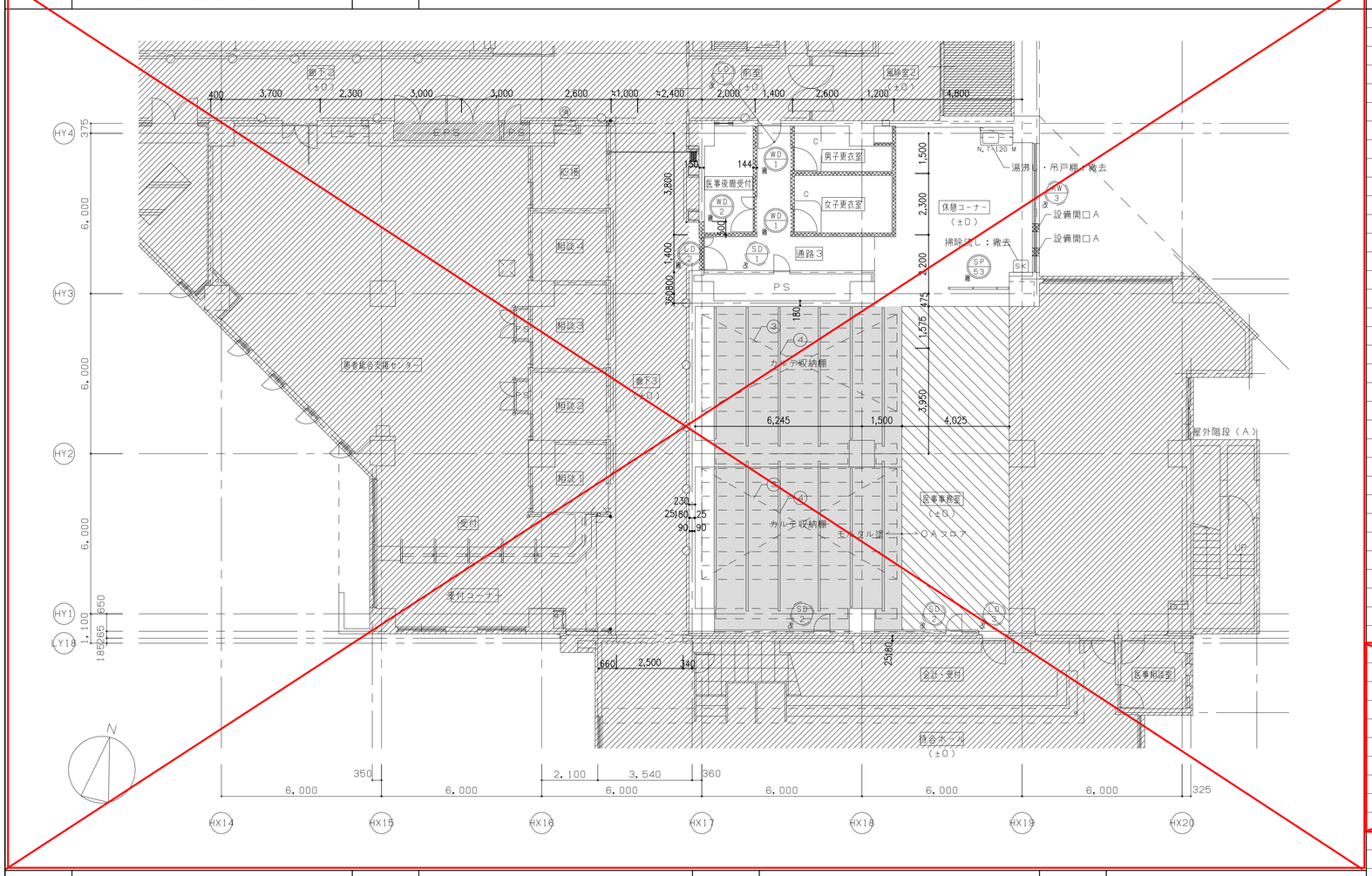
改修建具表－２

意 14
※ － ※

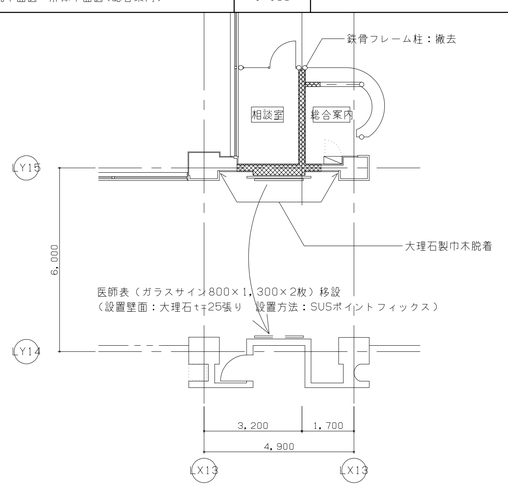
NO. 31371701

720×500

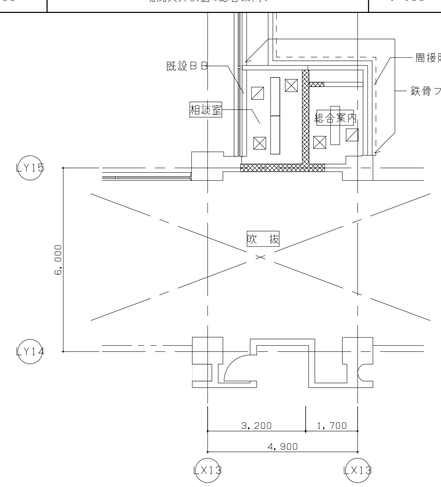
01	現況平面図・解体平面図（患者総合支援センター）	1/100



02	現況平面図・解体平面図（総合案内）	1/100



03	現況天井伏図（総合案内）	1/100	※凡例は別図による。



04	解体特記事項・凡例（患者総合支援センター）		※特記事項1～4は解体特記共通事項とする。

改修対象範囲外を示す。
床仕上げ撤去範囲を示す。
モルタル塗り撤去範囲を示す。（t50　仕上共）
OAフロア撤去範囲を示す。（t50　仕上共）

解体撤去する間仕切壁を示す。（仕上共）

1．床の解体撤去（共通）
・床スラブを新規に斫る場合は係員の承諾を得ること。
・改修範囲内外境界における建具・壁・天井においては、図中特記を除き、範囲外約300の範囲を撤去復旧とする。

2．壁の解体撤去（共通）
・軽量鉄骨壁下地：W90　仕上・巾木・SG-1共
解体高さ　1階：H=4650　2階：H=4050　3階：H=3650
・RC壁下地：壁厚は図示による。仕上共
解体範囲：FL±0～改修天井高さ+200までとする。（図中特記を除く）
※CR壁解体・設備開口における切断は連続コアにて施工すること。
・RC壁コア抜き：壁厚、径は図示による。仕上共
※穿孔位置は、施工前に鉄筋探査を行い配筋状況を確認し、監督員と協議の上決定する。
・GLボード：図中特記を除き再利用とするも、破損・欠損部は復旧すること。また、撤去する場合はGLボンドまで撤去すること。

3．天井の解体撤去（共通）
・軽量鉄骨天井下地：W19　仕上・廻り縁共
※野縁、野縁受まで撤去とし、ハンガー、吊ボルトは再利用とする。但し、著しく発錆しているものは取替えること。

4．備品等撤去（共通）
・図中特記なき衛生、空調、照明その他設備関連機器の撤去処分・脱着は設備工事とする。
・建具撤去は沓摺・枠・詰モルタル・勝板・金物・ガラス共とする。
・ケーシング：D=150　W=800　H=1000　LGS下地　GB-S　t9.5+12.5　メラミン化粧板貼り
天板　メラミンポストフォーム　t25　程度
・衛生機器・流し台を撤去する部分は図中特記を除きケーシング共とする。
・流し台（N）：H=800　D=550（N-120　W=1200示す）ケーシング共
パーチクルボード　t20　天板　ステンレス製
・吊戸棚（T）：H=500　D=375　パーチクルボード　t20　扉付
・各種カウンター：メラミンポストフォーム　寸法・厚さは図示による。
・手摺等（SG-1）：ストレッチャー摺　H=150　2段　硬質塩ビ製
（SG-2）：手摺　φ45　タモ集成材　UC　金物共
・カーテンレール：アルミ製　直付け　ネットカーテン共

5．その他

		数量
③	電動式移動書架：可動：約7315W×520（複式）D×2395H　15列 固定：約4950W×980（単式）D×2395H　3列 固定：約　790W×980（単式）D×2395H　2列	1
④	埋込レール：スチール製　W=38　ライナー　アンカー共	

6．設備開口
・設備開口A：φ300　コア抜き
※開口の穿孔位置は設備工事と協議の上決定する。

着工	. .	. .	※既設床モルタルおよび移動書架埋込レールの撤去は土曜、日曜、祝日のみの作業とする。
竣工	. .	. .	
監理		. .	
施工		. .	

市立長浜病院
Nagahama City Hospital

参考図
（医事課・手術更衣室・総合案内廻り改修）

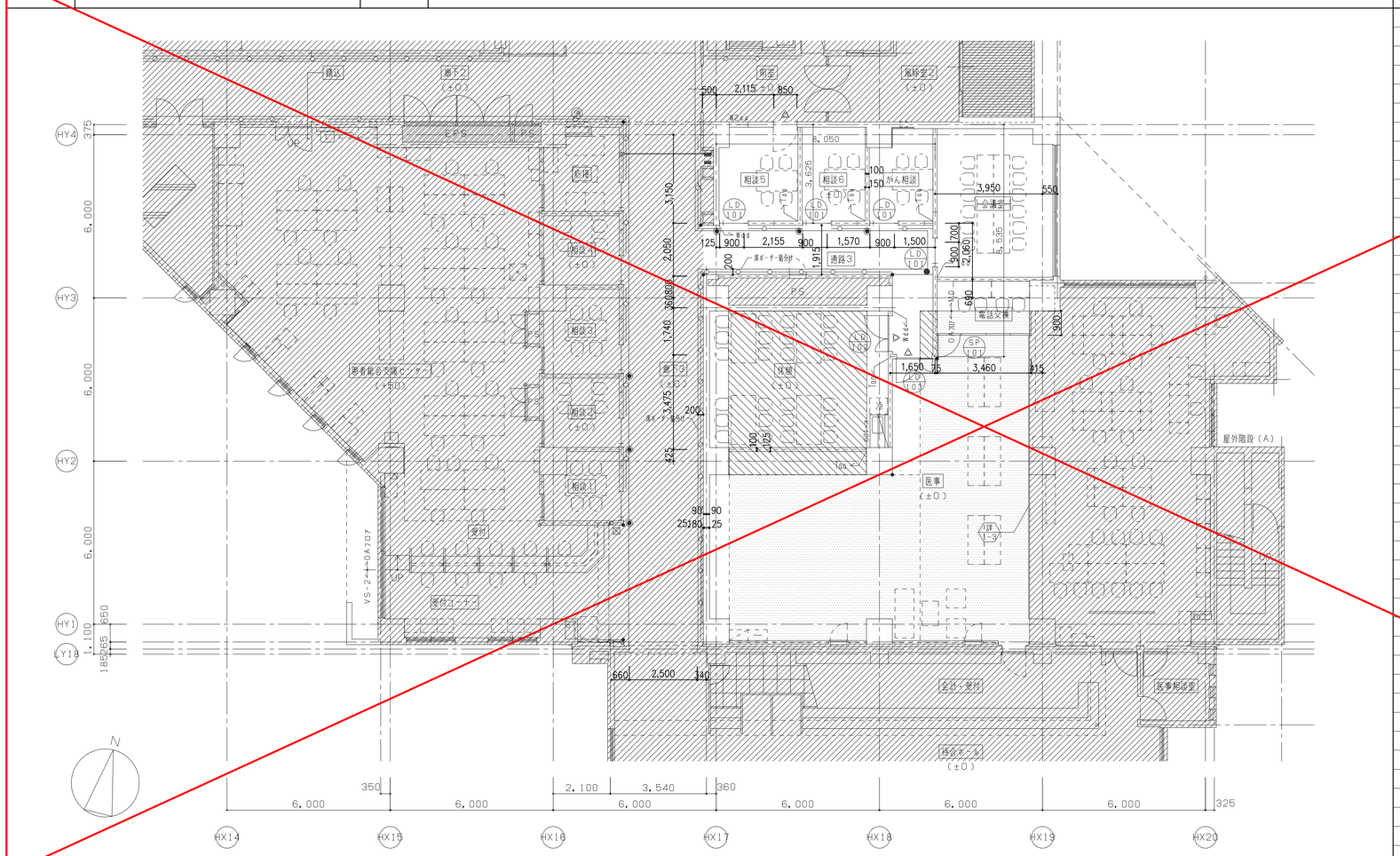
現況平面図・解体平面図・解体特記事項

意匠　15
※ － ※

NO. 31371701

720×500

01	改修平面図（患者総合支援センター）	1/100	改修面積：約 535.00㎡


HY4
HY3
HY2
HY1
HY18
HX14
HX15
HX16
HX17
HX18
HX19
HX20
6,000
6,000
6,000

720×500

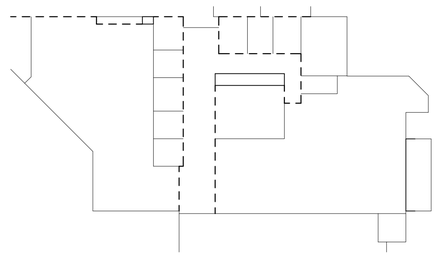
01	改修天井伏図（患者総合支援センター）	1/100

02	特記事項・凡例（患者総合支援センター）

- 改修対象範囲外を示す。
- 天井仕上げ改修範囲を示す。
- 軒天撤去後旧範囲を示す。（ＬＧＳ下地 ＦＫｔ６ ＥＰ）
- ○ 照明設備機器開口
- 空調設備機器開口

1．天井点検口：４５０×４５０ ６００×６００ 取付位置は協議による。 IT 2-15

03	区画図（患者総合支援センター）	1/300

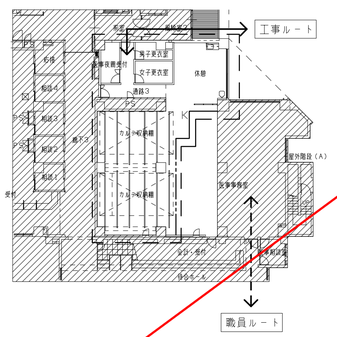


- 防火区画
- １１４条区画
- 一般間仕切り

04	工事工程図・仮設工事図	1/300

[ ] 工事範囲を示す。　施工済み範囲を示す。

STEP1



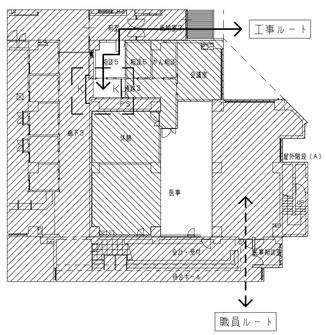
〈工事概要〉

・受付・更衣室・カルテ収納・休憩の仮囲い内を解体し、相談室・休憩・会議室に改修する。

〈特記事項〉

・工事中は連絡通路を常に確保すること。

STEP2



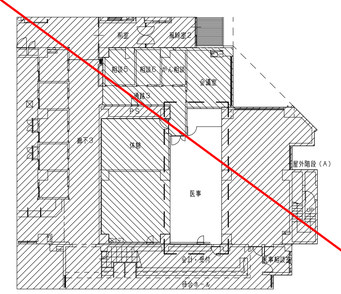
〈工事概要〉

・廊下３と通路３の建具・間仕切りを撤去する。

〈特記事項〉

・工事中は連絡通路を常に確保すること。

STEP3



〈工事概要〉

・医事エリアのパーティション設置及び床改修の工事を土日祝日、もしくは夜間のみで行う。

着工	. .	. .	
竣工	. .	. .	
監理		. .	
施工		. .	

K 仮設間仕切：LGS下地（W100）
GB-R t9.5 両面張り
グラスウール 24kg充填
＊設置位置は避難経路その他安全性を考慮し監督員と協議の上最終決定知る。

市立長浜病院
Nagahama City Hospital

参考図
（医事課・手術更衣室・総合案内廻り改修）

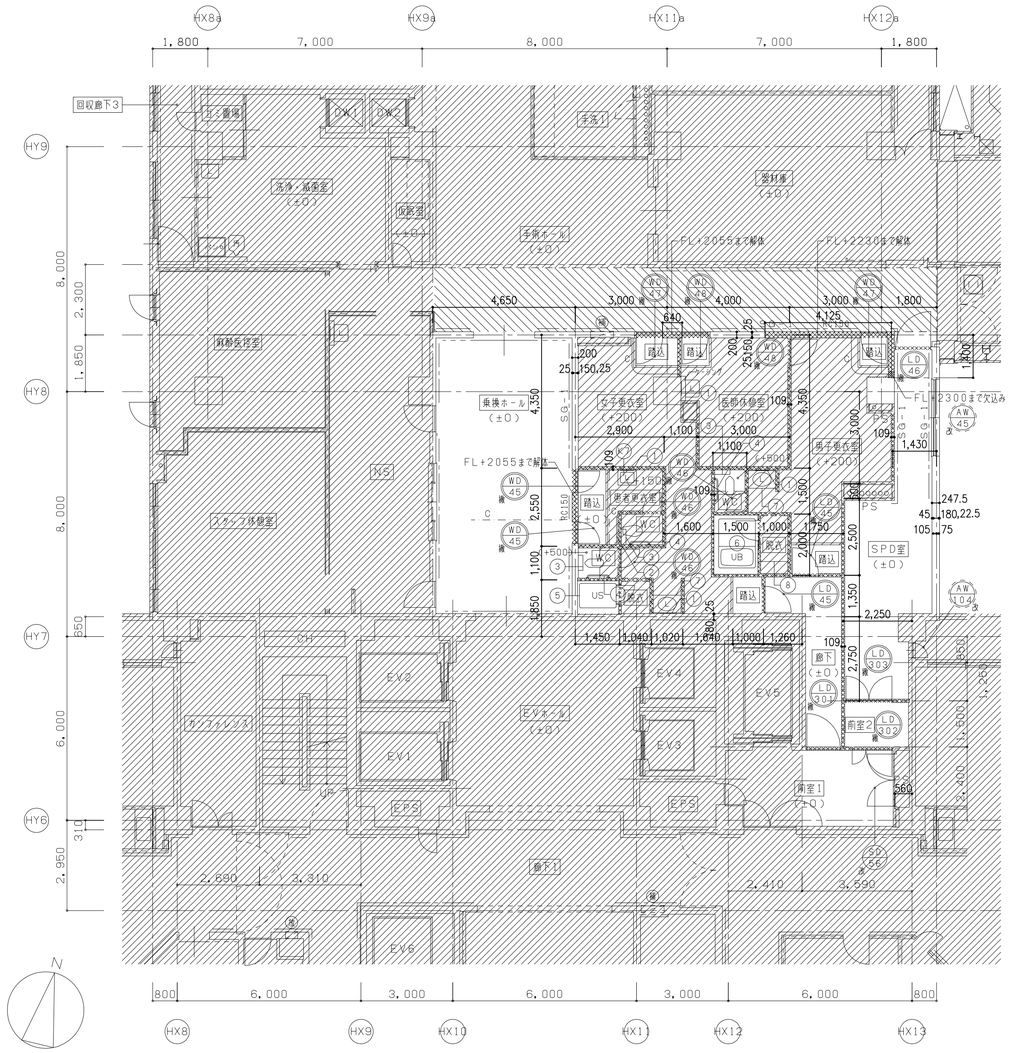
改修天井伏図・工事工程図

意 17
※ — ※

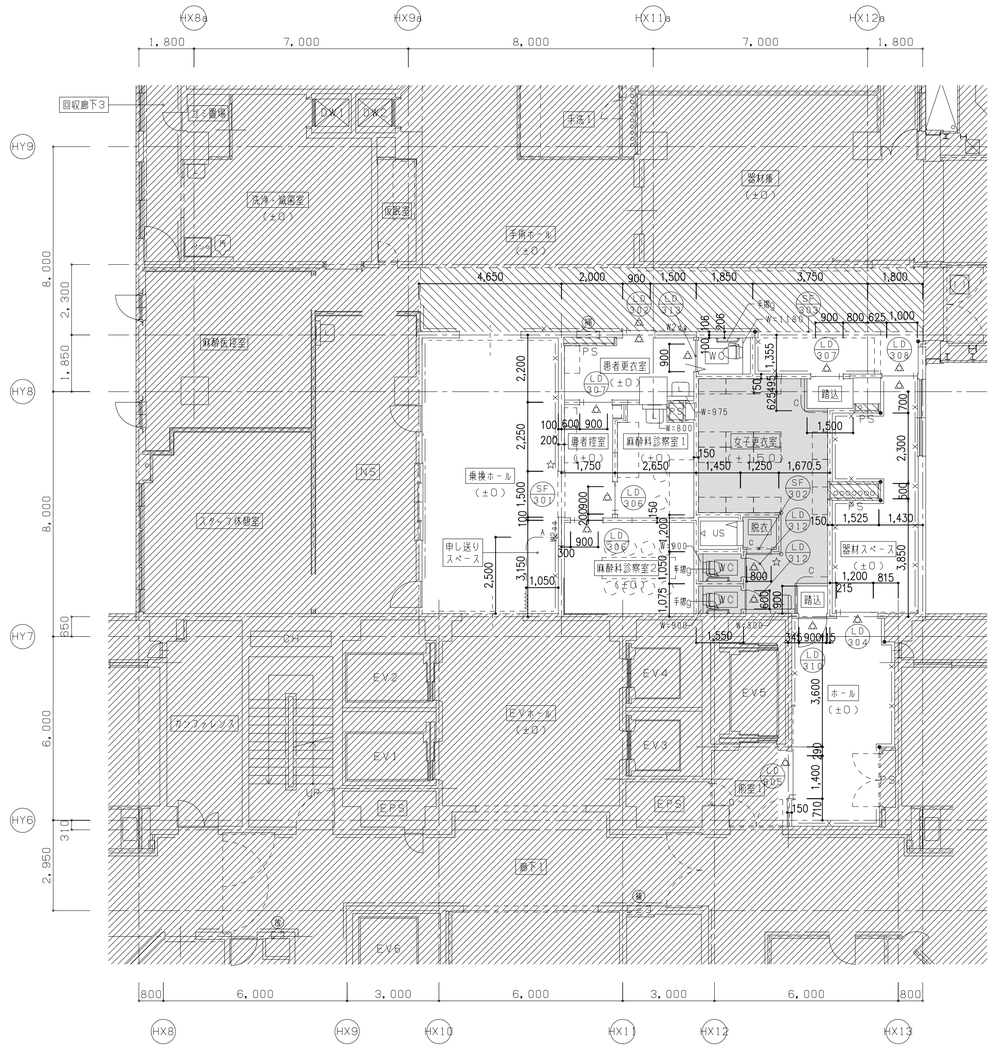
NO. 31371701

720×500

01	現況平面図・解体平面図（3階ＯＰ更衣室廻り）	1/100	＊現状のまま：クリーニング程度で継続利用する。



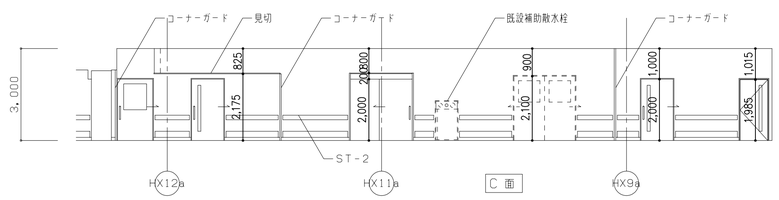
03	改修平面図（3階ＯＰ更衣室廻り）	1/100	改修面積：約 133.5㎡



02	解体特記事項・凡例（3階ＯＰ更衣室廻り）		＊解体特記共通事項（意－19）を適用する。
	改修対象範囲外を示す。		
	床仕上げ撤去範囲を示す。	1．WC便器廻り：コンクリート H=500	
	床仕上げを撤去しない範囲を示す。		
	システム床撤去範囲を示す。（t150・200 仕上共）	2．その他	数量
		① 化粧鏡：450×600	4
	解体撤去する間仕切壁を示す。（仕上共）	② ホワイトボード： 900W×600H	1
		③ 化粧棚：ステンレスパイプ W=400	2
		④ 補助手摺：ステンレス製 φ40 W=600	2
		⑤ ユニットシャワー：800×1200	1
		⑥ ユニットバス：1200×1600	1
		⑦ 洗面カウンター：メラミンポストフォーム 900W×600D	1
		⑧ 棚板：メラミンポストフォーム 900W×400D	1
		⑨ 水切棚：ステンレス製 W=600 D=300 H=300	1
		K7 洗面化粧台：600W×500D×800H	1

04	改修特記事項・凡例（3階ＯＰ更衣室廻り）		＊改修特記共通事項（意－20）を適用する。
	改修対象範囲外を示す。		1．軽量鉄骨壁下地：間仕切り壁は全て天井下までとする。ただし□Waaはスラブ下までとする。
	床仕上げ改修範囲を示す。		2．消火器：ＡＢＣ10型 2ヶ所 床置型・表示共 設置位置は協議による。
	床仕上げ現状のままの範囲を示す。		
	床かさ上げ範囲を示す。（H150）		

05	手術ホール展開図	1/100



看工			＊ＯＰ更衣室廻り改修工事は土曜、日曜、祝日のみの作業とする。
竣工			
監理			
施工			

市立長浜病院
Nagahama City Hospital

参考図
（医事課・手術更衣室・総合案内廻り改修）

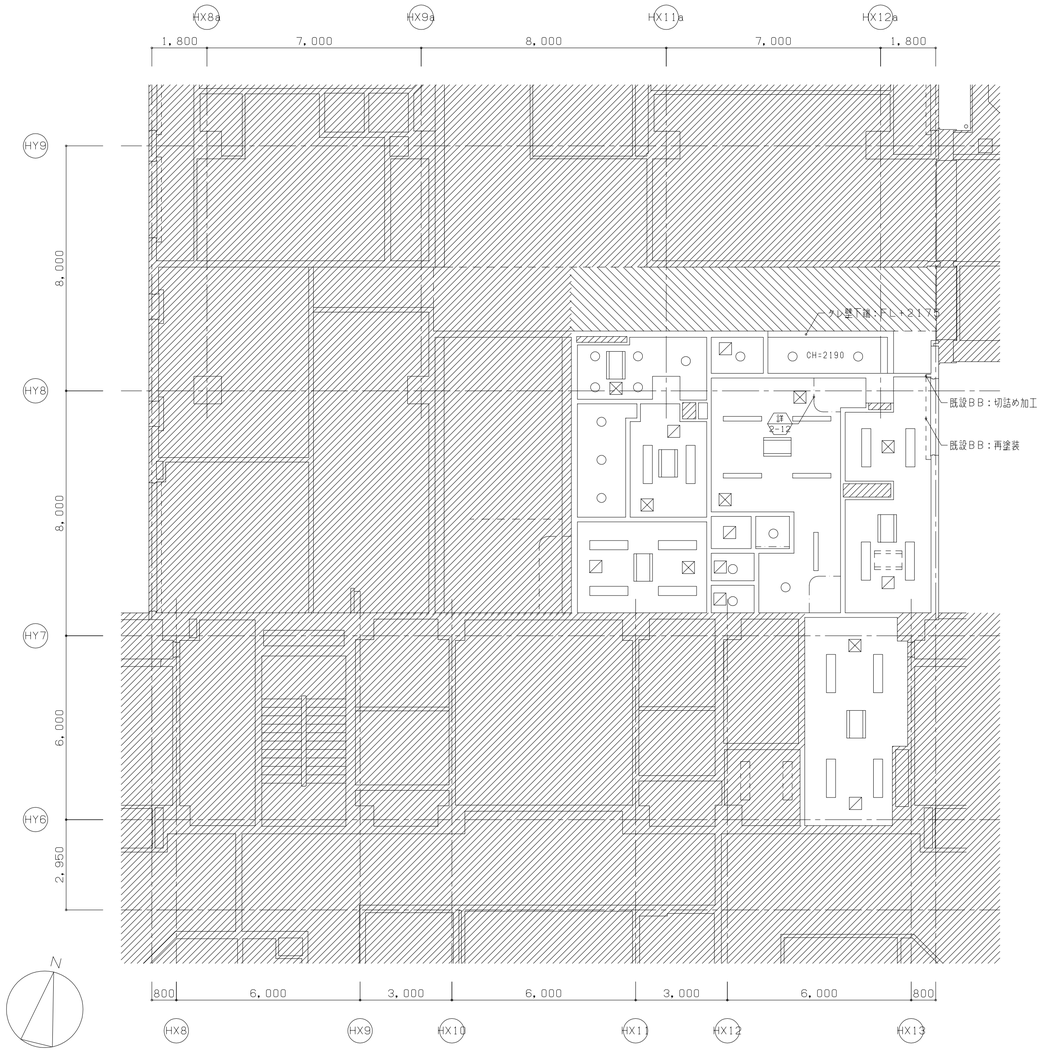
現況平面図・解体平面図・解体特記事項
改修平面図・改修特記事項・展開図

意 18
※ － ※

NO. 31371701

720×500

01 改修天井伏図（3階ＯＰ更衣室廻り） 1/100

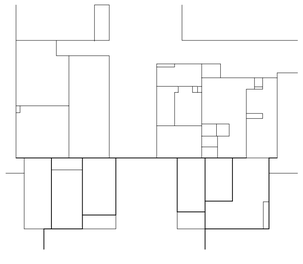


02 特記事項・凡例（3階ＯＰ更衣室廻り）

- 改修対象範囲外を示す。
- 天井仕上げ改修範囲を示す。
- 天井仕上げ現状のままの範囲を示す。
- ◇ ○ 照明設備機器開口
- 空調設備機器開口

1．天井点検口：エアタイト仕様　450×450 600×600　取付位置は協議による。 詳 R-12

03 区画図（3階ＯＰ更衣室廻り） 1/300

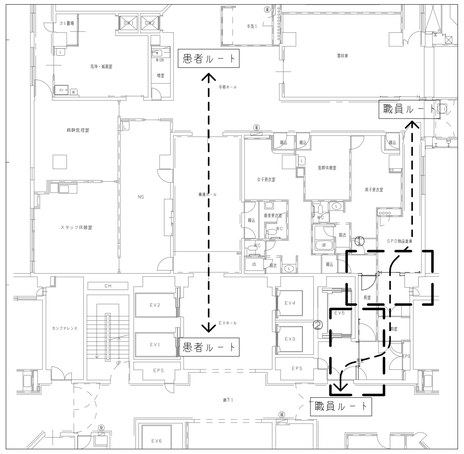


- 防火区画
- １１４条区画（なし）
- 一般間仕切り

04 工事工程図・仮設工事図（3階ＯＰ更衣室廻り） 1/200

[ ] 工事範囲を示す。　施工済み範囲を示す。

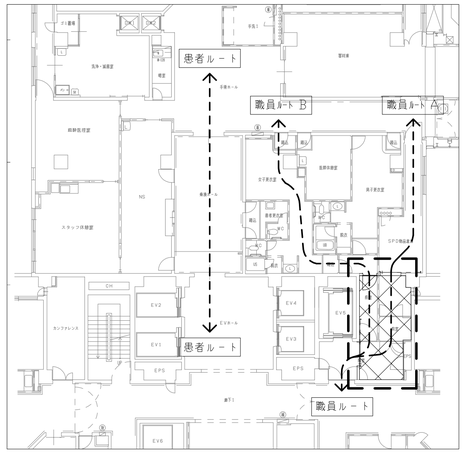
STEP1



〈工事概要〉
- 工事範囲①の２ヵ所の建具及び間仕切りを設置する。
- 工事範囲②の最小限を解体し、建具を設置する。
- 既存間仕切りを最小限に解体し、軽量鉄骨間仕切り及び建具下地補強を設置する。

〈特記事項〉
- 平日の日中は、職員ルートを常に確保すること。

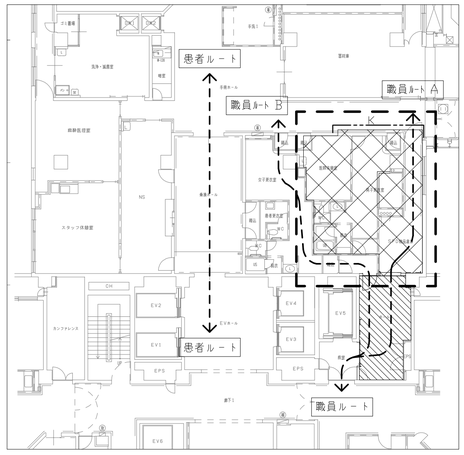
STEP2



〈工事概要〉
- 網掛部の前室３室をホールに改修する。
- 男子更衣室・医師休憩室をシステム床を解体し、職員ルートBを確立する。

〈特記事項〉
- 平日の日中は、職員ルートを常に確保すること。

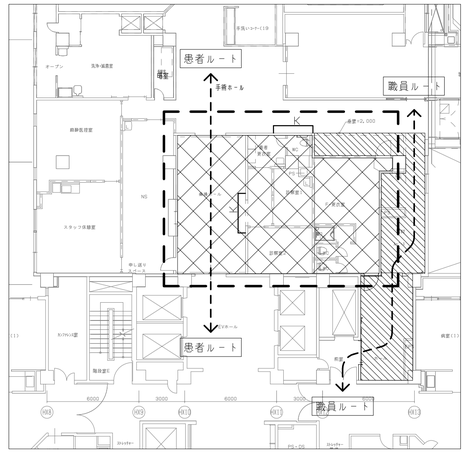
STEP3



〈工事概要〉
- 網掛部を改修し、女子更衣室の一部と職員ルートAを完成させる。

〈特記事項〉
- 工事中の職員ルートは患者ルートの兼用または、支援線からのアプローチとする。
- STEP2の施工済み範囲は使用開始とする。

STEP4



〈工事概要〉
- 網掛部を改修し、麻酔診察室等を完成させる。
- 乗換ホールの内装改修を土日祝日のみで行う。

着工			
検工			
監理			
施工			

仮設間仕切：LGS下地（W100） GB-R t9.5 両面張り グラスウール 24kg充填 ※設置位置は避難経路その他安全性を考慮し監督員と協議の上最終決定知る。

外部足場：枠組本足場 W600 防音シート張り 2～3階 階高=4200

市立長浜病院
Nagahama City Hospital

参考図
（医事課・手術更衣室・総合案内廻り改修）

改修天井伏図・工事工程図

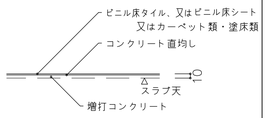
19
※ － ※

ND. 31371701

720×500

01 床 1/10

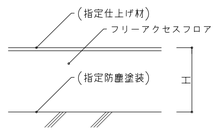
1B02004



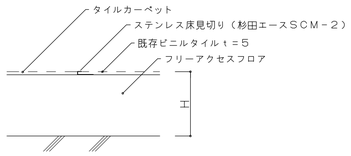
仕様 床面の不陸を樹脂入パテでしごき調整をする。

02 フリーアクセスフロア 1/5

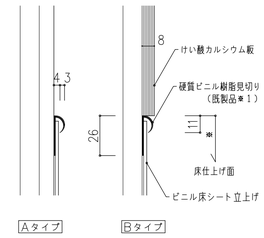
公17 1−02−15 NYK08101B



03 フリーアクセスフロア上、床見切り 1/5

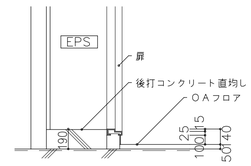


05 ビニル床シート立上げ幅木 軽量鉄骨壁 1/2



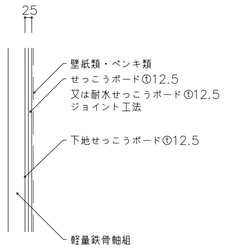
＊は別図による。

06 EPS・床・巾木周り

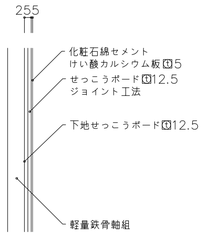


07 壁（軽量鉄骨下地） 1/10

1B04020



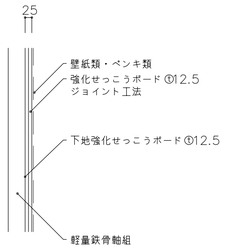
08 壁（軽量鉄骨下地） 1/10



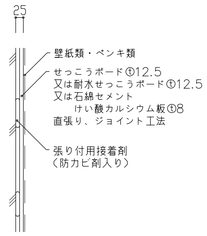
使用場所：３階手術ホール

09 壁（軽量鉄骨下地） 1/10

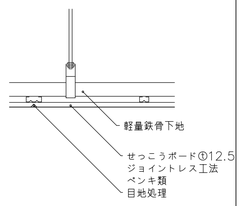
1B04020



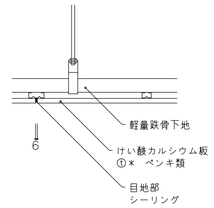
10 壁（GL） 1/10



11 ボード張 ペンキ 1/10

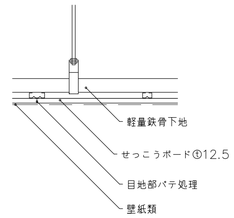


12 ボード張(目地シール) 1/10

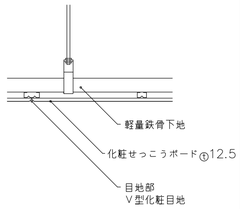


仕様 ＊厚さは◎を適用する。
◎6
○8

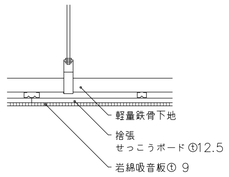
13 ボード張(壁紙類) 1/10



14 化粧せっこうボード 1/10

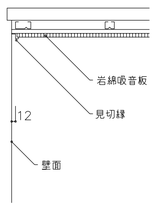


15 岩綿吸音板 1/10



16 見切縁 1/10

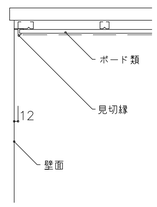
1B05028T



仕様 ◎印を適用する。
○アルミ・シルバーアルマイト
○アルミ・A−BE
◎塩ビ

17 見切縁 1/10

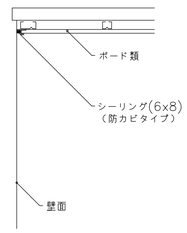
1B05030T



仕様 ◎印を適用する。
○アルミ・シルバーアルマイト
○アルミ・A−BE
◎塩ビ

18 見切縁 1/10

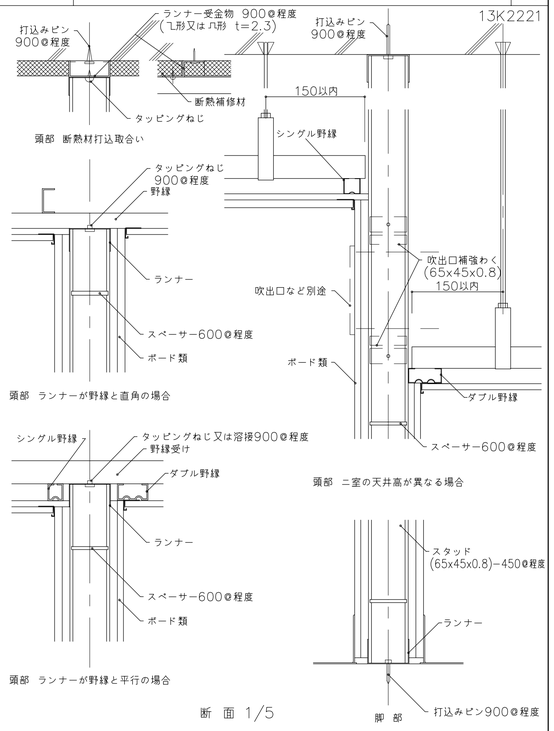
1B05033T



注 ボードの目地も底目地とし、シーリングを施す。

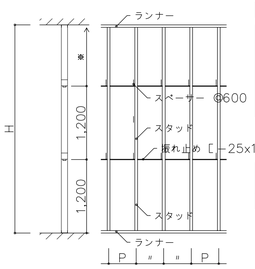
19 軽量鉄骨間仕切壁(壁仕上天井迄) 1/5

13K2221



20 軽量鉄骨壁下地仕様 1/50

1B01001



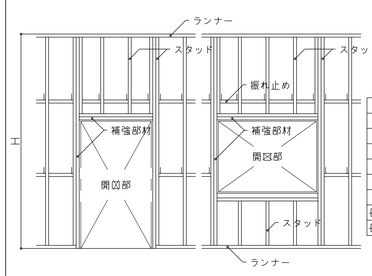
仕様

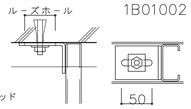
部 材 表			
H(m)	種類	スタッド ⌊	ランナー ⌊
H≦4.0	65形	65x45x0.8	67x40x0.8
4.0<H≦4.5	90形	90x45x0.8	92x40x0.8
4.5<H≦5.0	100形	100x45x0.8	102x40x0.8

スタッドの間隔 P(mm)	
片面ボード２枚張	450
片面ボード１枚張	300

21 軽量鉄骨壁下地開口部補強要領 1/50

1B01002





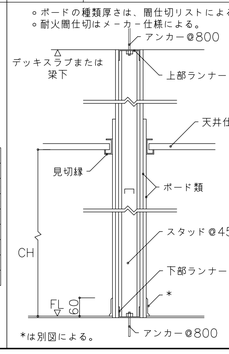
上部スウェー構法

仕様

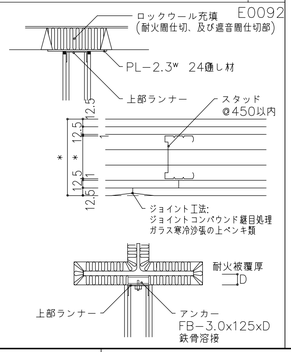
部材表	
H (m)	補強部材
H≦4.0	⊟60x30x10x2.3
4.0≦H≦4.5	⊟75x45x15x2.3
4.5≦H≦5.0	⊟75x45x15x2.3
補強部材取付金物	
補強部材	取付金物
⊟60x30x10x2.3	L−30x30x3
⊟75x45x15x2.3	L−50x50x4

22 軽量鉄骨間仕切壁（一般、非耐火間仕切壁の場合） 1/10 1/5

○ボードの種類厚さは、間仕切リストによる。
○耐火間仕切はメーカー仕様による。



＊は別図による。



着工 竣工	. .	. .	
監理		. .	
施工		. .	

市立長浜病院
Nagahama City Hospital

参考図
（医事課・手術更衣室・総合案内廻り改修）

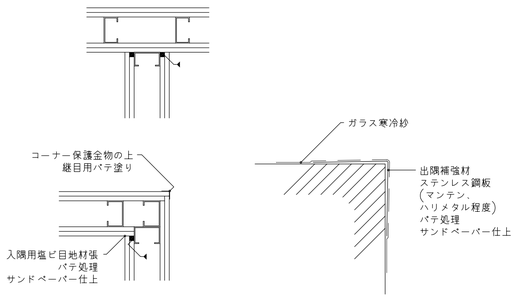
部分詳細図−1

20
※ − ※

NO. 31371701

720×500

01 軽量鉄骨間仕切壁、コーナー処理 —

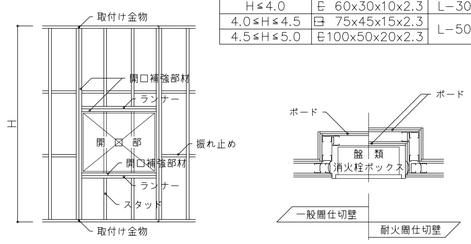


02 設備埋込ボックス類開口補強要領 1/50 1/10

AB01016T

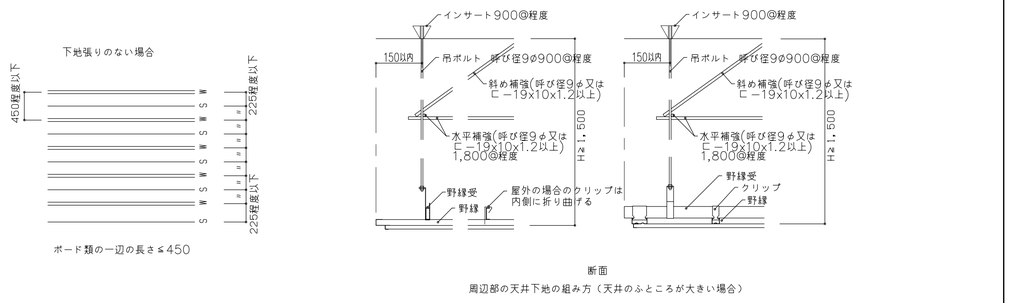
仕様

部材表		
H(m)	補強部材	取付け金物
H≦4.0	E 60x30x10x2.3	L−30x30x3
4.0≦H≦4.5	⊟ 75x45x15x2.3	L−50x50x4
4.5≦H≦5.0	E100x50x20x2.3	



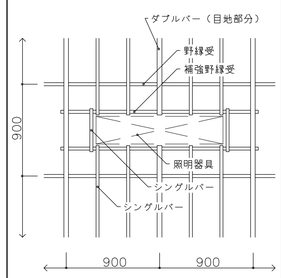
03 軽量鉄骨天井下地 1/10 1/50

公17 3−21−3



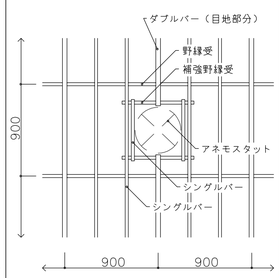
04 照明器具取付開口補強 1/30

1B05023T



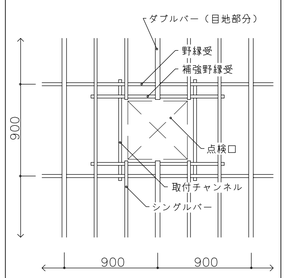
05 アネモスタット取付開口補強 1/30

1B05024T

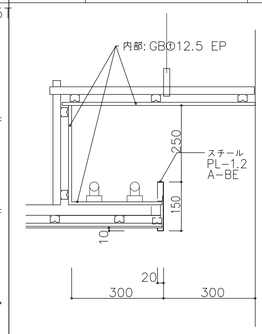


06 天井点検口取付開口補強 1/30

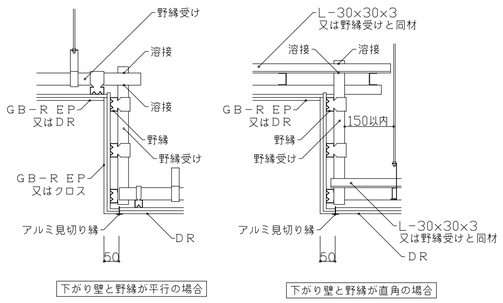
1B05025T



07 間接照明 1/10

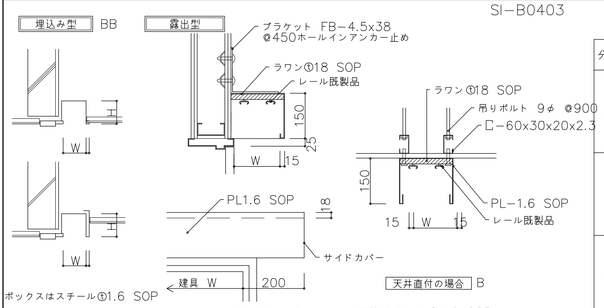


08 下り壁 1/10



09 カーテン・ブラインドボックス 1/10

SI−B0403 SI−K3317



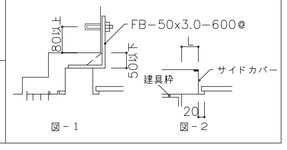
特記なき限り下記の寸法に従う。 ブラインドは別途工事とする。

分類	種類	W	H	L
A	縦形布製ブラインド	120	80	150
B	横形アルミ製ブラインド プリーツ布製ブラインド	120	150	0
C	暗幕カーテン(別途)＋横形ブラインド	180	150	150

1) Lはカーテンボックスの長さが6,000mm程度で開閉は引けの場合のカーテンのたたみ込み寸法を示す。

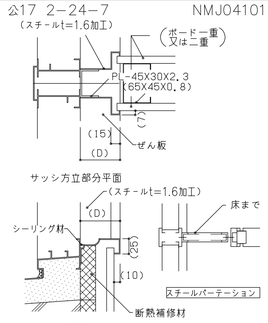
2) 梁などにより取付寸法が50mm以下となる場合は図−1

3) 鋼製、又はアルミニウム製カーテンボックスにサイドカバーを設ける場合は図−2による。

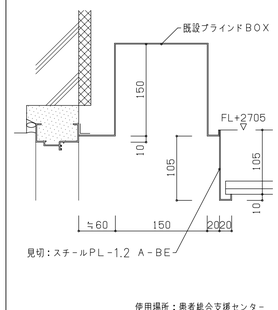


10 サッシ取合い 1/5

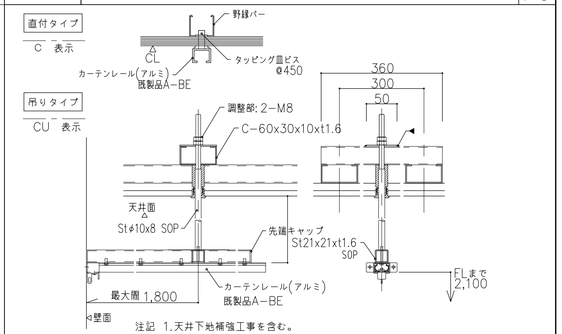
公17 2−24−7 NMJ04101



11 ブラインドBOX下り見切 1/5



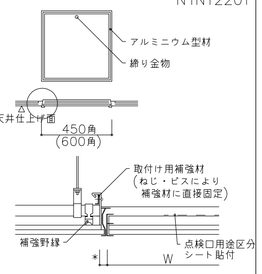
12 カーテンレール 1/3 1/5



注記 1.天井下地補強工事を含む。
2. レール端部が壁取付でない場合は 端部をV型フラットバー吊とする

13 天井点検口(額縁タイプ) 1/20

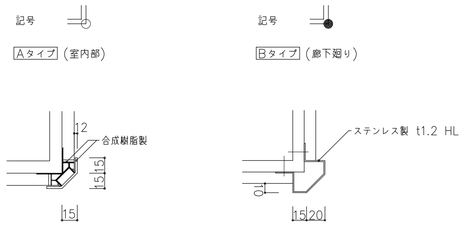
NTN12201



仕様 ◎印を適用する。 ＊は規格品による。
アルミニウム枠表面仕上げ
◎規格品 枠白色
○A−BE
エアタイト(3階):25ヶ所
一般(1階):50ヶ所

14 コーナービート詳細図 1/1 1/3

＊取付け部分が既設GLボードの場合は施工上必要な部分を撤去復旧とする。

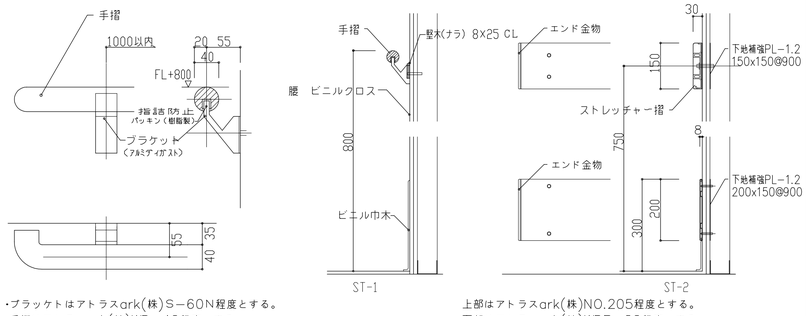


仕様 ・取付高さは、床から天井まで
・図示の他5ヵ所
・特注色
・アトラスark(株)用コーナーABC程度

仕様 ・取付高さは、床から天井まで
・図示の他10ヵ所

15 手摺 1/10

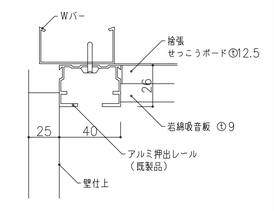
・設置範囲内の埋込防火戸,PS,EPS等点検扉にも下地補強の上取り付ける。



・ブラケットはアトラスark(株)S−60N程度とする。
手摺はアトラスark(株)WD−40程度とする。

上部はアトラスark(株)NO.205程度とする。
下部はアトラスark(株)WDR−20程度とする。

16 ピクチャーレール 1/2



仕様 レールの耐吊荷重 30Kg/m
表面仕上 ◎印を適用
○ 陽極酸化被膜処理(シルバーアルマイト)
◎ A−BE
○ U−BE

着工		
竣工		
監理		
施工		

市立長浜病院
Nagahama City Hospital

参考図
(医事課・手術更衣室・総合案内廻り改修)

部分詳細図−2

21
※ − ※

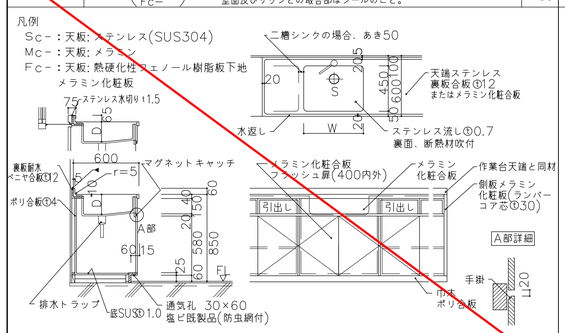
NO. 31371701

720×500

01 作業台（Sc- Mc- Fc-）

（注）特記なき限り、ステンレス流しはW(巾)=600、D(深さ)=200とする。その他は、平面詳細図に記入。壁面及びサッシとの取合部はシールのこと。

1/30

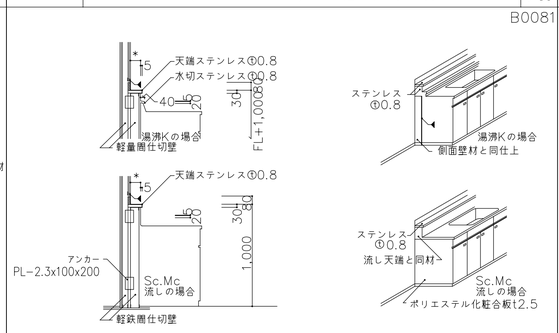


02 流し台、洗面台据付(配管パックのある場合)

（注）壁面及びサッシとの取合部はシールのこと。特記なき限り*寸法は100とする。

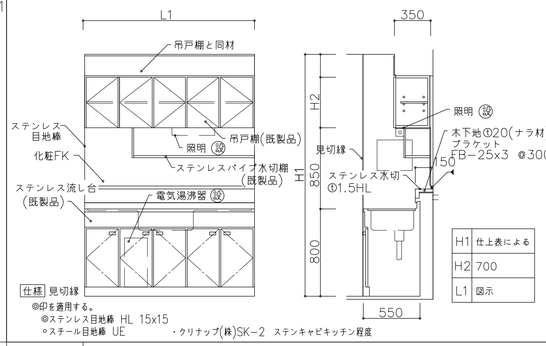
1/30

B0081



03 湯沸（K- ）

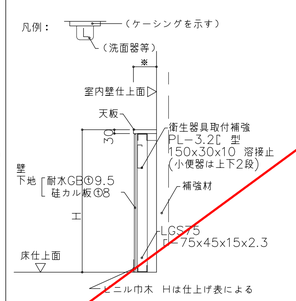
1/30



H1	仕上表による
H2	700
L1	図示

05 配管ケーシング

1/30



※特記なき限り、ケーシング壁仕上げは室内壁仕上げと同材、天板仕上げはメラミン化粧板①30ポストフォームとする。

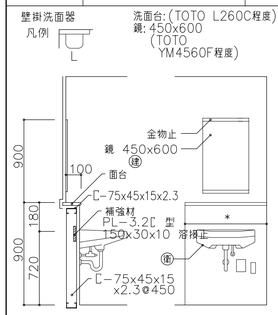
※特記なき限りH寸法は下表による。但し、サッシ部分に取付ける場合は額縁天端迄とする。

設置場所	H寸法
小便器	1,220
大便器、洗面	900
洗髪、洗濯流し	1,000
その他	図示

※は特記なき限り150とする。

06 洗面

1/30



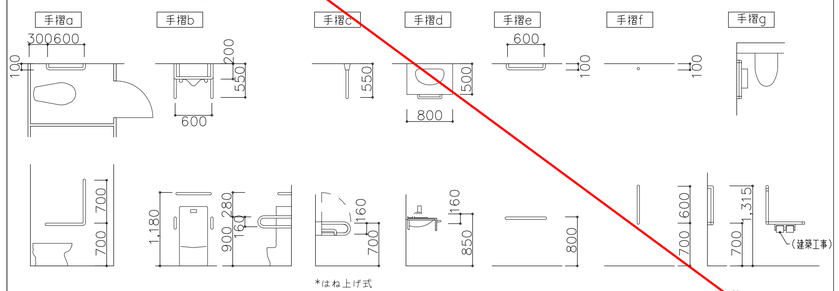
*については平面図参照

07 補助手摺位置図

1/50

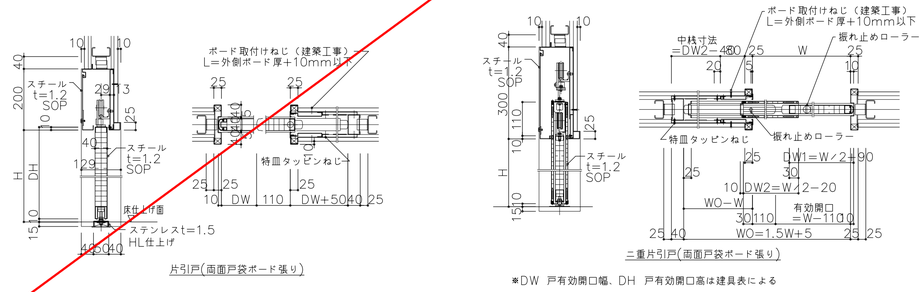
（注）手摺はステンレス芯材の上ビニル樹脂34φ抗菌剤入りとする。(TOTOパブリック用手摺(樹脂被覆タイプ)程度)

手摺f: 欠番



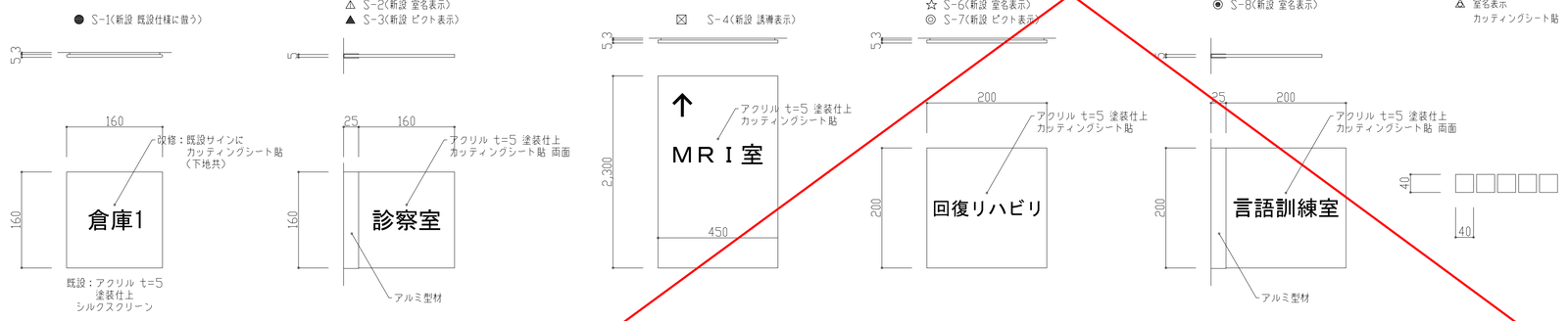
08 引戸(戸袋付き)

1/10



*DW 戸有効開口幅、DH 戸有効開口高は建具表による

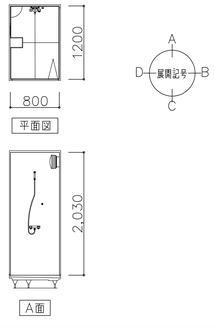
09 サイン図



11 ユニットシャワー（US）平面図・展開図・仕様書

1/50

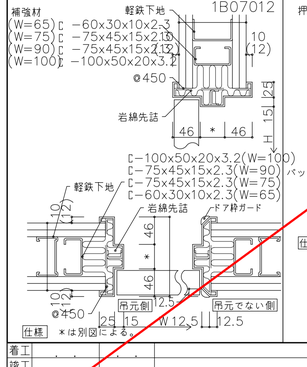
符号	US	
タイプ	ユニットシャワー	
サイズ	US0812 800x1200	
壁	化粧鋼板複合パネル	
床	FRP（単色）	
天井	化粧鋼板複合パネル	
ドア	折戸W752xH1956	
ドア枠	アルミアルマイト処理	
シャワー金具	サーモスタット付壁付水栓	
収納棚	コーナー棚 樹脂製	
照明	防湿型60W 壁付照明 1灯	
換気設備	換気グリル（ダクト接続型）	
カーテン	－	
カーテンレール	－	
タイル掛け	ステンレスパイプ L=400	
給水・給湯管	アダプター止め	
備考		
員数	図示	図示
給水湯配管側	65	
配管なし側	35	
備考	－	



12 三方枠（軽鉄間仕切）

1/5

1B07012



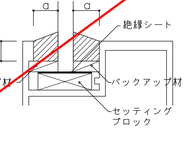
仕様 *は別図による。

13 ガラスシーリング部・部材断面

—

TAL01201B

押出形材の場合



仕様 グレイジングビード用突起はシカル加工で削り落とす。又は新型を用いてシーリング可能な断面とする。シーリング被着面に凹凸・隙間等がなく平滑に施す。

a(面クリアランス)はシーリング材のせん断力計算により求める。
D/a≧0.8とする。

着工			
竣工			
監理			
施工			

市立長浜病院
Nagahama City Hospital

参考図
（医事課・手術更衣室・総合案内廻り改修）

部分詳細図－3

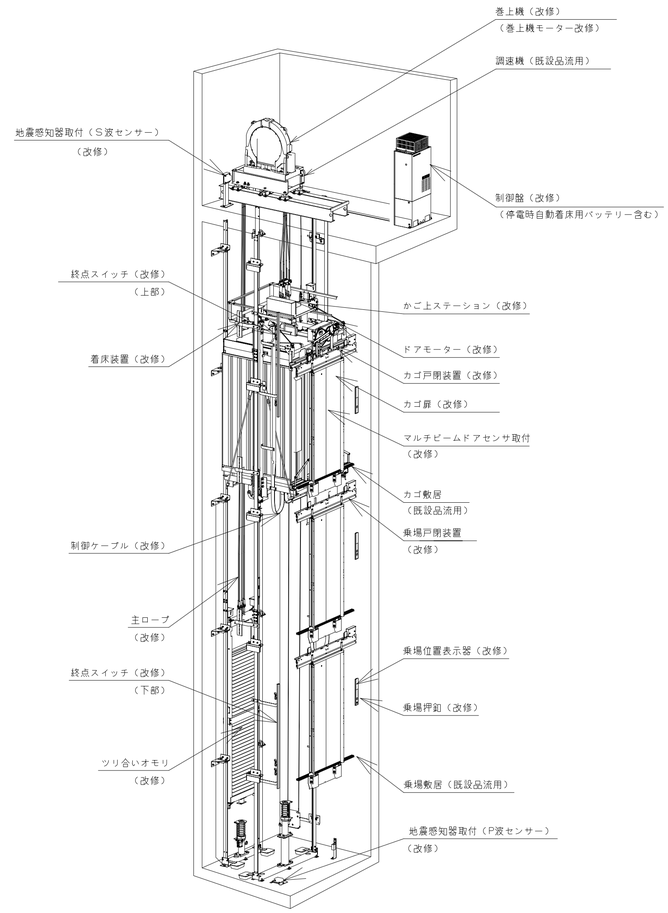
22 ※ － ※

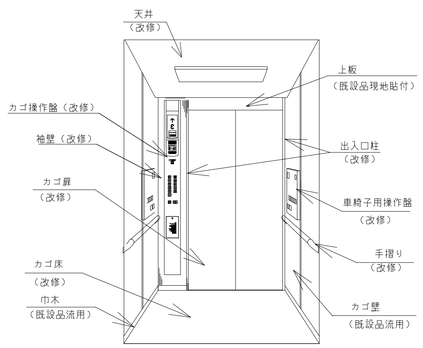
NO. 31371701

01	エレベーター　1，2号機	

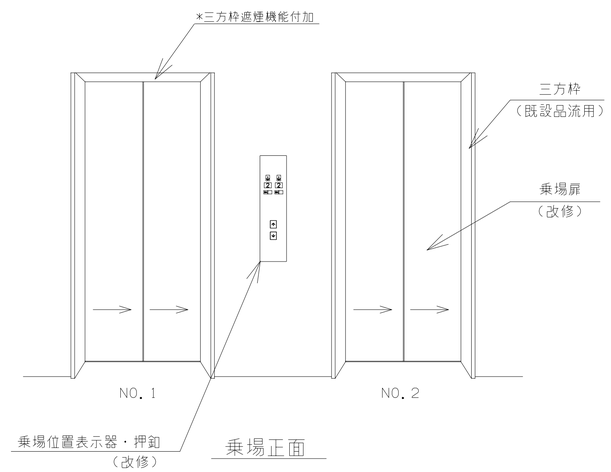
エレベーター工事概要書

		仕様区分	既設仕様	改修仕様
基本仕様		用途	寝台用	同左
		制御方式	可変電圧可変周波数制御方式（インバーター制御）	可変電圧可変周波数制御方式（インバーター制御）（改修）
		操作方式	2台群乗合全自動方式	2台群乗合全自動方式
		容量	1000kg　15名	同左
		速度	90m/min	同左
		電源	動力用三相交流 210V60Hz 照明用単相交流 100V 60Hz	同左
		巻上機	EHB-5400型	改修：PMギアレス巻上機
		巻上電動機	11.0kW	改修：9.6kW
		停止箇所	1～7階　計 7停止	同左
		昇降行程	24200mm	同左
		カゴ内法寸法	間口1500mm 奥行2500mm	同左
		出入口寸法	巾 1200mm 高さ2100mm	同左
		戸閉方式	電動式2枚戸片開き式	同左
意匠仕様	カゴ	天井	スタンダード天井	改修：スタンダード天井
		壁	化粧フイルム仕上	既設品現地貼付：化粧フイルム仕上
		扉	化粧フイルム仕上	改修：化粧フイルム仕上
		出入口上板	化粧フイルム仕上	既設品現地貼付：化粧フイルム仕上
		出入口柱	ステンレスヘアライン仕上	改修：ステンレスヘアライン仕上
		巾木	ステンレスヘアライン仕上	既設品流用
		床仕上	ビニールタイル	改修：ビニールタイル
		敷居	硬質アルミ製	既設品流用
		カゴ操作盤（一般用）	フェースプレート　ステンレスヘアライン仕上	改修：フェースプレート　ステンレヘアライン仕上
			押釦 LED点灯式 クリックボタン	押釦 LED点灯式 クリックボタン 凸形状文字 点字名板付
		カゴ操作盤（車椅子用）	フェースプレート　ステンレスヘアライン仕上	改修：フェースプレート　ステンレヘアライン仕上
			押釦 LED点灯式 クリックボタン	押釦 LED点灯式 クリックボタン 凸形状文字 点字名板付
		位置表示器	デジタル式（カゴ操作盤に組込）	改修：液晶インジケーター（カゴ操作盤に組込）
		袖壁	化粧フイルム仕上	改修：ステンレスヘアライン仕上
		鏡	合わせガラス鏡	改修：合わせガラス鏡
		手摺	ステンレス製	改修：ステンレス製
		車摺	無し	無し
	乗場	三方枠	全階：ステンレスヘアライン仕上	既設品流用清掃処理
		扉	全階：鋼板塗装仕上	改修：鋼板塗装仕上
		敷居	全階：硬質アルミ製	既設品流用
		位置表示器	全階：フェースプレート　ステンレスヘアラン仕上	改修：フェースプレート　ステンレヘアライン仕上
			デジタル式	デジタル式
		押釦（一般・車椅子用）	全階：フェースプレート　ステンレスヘアラン仕上	改修：フェースプレート　ステンレヘアライン仕上
			押釦 LED点灯式 クリックボタン	押釦 LED点灯式 クリックボタン 凸形状文字 点字名板付
付加仕様		2014年耐震対策（Aクラス）	無し	改修：有り
		新法令対応（戸開走行保護装置）	無し	改修：有り
		乗場遮煙機能	無し	改修：有り
		地震時管制運転装置（P波付）	有り（S波付）	改修：有り
		火災時管制運転装置	有り	改修：有り
		停電時管制運転装置	有り	改修：有り
		停電時自動着床装置	無し	改修：有り
		車椅子対策	有り	改修：有り
		視覚障害者対策	無し	改修：有り
		戸開延長ボタン	有り	改修：有り
		ﾏﾙﾁﾋﾞｰﾑﾄﾞｱｾﾝｻｰ	無し	改修：有り
		監視盤用接点機能	有り	改修：有り
特記		・本工事に使用する部材及び各意匠機器はメーカー標準仕様とします。		





カゴ室



乗場正面

（No. 1，2号機）

着工	. .	. .		
竣工	. .	. .		
監理		. .		
		. .		
施工		. .		
		. .		

市立長浜病院
Nagahama City Hospital

参考図
（昇降機設備改修工事）

昇降機設備改修仕様－1

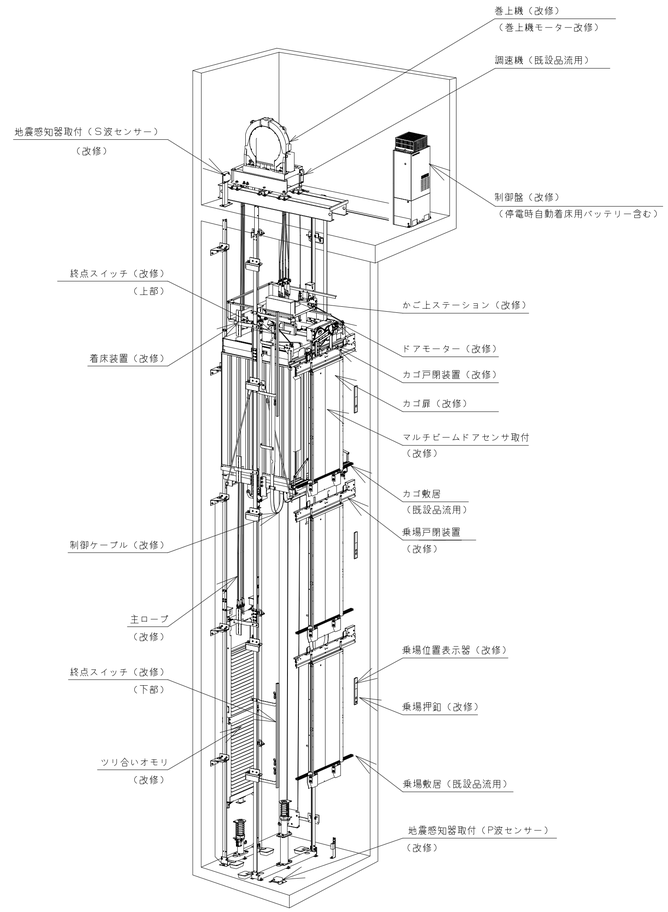
昇 1 ※ － ※

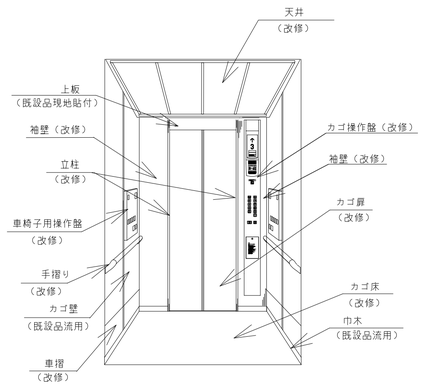
NO. 31371701

01	エレベーター　3，4号機	

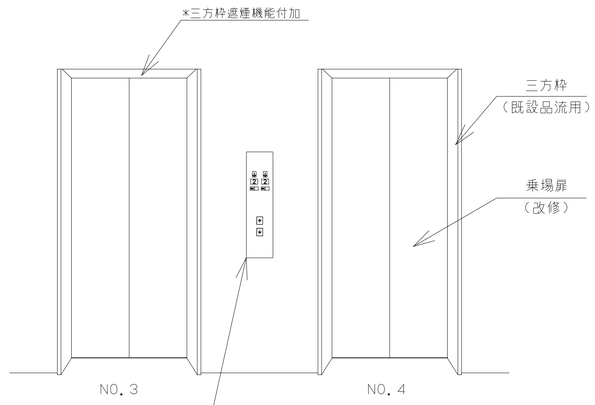
エレベーター工事概要書

		既設仕様	改修仕様
基本仕様	仕様区分	既設仕様	改修仕様
	用途	乗用	同左
	制御方式	可変電圧可変周波数制御方式（インバーター制御）	可変電圧可変周波数制御方式（インバーター制御）（改修）
	操作方式	2台群乗合全自動方式	2台群乗合全自動方式
	容量	1000kg　15名	同左
	速度	90m/min	同左
	電源	動力用三相交流　210V60Hz　照明用単相交流　100V　60Hz	同左
	巻上機	EHB-5400型	改修　：PMギアレス巻上機
	巻上電動機	11.0kW	改修　：9.6kW
	停止箇所	1～7階　計　7停止	同左
	昇降行程	24200mm	同左
	カゴ内法寸法	間口1600mm　奥行1500mm	同左
	出入口寸法	巾　900mm　高さ2100mm	同左
	戸閉方式	電動式2枚戸中央き式	同左
意匠仕様 カゴ	天井	スタンダード天井	改修　：デラックス天井
	壁	化粧フイルム仕上	既設品現地貼付　：化粧フイルム仕上
	扉	化粧フイルム仕上	改修　：化粧フイルム仕上
	出入口上板	化粧フイルム仕上	既設品現地貼付　：化粧フイルム仕上
	出入口柱	ステンレスヘアライン仕上	改修　：ステンレスヘアライン仕上
	巾木	ステンレスヘアライン仕上	既設品流用
	床仕上	ビニールタイル	改修：ビニールタイル
	敷居	硬質アルミ製	既設品流用
	カゴ操作盤（一般用）	フェースプレート　ステンレスヘアライン仕上	改修：フェースプレート　ステンレヘアライン仕上
		押釦 LED点灯式　クリックボタン	押釦　LED点灯式　クリックボタン　凸形状文字　点字名板付
	カゴ操作盤（車椅子用）	フェースプレート　ステンレスヘアライン仕上	改修：フェースプレート　ステンレヘアライン仕上
		押釦 LED点灯式　クリックボタン	押釦　LED点灯式　クリックボタン　凸形状文字　点字名板付
	位置表示器	デジタル式（カゴ操作盤に組込）	改修：液晶インジケーター（カゴ操作盤に組込）
	袖壁	化粧フイルム仕上	改修：ステンレスヘアライン仕上
	鏡	合わせガラス鏡	改修：合わせガラス鏡
	手摺	ステンレス製	改修：ステンレス製
	車摺	ステンレス製	改修：ステンレス製
意匠仕様 乗場	三方枠	全階：ステンレスヘアライン仕上	既設品流用清掃処理
	扉	全階：鋼板塗装仕上	改修：鋼板塗装仕上
	敷居	全階：硬質アルミ製	既設品流用
	位置表示器	全階：フェースプレート　ステンレスヘアラン仕上	改修：フェースプレート　ステンレヘアライン仕上
		デジタル式	デジタル式
	押釦（一般・車椅子用）	全階：フェースプレート　ステンレスヘアラン仕上	改修：フェースプレート　ステンレヘアライン仕上
		押釦 LED点灯式　クリックボタン	押釦　LED点灯式　クリックボタン　凸形状文字　点字名板付
付加仕様	2014年耐震対策（Aクラス）	無し	改修：有り
	新法令対応（戸開走行保護装置）	無し	改修：有り
	乗場遮煙機能	無し	改修：有り
	地震時管制運転装置（P波付）	有り（S波付）	改修：有り
	火災時管制運転装置	有り	改修：有り
	停電時管制運転装置	有り	改修：有り
	停電時自動着床装置	無し	改修：有り
	車椅子対策	無し	改修：有り
	視覚障害者対策	無し	改修：有り
	戸開延長ボタン	無し	無し
	ﾏﾙﾁﾋﾞｰﾑﾄﾞｱｾﾝｻｰ	無し	改修：有り
	監視盤用接点機能	有り	改修：有り
特記	・本工事に使用する部材及び各意匠機器はメーカー標準仕様とします。		





カゴ室



乗場正面

（No.3，4号機）

着工			
竣工			
監理			
施工			

市立長浜病院
Nagahama City Hospital

参考図
（昇降機設備改修工事）

昇降機設備改修仕様－2

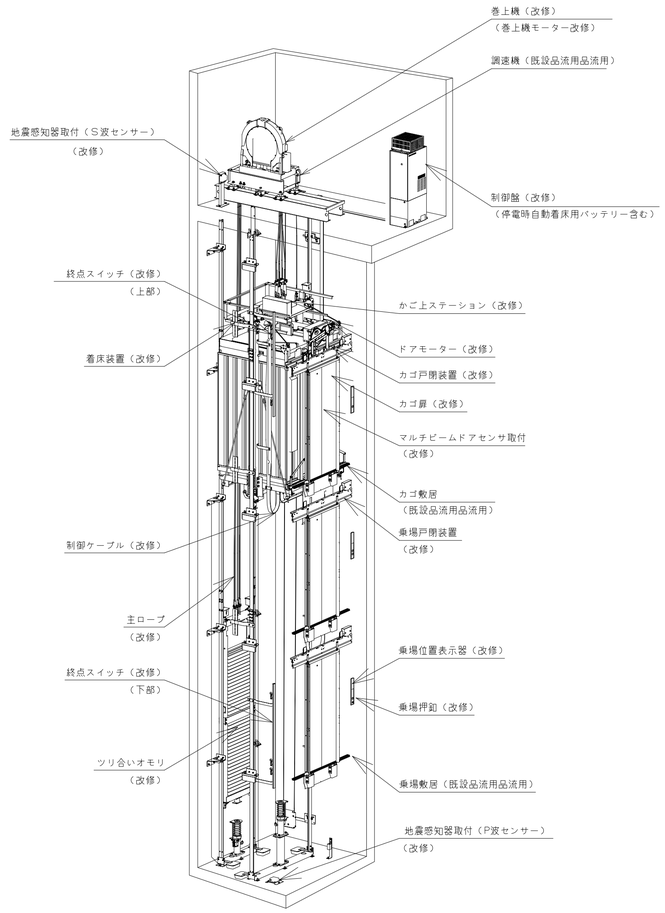
㊐　2
※　－　※

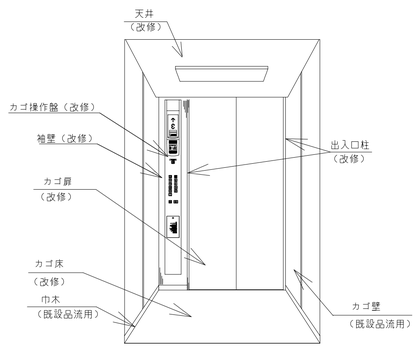
NO. 31371701

01	エレベーター　５号機	

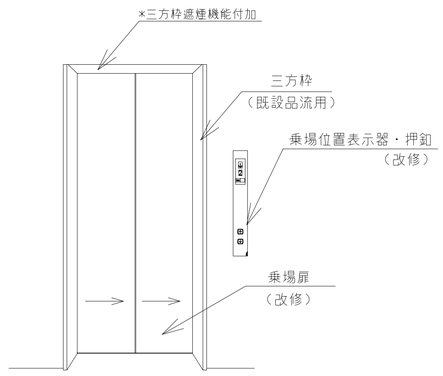
エレベーター工事概要書

		仕様区分	既設仕様	改修仕様
基本仕様		用途	荷物用	同左
		制御方式	可変電圧可変周波数制御方式（インバーター制御）	可変電圧可変周波数制御方式（インバーター制御）（改修）
		操作方式	乗合全自動方式	乗合全自動方式
		容量	１７５０ｋｇ	同左
		速度	９０ｍ／ｍｉｎ	同左
		電源	動力用三相交流　２１０Ｖ６０Ｈｚ　照明用単相交流　１００Ｖ　６０Ｈｚ	同左
		巻上機	EMJ-580型	改修　：同左（ﾀﾞﾌﾞﾙブレーキ型）
		巻上電動機	22.0ｋＷ	改修　：22.0ｋＷ
		停止箇所	(2D-2G)（正面）1～7階 7停止・（背面）1,2階 2停止	同左
		昇降行程	２４２００ｍｍ	同左
		カゴ内法寸法	間口１５００ｍｍ 奥行２５００ｍｍ	同左
		出入口寸法	巾 １２００ｍｍ 高さ２１００ｍｍ	同左
		戸閉方式	電動式２枚戸片開き式	同左
意匠仕様	カゴ	天井	スタンダード天井	改修　：スタンダード天井
		壁	化粧鋼板仕上	既設品流用品現地貼付　：化粧フイルム仕上
		扉	化粧鋼板仕上	改修　：化粧フイルム仕上
		出入口上板	無し	―
		出入口柱	ステンレスヘアライン仕上	改修　：ステンレスヘアライン仕上
		巾木	ステンレスヘアライン仕上	既設品流用
		床仕上	ゴムタイル	改修：ゴムタイル
		敷居	硬質アルミ製	既設品流用
		カゴ操作盤（一般用）	フェースプレート　ステンレスヘアライン仕上	改修：フェースプレート　ステンレスヘアライン仕上
			押釦：　ＬＥＤ点灯式　クリックボタン	押釦：　ＬＥＤ点灯式　クリックボタン
		カゴ操作盤（車椅子用）	無し	無し
		位置表示器	デジタル式（カゴ操作盤に組込）	改修：デジタル式（カゴ操作盤に組込）
		袖壁	化粧鋼板仕上	改修：ステンレスヘアライン仕上
		鏡	無し	無し
		手摺	無し	無し
		車摺	無し	無し
	乗場	三方枠	全階：スレンレスヘアライン仕上	既設品流用清掃処理
		扉	全階：鋼板塗装仕上	改修：鋼板塗装仕上
		敷居	全階：硬質アルミ製	既設品流用
		位置表示器	全階：フェースプレート　ステンレスヘアラン仕上	改修：フェースプレート　ステンレヘアライン仕上
			縦型点灯式	デジタル式
		押釦	全階：フェースプレート　ステンレスヘアラン仕上	改修：フェースプレート　ステンレヘアライン仕上
			押釦：ストローク釦応答点灯式	押釦：　ＬＥＤ点灯式　クリックボタン
付加仕様		2014年耐震対策（Aクラス）	無し	改修：有り
		新法令対応（戸開走行保護装置）	無し	改修：有り
		乗場遮煙機能	無し	改修：有り
		地震時管制運転装置（P波付）	有り（S波付）	改修：有り
		火災時管制運転装置	有り	改修：有り
		停電時管制運転装置	有り	改修：有り
		停電時自動着床装置	無し	改修：有り
		車椅子対策	無し	無し
		視覚障害者対策	無し	無し
		戸開延長ボタン	有り	改修：有り
		ﾏﾙﾁﾋﾞｰﾑﾄﾞｱｾﾝｻｰ	無し	改修：有り
		監視盤用接点機能	有り	改修：有り
建築工事附帯		・釣合いオモリの搬出入経路の確保		
		・機械室機器の搬出入経路確保に伴う機械室扉・枠取外し及び復旧工事		
特記		・本工事に使用する部材及び各意匠機器はメーカー標準仕様とします。		





カゴ室



乗場正面

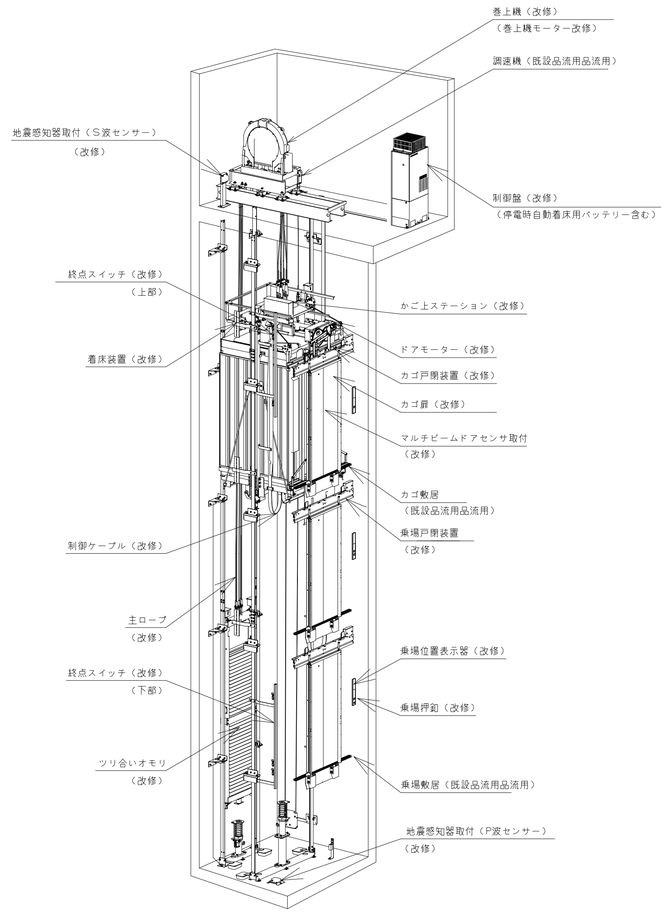
（No.５号機）

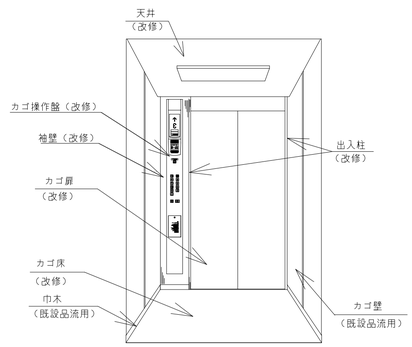
着工	．．／	．．／	市立長浜病院 Nagahama City Hospital	参考図（昇降機設備改修工事）
竣工	．．／	．．／		昇 ３ ※ － ※
監理		．．／	．．／	昇降機設備改修仕様－３
施工		．．／	．．／	NO. 31371701

01	エレベーター　６号機	

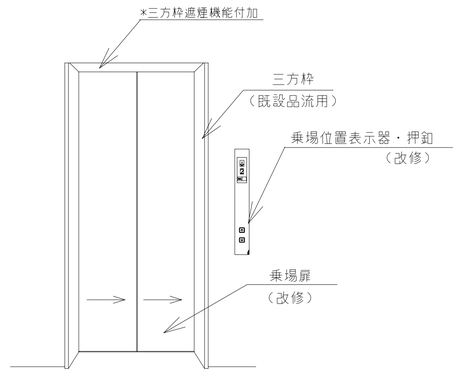
エレベーター工事概要書

		仕様区分	既設仕様	改修仕様
基本仕様		用途	人荷用	同左
		制御方式	可変電圧可変周波数制御方式（インバーター制御）	可変電圧可変周波数制御方式（インバーター制御）（改修）
		操作方式	乗合全自動方式	乗合全自動方式
		容量	１７５０ｋｇ	同左
		速度	９０ｍ／ｍｉｎ	同左
		電源	動力用三相交流　２１０Ｖ６０Ｈｚ　照明用単相交流　１００Ｖ　６０Ｈｚ	同左
		巻上機	EMJ-580型	改修　：同左（ﾀﾞﾌﾞﾙブレーキ型）
		巻上電動機	22.0ｋＷ	改修 22.0ｋＷ
		停止箇所	１～７階　７停止	同左
		昇降行程	２４２００ｍｍ	同左
		カゴ内法寸法	間口１８５０ｍｍ 奥行２５００ｍｍ	同左
		出入口寸法	巾　１２００ｍｍ 高さ２１００ｍｍ	同左
		戸閉方式	電動式２枚戸片開き式	同左
意匠仕様	カゴ	天井	スタンダード天井	改修　：スタンダード天井
		壁	化粧鋼板仕上	既設品流用現地貼付：化粧フィルム仕上　（正面ﾊﾟﾈﾙ(ｽﾃﾝﾚｽﾍｱﾗｲﾝ仕上）：既設品流用清掃処理）
		扉	化粧鋼板仕上	改修　：化粧フィルム仕上
		出入口上板	化粧鋼板仕上	改修　：ステンレスヘアライン仕上
		出入口柱	ステンレスヘアライン仕上	改修　：ステンレスヘアライン仕上
		巾木	ステンレスヘアライン仕上	既設品流用
		床仕上	ゴムタイル	改修：ゴムタイル
		敷居	硬質アルミ製	既設品流用
		カゴ操作盤（一般用）	フェースプレート　ステンレスヘアライン仕上	改修：フェースプレート　ステンレヘアライン仕上
			押釦：　ＬＥＤ点灯式　クリックボタン	押釦：　ＬＥＤ点灯式　クリックボタン
		カゴ操作盤（車椅子用）	無し	無し
		位置表示器	デジタル式（カゴ操作盤に組込）	改修：デジタル式（カゴ操作盤に組込）
		袖壁	化粧鋼板仕上	改修：ステンレスヘアライン仕上
		鏡	無し	無し
		手摺	無し	無し
		車摺	ステンレス製	改修：ステンレス製
	乗場	三方枠	全階：スレンレスヘアライン仕上	既設品流用清掃処理
		扉	全階：鋼板塗装仕上	改修：鋼板塗装仕上
		敷居	全階：硬質アルミ製	既設品流用
		位置表示器	全階：フェースプレート　ステンレスヘアラン仕上	改修：フェースプレート　ステンレヘアライン仕上
			デジタル式	デジタル式
		押釦	全階：フェースプレート　ステンレスヘアラン仕上	改修：フェースプレート　ステンレヘアライン仕上
			押釦：　ＬＥＤ点灯式　クリックボタン	押釦：　ＬＥＤ点灯式　クリックボタン
付加仕様		2014年耐震対策（Aクラス）	無し	改修：有り
		新法令対応（戸開走行保護装置）	無し	改修：有り
		乗場遮煙機能	無し	改修：有り
		地震時管制運転装置（P破付）	有り（S波付）	改修：有り
		火災時管制運転装置	有り	改修：有り
		停電時管制運転装置	有り	改修：有り
		停電時自動着床装置	無し	改修：有り
		車椅子対策	無し	無し
		視覚障害者対策	無し	無し
		戸開延長ボタン	有り	改修：有り
		ﾏﾙﾁﾋﾞｰﾑﾄﾞｱｾﾝｻｰ	無し	改修：有り
		監視盤用接点機能	有り	改修：有り
建築工事附帯		・釣合いオモリの搬出入経路の確保		
		・機械室機器の搬出入経路確保に伴う機械室扉・枠取外し及び復旧工事		
特記		・本工事に使用する部材及び各意匠機器はメーカー標準仕様とします。		





カゴ室



乗場正面

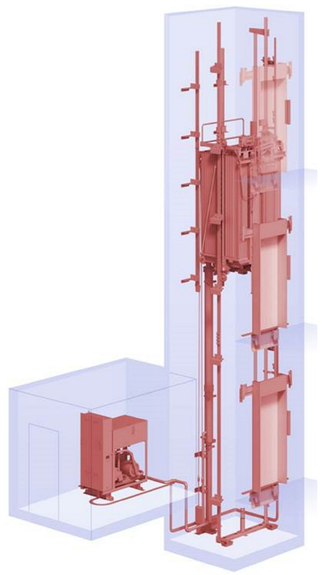
（No.6号機）

着工	．．．

01	エレベーター　7号機	

エレベーター工事概要書

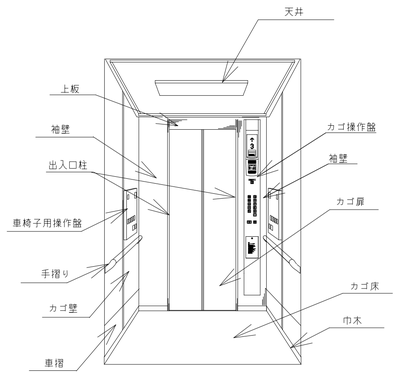
	仕様区分	既設仕様	改修仕様
基本仕様	用途	乗用	同左
	制御方式	油圧式	可変電圧可変周波数制御方式（インバーター制御）（機械室レス式）（更新）
	操作方式	乗合全自動方式	乗合全自動方式（更新）
	容量	750kg　11名	同左
	速度	45m/min	同左
	電源	動力用三相交流　210V60Hz　照明用単相交流　100V　60Hz	同左
	巻上機	（油圧パワーユニット）	PMギアレス巻上機（更新）
	電動機	（15.0kW）	3.8kW（更新）
	停止箇所	1、2階　計　2停止	同左
	昇降行程	4800mm	同左
	カゴ内法寸法	間口1400mm　奥行1350mm	同左
	出入口寸法	巾　900mm　高さ2100mm	同左
	戸閉方式	電動式2枚戸中央き式	同左
意匠仕様 カゴ	天井	スタンダード天井	更新　：　スタンダード天井
	壁	化粧鋼板仕上	更新　：　化粧鋼板仕上
	扉	化粧鋼板仕上	更新　：　化粧鋼板仕上
	出入口上板	化粧鋼板仕上	更新　：　化粧鋼板仕上
	出入口柱	ステンレスヘアライン仕上	更新　：　ステンレスヘアライン仕上
	巾木	ステンレスヘアライン仕上	更新　：　ステンレスヘアライン仕上
	床仕上	ビニールタイル	更新　：　ビニールタイル
	敷居	硬質アルミ製	更新　：　硬質アルム製
	カゴ操作盤（一般用）	フェースプレート　樹脂製	更新：フェースプレート　ステンレヘアライン仕上
		押釦　LED点灯式　クリックボタン　点字名板付	押釦　ＬＥＤ点灯式　クリックボタン　凸形状文字　点字名板付
	カゴ操作盤（車椅子用）	フェースプレート　樹脂製	更新：フェースプレート　ステンレヘアライン仕上
		押釦　LED点灯式　クリックボタン	押釦　ＬＥＤ点灯式　クリックボタン　凸形状文字　点字名板付
	位置表示器	デジタル式（カゴ操作盤に組込）	更新：液晶インジケーター（カゴ操作盤に組込）
	袖壁	化粧鋼板仕上	更新　：　化粧鋼板仕上
	鏡	合わせガラス鏡	更新：ステンレス鏡面仕上
	手摺	ステンレス製	更新：ステンレス鏡面仕上
	車摺	ステンレス製	更新：ステンレス鏡面仕上
乗場	三方枠	全階：ステンレスヘアライン仕上	既設品清掃処理
	扉	全階：鋼板塗装仕上	更新：鋼板塗装仕上
	敷居	全階：硬質アルミ製	既設品流用
	位置表示器	全階：フェースプレート　ステンレスヘアラン仕上	更新：フェースプレート　ステンレヘアライン仕上
		デジタル式	デジタル式
	押釦（一般・車椅子用）	全階：フェースプレート　ステンレスヘアラン仕上	更新：フェースプレート　ステンレヘアライン仕上
		押釦　LED点灯式　クリックボタン　点字名板付	押釦　ＬＥＤ点灯式　クリックボタン　凸形状文字　点字名板付
付加仕様	2014年耐震対策（Aクラス）	無し	有り
	新法令対応（戸開走行保護装置）	無し	有り
	乗場遮煙機能	無し	有り
	地震時管制運転装置（P破付）	有り（S波付）	有り
	火災時管制運転装置	有り	有り
	停電時管制運転装置	有り	有り
	停電時自動着床装置	無し	有り
	車椅子対策	有り	有り
	視覚障害者対策	有り	有り
	戸開延長ボタン	無し	無し
	ﾏﾙﾁﾋﾞｰﾑﾄﾞｱｾﾝｻｰ	無し	有り
	監視盤用接点機能	有り	有り
建築附帯工事	・乗場仮囲い設置工事（１－３階）		
	・乗場三方枠、敷居撤去に伴う斫り及びモルタル補修、壁・床仕上げ		
	・昇降路内既設油圧配管穴塞ぎ等の補修工事		
	・昇降路制御盤までの動力、照明、インターホン用配線及び自火報接点配線工事		
	・機械室機器、ピット機器撤去に伴う斫り及びモルタル補修工事		
	・既設機械室床防塵塗装工事		
特記	・本工事に使用する部材及び各意匠機器はメーカー標準仕様とします。		



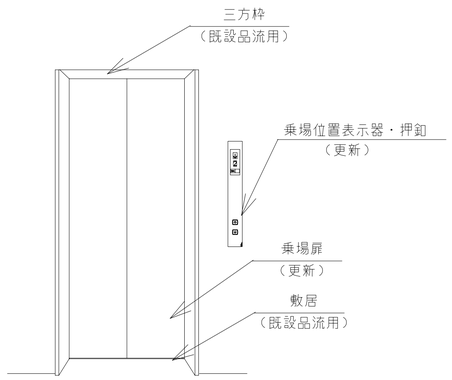
油圧式ＥＶ

（一括更新）

機械室レスＥＶ
（更新）



カゴ室
（更新）



乗場正面

（No.7号機）

着工			
竣工			
監理			
施工			

市立長浜病院
Nagahama City Hospital

参考図
（昇降機設備改修工事）

昇降機設備改修仕様－５

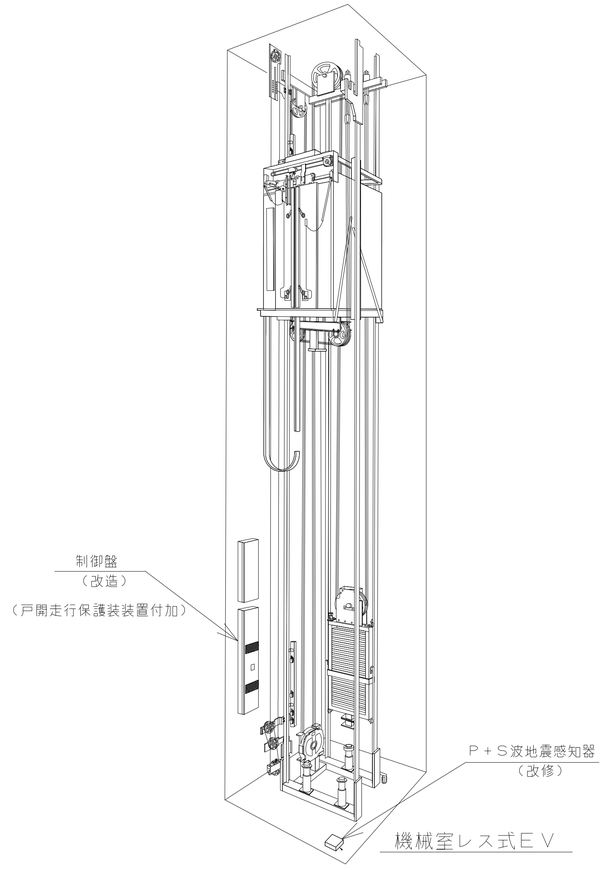
昇　５
※　－　※

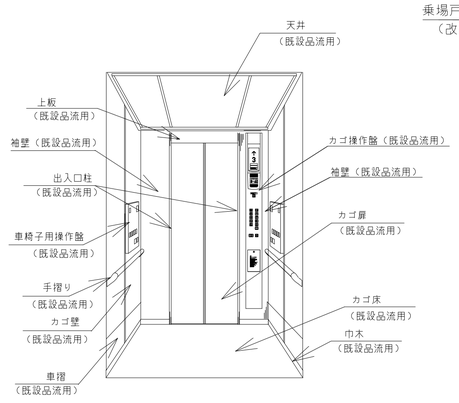
NO. 31371701

01	エレベーター　１２号機

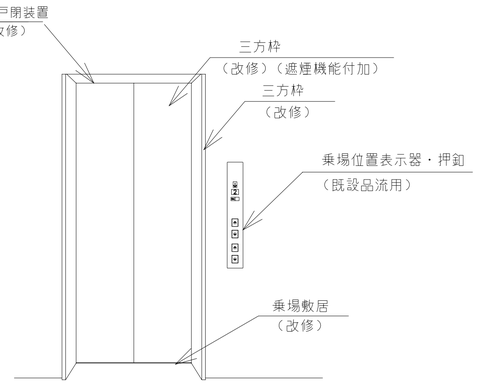
エレベーター工事概要書

	仕様区分	既設仕様	改修仕様
基本仕様	用途	乗用	同左
	制御方式	可変電圧可変周波数制御方式（インバーター制御）（機械室レス式）	同左
	操作方式	乗合全自動方式	同左
	容量	１０００ｋｇ　　１５名	同左
	速度	４５ｍ／ｍｉｎ	同左
	電源	動力用三相交流　２１０Ｖ　６０Ｈｚ　照明用単相交流　１００Ｖ　６０Ｈｚ	同左
	巻上機	PML-0062型	同左
	巻上電動機	４.６ｋＷ	同左
	停止箇所	１～３階　　計３停止	同左
	昇降行程	８６００ｍｍ	同左
	カゴ内法寸法	間口１６００ｍｍ　奥行１５００ｍｍ	同左
	出入口寸法	巾　１０００ｍｍ　高さ２１００ｍｍ	同左
	戸閉方式	電動式２枚戸中央き式	同左
意匠仕様 カゴ	天井	デラックス天井	既設品流用
	壁	化粧フィルム仕上	既設品流用現地貼付　：化粧フィルム仕上
	扉	化粧フィルム仕上	既設品流用現地貼付　：化粧フィルム仕上
	出入口上板	化粧フィルム仕上	既設品流用現地貼付　：化粧フィルム仕上
	出入口柱	ステンレスヘアライン仕上	既設品流用
	巾木	ステンレスヘアライン仕上	既設品流用
	床仕上	ゴムタイル	改修：ゴムタイル
	敷居	硬質アルミ製	既設品流用
	カゴ操作盤（一般用）	フェースプレート　ステンレスヘアライン仕上	既設品流用
		押釦 LED点灯式　クリックボタン　点字付	
	カゴ操作盤（車椅子用）	フェースプレート　ステンレスヘアライン仕上	既設品流用
		押釦 LED点灯式　クリックボタン　点字付	
	位置表示器	デジタル式（カゴ操作盤に組込）	既設品流用
	袖壁	化粧フィルム仕上	既設品流用品現地貼付　：化粧フィルム仕上
	鏡	ステンレス鏡面仕上	既設品流用
	手摺	木目調フィルム仕上	既設品流用
	車摺	ステンレス製	既設品流用
意匠仕様 乗場	三方枠	全階：ステンレスヘアライン仕上	改修：ステンレスヘアライン仕上
	扉	全階：ステンレスエッチング仕上	全階：ステンレスエッチング仕上
	敷居	全階：硬質アルミ製	既設品流用
	位置表示器	全階：フェースプレート　ステンレスヘアラン仕上	既設品流用
		デジタル式	
	押釦（一般・車椅子用）	全階：フェースプレート　ステンレスヘアラン仕上	既設品流用
		押釦 LED点灯式　クリックボタン　点字付	
付加仕様	2014年耐震対策（Aクラス）	無し	改修：有り
	新法令対応（戸開走行保護装置）	無し	改修：有り
	乗場遮煙機能	無し	改修：有り
	地震時管制運転装置（P波付）	有り（S波付）	改修：有り
	火災時管制運転装置	有り	既設品流用　：有り
	停電時管制運転装置	有り	既設品流用　：有り
	停電時自動着床装置	有り	既設品流用　：有り
	車椅子対策	有り	既設品流用　：有り
	視覚障害者対策	有り	既設品流用　：有り
	戸開延長ボタン	無し	無し
	光電装置	有り	既設品流用　：有り
	監視盤用接点機能	有り	既設品流用　：有り
建築附帯工事	・乗場仮囲い設置工事（１－３階）		
	・乗場三方枠、敷居撤去に伴う斫り及びモルタル補修、壁・床仕上げ		
特記	・本工事に使用する部材及び各意匠機器はメーカー標準仕様とします。		





カゴ室



乗場正面

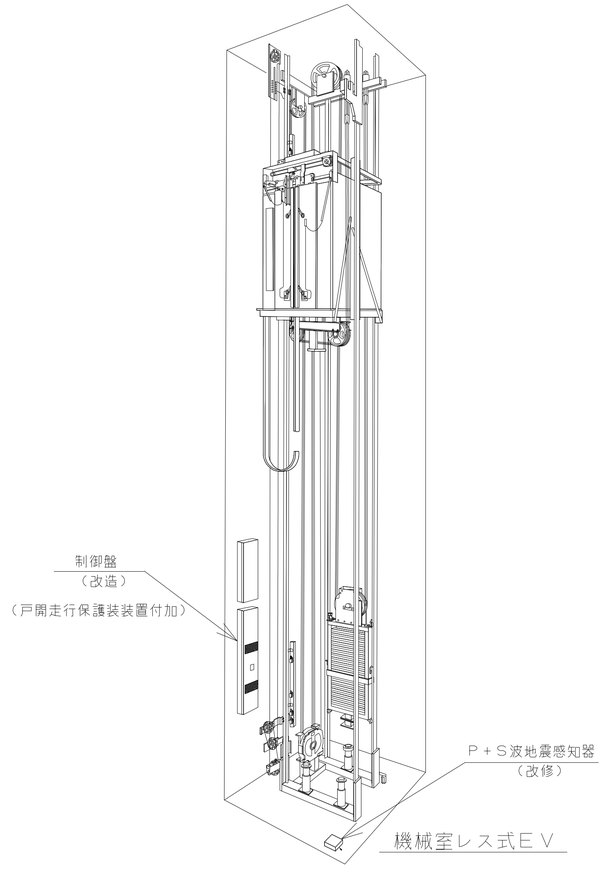
（No.12号機）

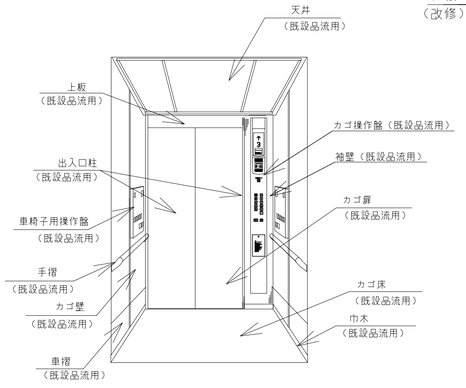
着工	. .	. .	市立長浜病院 Nagahama City Hospital	参考図（昇降機設備改修工事）	昇　6　※－※
竣工	. .	. .			
監理		. .			
施工		. .	. .	昇降機設備改修仕様－6	NO. 31371701

01	エレベーター　１３号機	

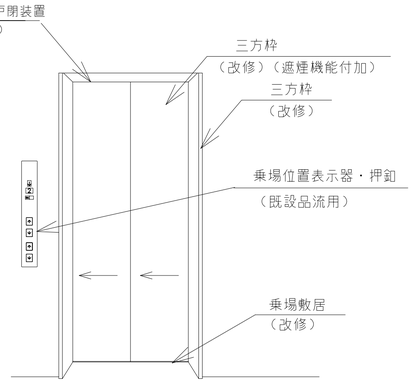
エレベーター工事概要書

	仕様区分	既設仕様	改修仕様
基本仕様	用途	寝台用	同　左
	制御方式	可変電圧可変周波数制御方式（インバーター制御）（機械室レス式）	同　左
	操作方式	乗合全自動方式	同　左
	容量	１０００ｋｇ　　１５名	同　左
	速度	４５ｍ／ｍｉｎ	同　左
	電源	動力用三相交流　２１０Ｖ　６０Ｈｚ　照明用単相交流　１００Ｖ　６０Ｈｚ	同　左
	巻上機	PML-0062型	同　左
	巻上電動機	４.６ｋＷ	同　左
	停止箇所	(2D-2G)（正面）１～３階　３停止・（背面）１～３階　３停止	同　左
	昇降行程	８６００ｍｍ	同　左
	カゴ内法寸法	間口１５００ｍｍ　奥行２５００ｍｍ	同　左
	出入口寸法	巾　１２００ｍｍ　高さ２１００ｍｍ	同　左
	戸閉方式	電動式２枚戸片開き式	同　左
意匠仕様 カゴ	天井	デラックス天井	既設品流用
	壁	化粧フイルム仕上	既設品流用現地貼付　：化粧フイルム仕上
	扉	化粧フイルム仕上	既設品流用現地貼付　：化粧フイルム仕上
	出入口上板	化粧フイルム仕上	既設品流用現地貼付　：化粧フイルム仕上
	出入口柱	ステンレスヘアライン仕上	既設品流用
	巾木	ステンレスヘアライン仕上	既設品流用
	床仕上	ゴムタイル	改修：ゴムタイル
	敷居	硬質アルミ製	既設品流用
	カゴ操作盤（一般用）	フェースプレート　ステンレスヘアライン仕上	既設品流用
		押釦　LED点灯式　クリックボタン　点字付	
	カゴ操作盤（車椅子用）	フェースプレート　ステンレスヘアライン仕上	既設品流用
		押釦　LED点灯式　クリックボタン　点字付	
	位置表示器	デジタル式（カゴ操作盤に組込）	既設品流用
	袖壁	化粧フイルム仕上	既設品流用品現地貼付　：化粧フイルム仕上
	鏡	無し	無し
	手摺	木目調フイルム仕上	既設品流用
	車摺	ステンレス製	既設品流用
意匠仕様 乗場	三方枠	正面：ステンレスヘアライン仕上	改修：　正面：ステンレスヘアライン仕上
		背面：ステンレスヘアライン仕上	改修：　背面：ステンレスヘアライン仕上
	扉	正面：ステンレスエッチング仕上	改修：　正面：ステンレスエッチング仕上
		背面：ステンレスヘアライング仕上	改修：　背面：ステンレスヘアライング仕上
	敷居	正面：硬質アルミ製	改修：　正面：硬質アルミ製
		背面：硬質アルミ製	改修：　背面：硬質アルミ製
	位置表示器	全階：フェースプレート　ステンレスヘアラン仕上	既設品流用
		デジタル式	
	押釦（一般・車椅子用）	全階：フェースプレート　ステンレスヘアラン仕上	既設品流用
		押釦　LED点灯式　クリックボタン　点字付	
付加仕様	2014年耐震対策（Aクラス）	無し	改修：有り
	新法令対応（戸開走行保護装置）	無し	改修：有り
	乗場遮煙機能	無し	改修：有り
	地震時管制運転装置（P波付）	有り（S波付）	改修：有り
	火災時管制運転装置	有り	既設品流用　：有り
	停電時管制運転装置	有り	既設品流用　：有り
	停電時自動着床装置	有り	既設品流用　：有り
	車椅子対策	有り	既設品流用　：有り
	視覚障害者対策	有り	既設品流用　：有り
	戸開延長ボタン	有り	既設品流用　：有り
	光電装置	有り	既設品流用　：有り
	監視盤用接点機能	有り	既設品流用　：有り
建築附帯工事	・乗場仮囲い設置工事（正面１－３階：背面１－３階）		
	・乗場三方枠、敷居撤去に伴う斫り及びモルタル補修、壁・床仕上げ		
特記	・本工事に使用する部材及び各意匠機器はメーカー標準仕様とします。		





カゴ室



乗場正面

（No.13号機）

着工	．．／	．．／	
竣工	．．／	．．／	
監理		．．／	
		．．／	
施工		．．／	

市立長浜病院
Nagahama City Hospital

参考図
（昇降機設備改修工事）

昇降機設備改修仕様－７

（昇）　７
※　－　※

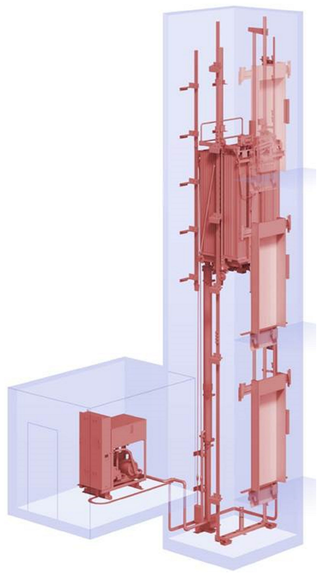
NO. 31371701

01	エレベーター　15号機	

エレベーター工事概要書

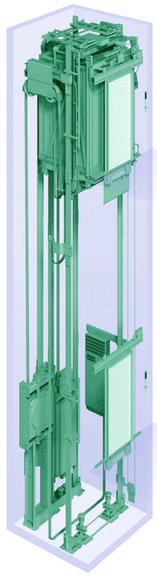
		仕様区分	既設仕様	改修仕様
基本仕様		用途	人荷用	同左
		制御方式	油圧式	可変電圧可変周波数制御方式（インバーター制御）（機械室レス式）（更新）
		操作方式	乗合全自動方式	乗合全自動方式（更新）
		容量	1200kg　18名	1350kg　20名
		速度	45m/min	同左
		電源	動力用三相交流　210V60Hz　照明用単相交流　100V　60Hz	同左
		巻上機	（油圧パワーユニット）	PMギアレス巻上機（更新）
		電動機	（37.0kW）	6.9kW（更新）
		停止箇所	1～3階　計　3停止	同左
		昇降行程	8600mm	同左
		カゴ内法寸法	間口1400mm　奥行2000mm	間口1400mm　奥行2150mm
		出入口寸法	巾　1200mm　高さ2100mm	同左
		戸閉方式	電動式2枚戸中央き式	同左
意匠仕様	カゴ	天井	スタンダード天井	更新　：　スタンダード天井
		壁	ステンレスヘアライン仕上	更新　：　ステンレスヘアライン仕上
		扉	ステンレスヘアライン仕上	更新　：　ステンレスヘアライン仕上
		出入口上板	ステンレスヘアライン仕上	更新　：　ステンレスヘアライン仕上
		出入口柱	ステンレスヘアライン仕上	更新　：　ステンレスヘアライン仕上
		巾木	ステンレスヘアライン仕上	更新　：　ステンレスヘアライン仕上
		床仕上	ゴムタイル	更新　：　ゴムタイル
		敷居	硬質アルミ製	更新　：　硬質アルミ製
		カゴ操作盤（一般用）	フェースプレート　樹脂製	更新：フェースプレート　ステンレヘアライン仕上
			押釦　LED点灯式　クリックボタン	押釦　ＬＥＤ点灯式　クリックボタン
		カゴ操作盤（車椅子用）	無し	無し
		位置表示器	デジタル式（カゴ操作盤に組込）	更新：液晶インジケーター（カゴ操作盤に組込）
		袖壁	ステンレスヘアライン仕上	更新　：　ステンレスヘアライン仕上
		鏡	無し	無し
		手摺	無し	無し
		車摺	無し	無し
	乗場	三方枠	全階：ステンレスヘアライン仕上	更新　：　ステンレスヘアライン仕上
		扉	全階：ステンレスヘアライン仕上	更新　：　ステンレスヘアライン仕上
		敷居	全階：硬質アルミ製	更新　：　硬質アルミ製
		位置表示器	全階：フェースプレート　ステンレスヘアラン仕上	更新：フェースプレート　ステンレヘアライン仕上
			デジタル式	デジタル式
		押釦（一般）	全階：フェースプレート　ステンレスヘアラン仕上	更新：フェースプレート　ステンレヘアライン仕上
			押釦　LED点灯式　クリックボタン	押釦　ＬＥＤ点灯式　クリックボタン
付加仕様		2014年耐震対策（Aクラス）	無し	有り
		新法令対応（戸開走行保護装置）	無し	有り
		乗場遮煙機能	無し	有り
		地震時管制運転装置（P破付）	有り（S波付）	有り
		火災時管制運転装置	有り	有り
		停電時管制運転装置	有り	有り
		停電時自動着床装置	無し	有り
		車椅子対策	無し	無し
		視覚障害者対策	無し	無し
		戸開延長ボタン	有り	有り
		ﾏﾙﾁﾋﾞｰﾑﾄﾞｱｾﾝｻｰ	無し	有り
		監視盤用接点機能	有り	有り

建築附帯工事	・乗場仮囲い設置工事（１－３階）
	・乗場三方枠、敷居撤去に伴う斫り及びモルタル補修、壁・床仕上げ
	・昇降路内既設油圧配管穴塞ぎ等の補修工事
	・昇降路制御盤までの動力、照明、インターホン用配線及び自火報接点配線工事
	・機械室機器、ピット機器撤去に伴う斫り及びモルタル補修工事
	・既設機械室床防塵塗装工事
特記	・本工事に使用する部材及び各意匠機器はメーカー標準仕様とします。

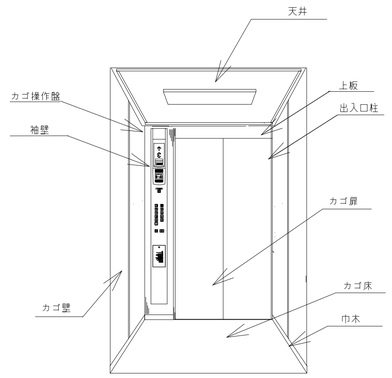


油圧式ＥＶ

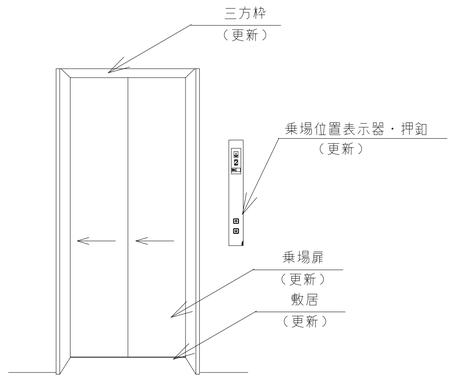
（一括更新）



機械室レスＥＶ
（更新）



カゴ室
（更新）



乗場正面
（更新）

（No.１５号機）

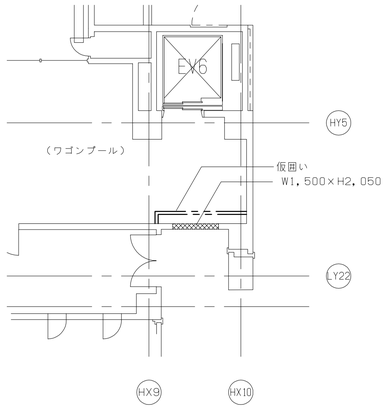
着工	．．／	．．／	市立長浜病院 Nagahama City Hospital	参考図（昇降機設備改修工事）
竣工	．．／	．．／		
監理		．．／		
		．．／		
施工		．．／	．．／	昇降機設備改修仕様－8

㊐ 8
※ － ※

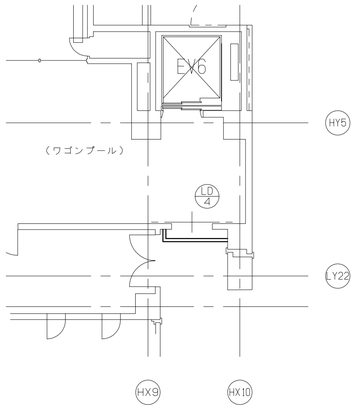
NO. 31371701

01	栄養科　ワゴンプール仮設ドア新設工事	1/100

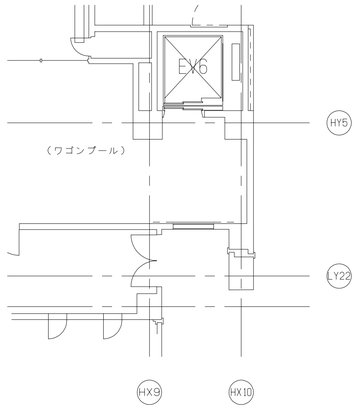
工事概要：ＥＶ６の改修中の配膳・下膳車の搬入出用の扉を設ける。



ＳＴＥＰ１
ドア設置のための壁開口を設ける。



ＳＴＥＰ２
廊下側に仮囲いを盛替えし、夜間工事にてＬＤ-4を新設
施工終了後、仮囲いを撤去し、ＥＶ６の工事を開始



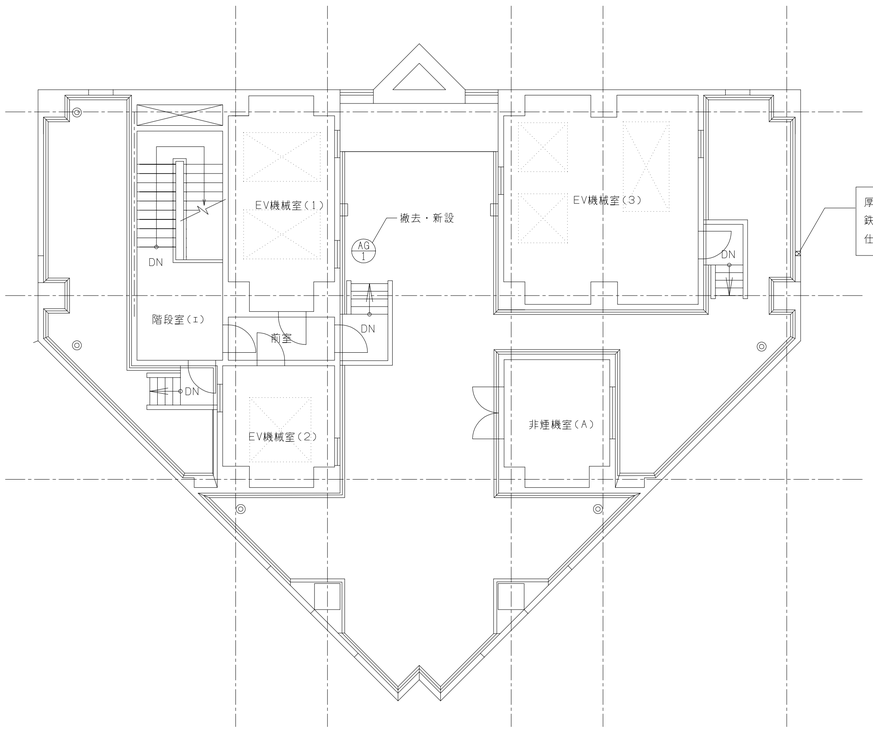
ＳＴＥＰ３
ＥＶ６の改修が終了した後、Ｗｄｄにて復旧
仕上げは既存と同様とし、廊下側に車椅ＳＴ-2を取付

【 既存仕上 】

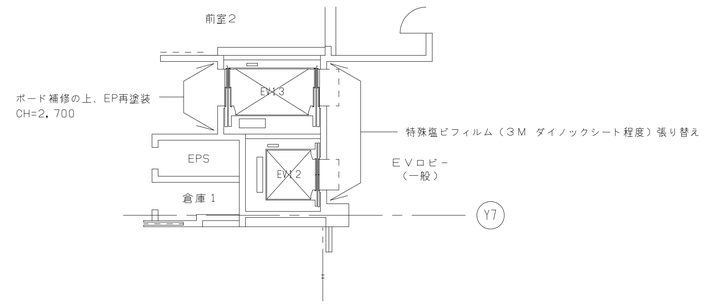
ワゴンプール	壁：陶器質１００角タイル貼り 床：塗り床 巾木：壁同仕様
ホスピタルストリート（４）	壁：GB-R12.5+9.5　GL工法　EP 床：ビニルシート貼り 巾木：塩ビ巾木Ｈ１００

▒▒▒ 解体撤去する間仕切壁を示す。（仕上共）

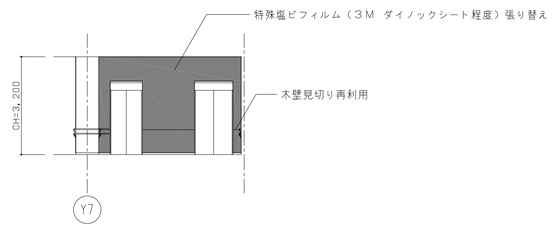
02	屋上・ＰＨ　巻上機搬入路仮設工事	1/100



03	別館ＥＶ１２，１３　ＥＶホール改修工事	1/100



別館ＥＶ１２，１３　ＥＶホール　平面図



別館ＥＶ１２，１３　ＥＶホール（一般）　展開図

看工							
技工							
監理							
施工							

市立長浜病院
Nagahama City Hospital

参考図
（昇降機設備改修工事）

昇降　9
※　－　※

昇降機改修（仮設）工事図

NO. 31371701